

永遠の結婚 を築く

教師用手引き

宗教235コース

The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints

MARRIAGE

C E R T I F I C A T E

This certifies that

and

were joined in the holy bonds of matrimony, for the duration of their lives, by the ordinance of God and the laws of the land, on the _____ day of _____ in the _____ Temple of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints at _____

Witnessed

by _____

License number _____

The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints

License Number _____



永遠の結婚を築く 教師用手引き

宗教235

制作：教会教育システム

発行：末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティー

本書に関するあなたのご意見，ご提案をお寄せください。また，誤字脱字など訂正箇所がありましたらお知らせください。

送付先は以下のとおりです。

CES Editing, 50 E. North Temple Street, Floor 8, Salt Lake City, UT 84150-2722 USA

電子メール—— ces-manuals@ldschurch.org

©2004 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有

印刷：日本

英語版承認：2003年6月

翻訳承認：2003年6月

原題：Building an Eternal Marriage Teacher Manual

Japanese

目次

はじめに	v
生徒用資料の読書課題	viii
1 永遠の観点に立つ物の見方	1
配付資料 1—見解の比較	7
2 結婚生活の喜び	9
3 結婚の神聖な聖約を守る	13
4 結婚生活における霊性	19
5 結婚生活における意思疎通の基本原則	21
配付資料 2—意思疎通に関する質問	23
配付資料 3—情緒的虐待の自己評価	24
6 結婚生活における義にかなった一致	25
配付資料 4—わたしたちが一つとなれるように	30
7 先祖からの受け継ぎ	34
配付資料 5—家族の伝統	37
8 結婚生活における親密な関係	39
9 男性と女性の本質的な相違点	42
配付資料 6—「男性と女性の本質的な相違点」に関する質問	44
10 男性に託された神聖な役割と責任	45
11 女性に託された神聖な役割と責任	47
12 人生の求めに優先順位を付ける	49
13 金銭と結婚生活	52
14 物質的な財産を管理する	55
15 母親が家庭の外で働くこと	58
16 愛を抱き続ける	62
17 伴侶を敬う	65
18 結婚生活における貞節	74
19 シオンにおいて子供を持つ両親がいて	78

はじめに

宗教235「永遠の結婚を築く」は、宗教234「永遠の結婚への備え」コースの続きである。宗教234では、神殿で結婚するために自分に合った相手を見つけることに重点が置かれている。宗教235では、明らかにされている真理を用いて、夫婦が幸福な結婚生活を築いていくうえで役立つ原則と秘訣に焦点が当てられている。

宗教235は1 Semesterで教えるコースである。クラスが週に2回、日中に行われる場合であっても、週に1回、夜間に行われる場合であっても、十分な資料が用意されている。本手引きを用いてどのくらいの進捗で教えるかは教師の裁量に任されている。

本コースでは生徒用資料として『「永遠の結婚」生徒用資料』を用いる。このテキストには234および235の両コースのための読書課題が載っており、それぞれのコースでこのテキストから異なった読書課題を重点的に学ぶ。

福音の原則に従って生活する

原則によって自らの生活を治める

エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように勧告している。「……皆さんにできる最も大切な事柄は、聖文を熱心に読むことです。一生懸命に研究し、キリストの言葉を味わってください。教義を学び、聖文の中に見いだされる原則を自分のものにしてください。」（『み言葉の力』『聖徒の道』1986年7月号，81）

十二使徒定員会会員のリチャード・G・スコット長老は次のように述べている。「霊的な知識を求めるには、原則を探求することです。原則と、その説明のために用いられている枝葉的な事柄とを注意深く識別しましょう。原則は真理を凝縮したものであり、異なった状況に広く適応できるものです。真の原則は、最も混乱した、またどうしようもない状況においても決定を明確なものにしてくれます。集めた真理を組み立てて簡潔な原則を生み出そうと熱心に努めるのは、有意義なことです。」（『霊的な知識を得る』『聖徒の道』1994年1月号，97）

正しい原則を知り、それに従った生活をすることは、幸福な生活と幸福な結婚生活に欠かせない。福音の原則には、様々な教義、戒め、聖約、儀式、教えが含まれる。しかし、本書においては、「原則」という言葉は、わたしたちの行動の指針を示す福音の真理を指している。

わたしたちは自らの責任を果たす必要がある

原則は多くの場合、大きく二つの部分に分けられる。その二つとは、「もし……なら」という、条件を示す部分と「それによって……になる」という、結果を示す部分である。「もし……なら」という部分は、主から与えられる一般的な勧告であり、「それによって……になる」という部分は、その勧告に従った場合と、そうでない場合とに、どのような結果がもたらされるかという約束である。

神は「知恵の言葉」を「約束を伴う原則」と呼ばれた（教義と聖約89：3）。この聖句においては、「もし……なら」という条件として、肉体と霊とを清く保つようにとの勧告が与えられている。そして、「それによって……になる」を示す結果の部分には、健康、知恵、力、またそのほかに数々の祝福が約束されている。

主は御自分の約束を守られる。「あなたがたがわたしの言うことを行うとき、主なるわ

たしはそれに対して義務を負う。しかし、あなたがたがわたしの言うことを行わないとき、あなたがたは何の約束も受けない。」(教義と聖約82:10) わたしたちは、主の祝福にふさわしくなるために、自分のなすべきことを行わなければならない(教義と聖約130:20-22参照)。またわたしたちは、その後どのような結果となるかは、わたしたちの望みではなく神の知恵に従って神がお決めになることを覚えておくべきである。

すべての原則が「もし……なら、それによって……になる」という形で教えられたり、記録されたりしているわけではない。例えば、中央幹部は常に「もし信仰を持つなら、それによって生活の中で主の力を受けるようになる」と言っているわけではない。その代わりに、信仰に関する様々な事例を挙げたり、忠実であるように励ましたりすることがよくある。

福音の原則は普遍的なものである

福音の原則は普遍的なものである。どのような状況、どのような文化、どのような時代にあっても、真実である。世の初めにアダムに明らかにされた原則は、この末日にあっても真実である。わたしたちには、正しい原則を知って実践できるよう、預言者と聖文、そして聖霊の影響力が与えられている。

要約

原則は永続的な真理、律法、規定であり、わたしたちは何事かについて決断をするときに、これを指標として用いることができる。また、原則はわたしたちが福音の教義を日々の生活の中で応用する助けとなり、ますます混乱と邪悪さを増し加える世界にあって、進むべき道を照らす光となるのである。

生徒用資料の使用法

『永遠の結婚』生徒用資料』(35311 300)には、デートと結婚に関する、靈感によって与えられた教えが紹介されている(『本書の目的』生徒用資料、vii参照)。この教師用手引きの各課は、生徒用資料に載っている読書課題に基づいて準備されている。

生徒用資料にまとめられている教えを理解し、それに従って生活するようになるとき、生徒は自らの生活を正しい原則で治め、主の偉大な幸福の計画に従うためのよりよい備えをすることができる。生徒用資料の教えは証人の律法のパターンに倣っている。十二使徒定員会のヘンリー・B・アイリング長老は次のように語っている。「与えられた警告が主からのものかどうかを知る一つの方法は、証人、それも権威ある証人の律法にかなっているかどうか考えることです。預言者の言葉が、あることを繰り返して述べていると思われるとき、その事実はわたしたちの心に深く刻まれるとともに、そのような祝福された時代に生を受けていることへの感謝の気持ちが胸に満ちるのです。」(『助言の中に安全を見いだす』『聖徒の道』1997年7月号、28。生徒用資料、372も参照)

生徒用資料の目次には、そのテキストで採り上げられているテーマが五十音順で載っている。またテキストの後ろにある総合的な索引も、デート、コートシップ、結婚、および家族に関連したテーマについて靈感によって与えられた言葉を見つけるのに役立つ。これらの教えには、デートの標準や夫婦間の振る舞いに関して主が御自分の聖約の民に求めておられる事柄が述べられている。これらの教義や預言者の言葉を研究することによって、わたしたちはますます混乱し邪悪になっていく世の中にあって強さと導きを得ることができる。

教師用手引きの構成

教師用手引きの各課は幾つかの部分で構成されている。

i表題——課のテーマ

i教義の概要——課のテーマを紹介する簡単な導入や課の理解を助ける教義的な背景

原則——課のポイントの要約

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように説明している。

「規則を与えるより、教義と原則を十分に教える方が、行動に対しはるかに大きな影響力を及ぼします。わたしたちは福音の教義と原則を教えると、教えを承認する御霊の証と導きを受けられます。そして、生徒が信仰を行使して、それらの教えを個々の生活で応用するときに同じ御霊を求めよう奨励します。」（『福音を教える』『リアホナ』2000年1月号、95）

生徒用資料の読書課題——各クラスの前に教師と生徒が読んでおくべき、生徒用資料の中の推奨される読書課題の一覧（すべての課に対する生徒用資料の読書課題の一覧は、「生徒用資料の読書課題」viiiを参照する。）話し合いではこれらの読書課題を主要な資料として用いるべきであり、世の中で提供されている資料を代用してはならない。最新の『リアホナ』総大会特集号のテーマ別索引から、読書課題の補足となる説教を探すことができる。

教える内容——教えられる教義、原則、または概念を述べた言葉（左の余白に書かれている。）

教え方の提案——「教える『方法』とは、生徒に内容を理解させるために教師が用いる教授法、アプローチ、学習活動のことである。これらの手段には、討論、視聴覚資料の提示、筆記、小人数のグループ活動などがある。」（『福音を教える——教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』19）何をどのように教えるかについて、詳しくは『福音を教える——教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』を参照する。

結び——生徒がその課から学ぶべきことの要約

生徒用資料の読書課題

第1課 永遠の観点に立つ物の見方

- 「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）
- 「永遠の観点に立つ物の見方」の精選された教え（47-48）
- 「原則」の精選された教え（159-160）
- 「霊的な知識を得る」リチャード・G・スコット長老（381-384）

第2課 結婚生活の喜び

- 「結婚生活における幸福」の精選された教え（132-134）
- 「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）

第3課 結婚の神聖な聖約を守る

- 「聖約と儀式」の精選された教え（236-238）
- 「離婚」の精選された教え（377-378）
- 「約束の聖なる御霊」(363)
- 「聖約による結婚」ブルース・C・ヘーフェン長老（245-248）

第4課 結婚生活における霊性

- 「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）
- 「家族——世界への宣言」の精選された教え（86-103）

第5課 結婚生活における意思疎通の基本原則

- 「意思の疎通」の精選された教え（20-21）

第6課 結婚生活における義にかなった一致

- 「一致」の精選された教え（27-29）
- 「利己心」の精選された教え（376）

第7課 先祖からの受け継ぎ

- 「先祖からの受け継ぎ」の精選された教え（249-250）
- 「先祖からの受け継ぎ」マリオン・D・ハンクス長老（250-253）

第8課 結婚生活における親密な関係

「結婚生活における親密な関係」の精選された教え (135-137)

「命の源」ボイド・K・パッカー長老 (137-143)

「個人の清さ」の「完全な一致の究極的な象徴」および「神との関係の象徴」ジェフリー・R・ホランド長老 (325-326)

「産児制限」の精選された教え (175-177)

「質疑応答」ホーマー・エルズワース博士 (177-179)

第9課 男性と女性の本質的な相違点

「男性と女性の本質的な相違点」の精選された教え (258-260)

「この世から永遠にわたって」ボイド・K・パッカー長老 (261-264)

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

「男性と女性の平等」の精選された教え (256-257)

第10課 男性に託された神聖な役割と責任

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

「わたしたちの神聖な責任」ゴードン・B・ヒンクレー第一副管長 (123-127)

「イスラエルの父親へ」エズラ・タフト・ベンソン大管長 (271-274)

「義にかなう夫、父親」ハワード・W・ハンター大管長 (274-277)

第11課 女性に託された神聖な役割と責任

「女性に託された神聖な役割と責任」の精選された教え (182-184)

「シオンの母親の皆さん」エズラ・タフト・ベンソン大管長 (187-192)

「教会の女性」ゴードン・B・ヒンクレー大管長 (192-196)

「偉大な幸福の計画を实践する喜び」リチャード・G・スコット長老 (196-199)

「わたしたちは神の女性です」シェリー・L・デュー姉妹 (199-202)

第12課 人生の求めに優先順位を付ける

「優先順位とバランス」の精選された教え (364-365)

「人生の求めにバランスよく応じる」M・ラッセル・バラード長老 (369-371)

『『無くてならぬものは……一つだけである』——キリストを信じる確固とした信仰を持つ女性になる』パトリシア・T・ホランド姉妹 (202-209)

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

第13課 金銭と結婚生活

「家計」の精選された教え (76)

「家庭における財政管理の指針」マービン・J・アシュトン長老 (76-81)

「貪欲^{どんよく}、利己心、甘やかし」ジョー・J・クリステンセン長老 (81-84)

第14課 物質的な財産を管理する

- 「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」ゴードン・B・ヒンクレー大管長（353-355）
「負債」の精選された教え（352-353）
「物質的な備え」の精選された教え（356-358）

第15課 母親が家庭の外で働くこと

- 「母親が家庭の外で働くこと」の精選された教え（334-337）
「教育」の精選された教え（120-121）
「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）

第16課 愛を抱き続ける

- 「長い歳月にわたる結婚生活」の精選された教え（330）
「家族——世界への宣言」の第7段落。大管長会と十二使徒定員会（85）
「家族——世界への宣言」の精選された教え（86-91）
「結婚生活を豊かにするもの」ジェームズ・E・ファウスト長老（330-332）
「結婚60周年を迎えたヒンクレー夫妻」（332-333）
「『どのように愛するのですか』」ジェフリー・R・ホランド長老（5-9）
「愛と理解による一致」マーリン・K・ジェンセン長老（9-13）

第17課 ^{はんりよ}伴侶を敬う

- 「虐待」の精選された教え（114-116）
「忌まわしい虐待の傷を癒す^{いや}」リチャード・G・スコット長老（116-119）

第18課 結婚生活における貞節

- 「結婚生活における貞節」の精選された教え（148-151）
「ポルノグラフィ」の精選された教え（359-362）
「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）

第19課 シオンにおいて子供を持つ両親がいて

- 「人に幸福を与える偉大な計画」の「子供をもうけて育てる」ダリン・H・オークス長老（232-233）
「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）
「親としての責任——福音を基とする家庭を築く」の精選された教え（58-60）

1 永遠の観点に立つ物の見方

教義の概要

指導者はしばしば結婚や家族に関する問題について永遠の観点から考えることの大切さを強調している。七十人のメリル・J・ベイトマン長老は次のように述べている。「永遠の原則に基づく結婚観と家族観は、成功する可能性を高めてくれます。人は遠い将来のことを考えるときに、忍耐強く、寛容で、優しく、素直で、柔和であろうとさらに努力します。そうすると今度は、これらの性質が結婚生活を強めてくれるのです。」（“The Eternal Family” *Brigham Young University 1997–98 Speeches* [1997年], 115）

当時七十人であったブルース・R・マッコンキー長老は次のように教えている。

「この世に誕生した瞬間から神殿で結婚するときまで、福音はこの世でも次の世でも夫や妻でいられるよう聖なる結婚制度に入る備えをし、資格を得るためにあります。

そのときから、聖なる神権の力と権能により、わたしたちはともに結ばれるのです。……明らかにされた教えに関するすべてのことは、わたしたちが結婚聖約の条件を守れるようにと計画されています。そしてそれによって、この聖約は来世でもその効験や効能、効力を失いません。

日の栄えの結婚は福音の最高の儀式です。……このように家族という単位はこの世においても永遠にわたっても最も大切な組織です。

したがって、わたしたちはこの世のいかなるものよりも、家族にもっと深い関心を寄せるべきなのです。……

家族をつくり、完全の域に到達させることがこの世で最も大切なことです。」（「救いと家族」『聖徒の道』1970年11月号, 308）

原則

イエス・キリストの福音に基づく結婚観と家族観を持つことにより、結婚生活で幸福を得る可能性は高まる。

生徒用資料の読書課題

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85–86）

「永遠の観点に立つ物の見方」の精選された教え（47–48）


「原則」の精選された教え（159–160）

「霊的な知識を得る」リチャード・G・スコット長老（381–384）

教える内容

夫婦関係や家族関係は正しい原則を応用することによって改善される。

教え方の提案

 **生徒用資料**。以下のことを説明する。宗教235は原則に基づいたコースである。各課では、それぞれ一般的な原則が一つ示されている。生徒はこの原則を永遠の結婚を築くために様々な方法で応用することができる。

生徒に生徒用資料の「福音の原則に従って生活する」(vii)を開かせる。ジョセフ・スミスは人々をどのように治めるのかを尋ねられたときにどう答えたかを質問する。「わたしは人々に正しい原則を教えて、人々は自らを治めるのです。」〔ジョン・テラー“The Organization of the Church” *Millennial Star*, 1851年11月15日付, 339で引用; 「的のかなたに目を向ける」『リアホナ』2003年3月号, 24参照〕生徒にリチャード・G・スコット長老の原則に関する説明から最初の段落を読ませる(生徒用資料, vii-viii)。真の原則はわたしたちが結婚生活を治めるうえでどのような助けとなるでしょうか。

「原則によって自らの生活を治める」の残りの箇所を読み、以下のような質問について話し合う。

生徒用資料では「原則」という言葉はどのように用いられているでしょうか。

真の原則を理解することは、戒めを守るうえでどのような助けとなるでしょうか。

真の原則を理解することによって、難しい決断を下すのに迷いがなくなるのはどうしてでしょうか。

生徒に「福音の原則に従って生活する」(生徒用資料, vii-viii)の残りの箇所を読ませ、以下のような質問をする。

聖文の中で「もし……なら、それによって……になる」の原則が用いられている聖句として、どのような箇所があるでしょうか。


真の原則はどのような点で「普遍的」なのでしょうか。

真の原則はどのような点で「条件つき」なのでしょうか。

本コースの目的は以下の二つであることを生徒に伝える。

- i 聖文や中央幹部の教えから夫婦間の振る舞いに関する福音の原則を見つける。
- i これらの原則を自身の生活で応用できるようになる。


十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように述べている。「真の原則は、見つけるのは容易ですが、身に付けるのは容易ではありません。それが習慣として確立するまでには、並々ならぬ努力が必要です。」(「正しい原則の力」『聖徒の道』1993年7月号, 37参照)スコット長老はこれを実行する方法について勧告を与えている。スコット長老の以下の言葉を黒板に書く。「一度知識が与えられたならば、わたしたちはそれを理解し、大切にし、従い、記憶し、広げなければなりません。」(「霊的な知識を得る」『聖徒の道』1994年1月号, 99)

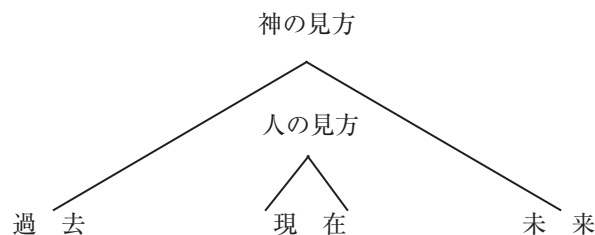
 **生徒用資料。**生徒に「霊的な知識を得る」と題したスコット長老の話を開かせる(生徒用資料, 381)。生徒に斜字体で書かれた言葉を見つけさせ、下線を引かせる(383, 右側)。スコット長老の勧告を用いることによって夫婦関係に関する福音の原則を自分の生活に取り入れる方法について話し合う。

教える内容

結婚を主の観点に立って見るようになると、永遠の結婚を成し遂げたいという望みが高まる。

教え方の提案

 **話し合い。**黒板に以下の図を描き(生徒用資料, 47参照)、図を基に永遠の観点に立つ物の見方とはどういうことかを一人の生徒に説明させる。



この図は、夫婦や家族にかかわる日々の決断に対してどのような意味を持っているでしょうか。生徒の半分に、生徒用資料から七十人会長会のジョー・J・クリステンセン長老による「結婚生活の成功のために祈る」(153)を読ませる。残りの半分の生徒に七十人のロバート・E・ウェルズ長老による「主に心を向ける」(158)を読ませる。生徒にこれらの読書資料に書かれている助言に対する自分の考えを述べさせる。神の助けを求めることによって、結婚生活を送る夫婦にもたらされる恵みには、具体的などのようなものがあるでしょうか。

永遠の観点に立つ物の見方とは、神が聖文や預言者を通じて御自分の子供たちに与えられる知識を用いるという意味である。天の御父にはわたしたちの過去、現在、および未来が御覧になれる。神の永遠の観点には人間のような限界がない。救いの計画は、物事を神が見ておられるようにわたしたちも次第に見られるように助けてくれる。それによって、より賢明で義にかなった決断ができるようになる。以下の聖句について話し合う。


- i アルマ40：8。「神にあってはすべてが一日のようであり、時が計られるのは人に対してだけである。」
- i 教義と聖約38：2。「すべてのことが目の前にあるので……。」
- i 教義と聖約130：7。「彼らの栄光のために、過去も現在も未来もすべてのことが明らかにされ、またそれらは絶えず主の前にある。」

生徒用資料の「永遠の観点に立つ物の見方」の精選された教え(47-48)から、幾つかの引用文を読んで話し合う。

教える内容

「家族をつくり、完全の域に到達させることがこの世で最も大切なことです。」

教え方の提案


 **話し合い。** 本課の冒頭の「教義の概要」にあるブルース・R・マッコンキー長老の言葉を読み、その言葉の最後の一文を黒板に書く。以下の質問をする。——救いの計画にある教えの中で、マッコンキー長老の言葉を裏付けているものとしてどのような教えがあるでしょうか。生徒が以下のような教えに気づくよう助ける。

- i わたしたちは神の子である。神はわたしたちの霊の父であられる。神の「位に従う者」である(モーセ6：67参照)。わたしたちには、天の両親のようになる可能性がある。
- i わたしたちは肉体を得て「何であろうと、主なる彼らの神が命じられるすべてのこと」に従順であることを証明するためにこの地上にやって来た(アブラハム3：25)。「もろもろの霊たちと栄光の中にいた神は、はるかに優れた英知を持っておられたので、律法を制定して霊たちに御自身のように進歩する特権を与えることを良しとされた。」(ジョセフ・スミス, *History of the Church*, 第6巻, 312)
- i イエス・キリストの贖罪しよくざいを通じて、そして主の戒めに従うことによって、わたしたちは再び天の御父とともに住み御父のようになることができる。「それゆえ、書き記されているように、彼らは神々、すなわち神の子である。」(教義と聖約76：58)
- i 地球の創造によって、わたしたちが現世での経験を得てより天の両親に似た者となるための場所が用意された。結婚については、ともに教義と聖約49：16-17を読む。

教える内容

家族に関する宣言は、わたしたちが永遠の結婚と家族生活の大切さを理解するのに役立つ。

教え方の提案

 **話し合い。** 1995年9月23日、ゴードン・B・ヒンクレー大管長は扶助協会の姉妹たちに向けて、救いの計画における家族の大切さについての宣言を読み上げた。一緒に「家族——世界への宣言」の第1段落を読む(生徒用資料, 85)。


ヘンリー・B・アイリング長老の「家族」と題した説教にある物語を読むか話す。そ

の中で長老はスーパー夫人の下宿に住んでいた自身の大学時代について述べている(生徒用資料, 106)。以下の事柄を強調する。「永遠の命を得るという目標を単に頭の中だけで描いているだけでなく、心の中でははっきりと持っているなければなりません。わたしたちが望んでいるのは家族と一緒に永遠の命を得ることです。もしうまくいったら永遠の命を手に入れたいと望んでいるわけではありません。また、永遠の命に近いものでいいと思っているのでもありません。どのような努力、苦痛、犠牲が求められようとも、永遠の命を目指しているのです。」(To Draw Closer to God [1997年], 161。または生徒用資料, 108)

教える内容

救いの計画という永遠の観点に立つ物の見方は、結婚生活におけるわたしたちの思い、感情、および行いに影響を及ぼす。

教え方の提案

 **ロールプレイ**。以下のことを説明する。夫婦はしばしば決断しなければならない事柄について異なった意見を持つことがある。そのような相違が生じた場合、夫婦が下す決断には一般に以下の3つがある。(1) 妻が譲って、夫が自分の意見を通す。(2) 夫が譲って、妻が自分の意見を通す。(3) 夫と妻が歩み寄って、両者を部分的に満足させる解決法を考え出す。

永遠の結婚においては、結婚生活に平安と一致をもたらすのに役立つ第4の方法がある。すなわち、夫婦のそれぞれが救いの計画で教えられている福音の原則を理解し、研究と信仰によって主の思いを学ぶように努め、主に従うために進んで自分自身の望みを犠牲にしたり調整したりするのである。両者が同じ福音の原則を取り入れるとき、異なる意見を持った二人に一致が可能になる。


生徒に以下の架空の状況を話す。ビルとスーザンは結婚して2年になる。ビルは大学を卒業し、初めての職に就いている。ビルは新車が欲しく、スーザンにその話を持ちかけている。スーザンは、自分は子供が欲しく、今の自分たちには自動車も買って子供も持つほどの余裕はないと言っている。

一組の男女にスーザンとビルの役を演じさせる。ロールプレイではまず自分の意見を述べて、懸命に自分の主張を通そうと努力するように指示する。次に、両者の望みが部分的にかなうような妥協案に向けた話し合いをさせる。(例えば、「中古車を買って、子供を持つのをある程度の期間待つことにしよう。」)その後、永遠の観点に立つ物の見方で問題を解決するように言って、同じ状況でもう一度ロールプレイをさせる。クラスの生徒に、この件に関する教会指導者の言葉を見つけて彼らを助けるように言う(生徒用資料, 152-158参照)。数組の生徒に順番にロールプレイをさせる。彼らの結論を黒板にまとめる。

問題	夫の意見	妻の意見	妥協案	主の永遠の観点に立つ物の見方
新車を買うか、子供を持つか。				

福音の原則を知り応用することにより、どのようにして一致が増し、意思決定に迷いがなくなるかを示して、ロールプレイを終える。

代替りの案として、教師自身が考え出した架空の状況を生徒に与えたり、生徒に自分たちの社会の中で若い夫婦がよく直面するジレンマを挙げさせたりしてもよい。

 **話し合い**。本課の最後にある配付資料1「見解の比較」を配付する(7-8)。左側の列から問題を2, 3選び、黒板に書く。これらはこれから宗教235で採り上げていく数多くのテーマを代表していることを説明する。これらの問題に対する自分たちの地域社会または世界での一般的な態度を生徒に簡単に確認させる。福音の観点から見て、それ

らの一般的な見解はそれぞれどのような結果を招くでしょうか。生徒にそれらの見解を救いの計画が教えている事柄と簡単に比較させる。それぞれの見解にはどのような約束された祝福が伴っているでしょうか。話し合いを進めながら、配付資料に必要な事項を記入させていく。

結び

ハロルド・B・リー大管長の以下の言葉を紹介する。「すべての福音の原則と儀式は、福音をその教えの実践によって学ぶようにという招きにほかならないのです。」(*The Teachings of Harold B. Lee*, クライド・J・ウイリアムズ編 [1996年], 619)

以下のことを強調する。福音の原則を最もよく学ぶ方法はそれらに従うことである。よいサマリヤ人のたとえを教えられたとき、救い主は御自分に従う者たちに次のように言って話を終えられた。「あなたも行って同じようにしなさい。」(ルカ10:37; ヤコブの手紙1:27も参照) 福音の原則は、キリストを中心とした夫婦関係の土台とすべきものである。このクラスで教えられる福音の原則を、結婚生活における決断の中で応用することによって自身の生活に取り入れるよう生徒に勧める。

配付資料1 見解の比較

問題	一般的な見解	結果	救いの計画に基づく見解	結果
宗教の異なる者同士の結婚				
結婚前の同棲 <small>どうせ</small>				
子供をもうける時期				
希望する子供の数				
結婚生活に対する義務				
宗教の大切さ				
キリストのような性質を身に付けること				
配偶者および子供の虐待				
乱暴な言葉や低俗な言葉				
伴侶への敬意				

問題	一般的な見解	結果	救いの計画に基づく見解	結果
母親が働くこと				
金銭の管理				
奉仕の大切さ				
犠牲の大切さ				
優先順位のバランス				
男性と女性の役割				
互いの必要を満たすこと				
結婚生活における貞節				
困難な時期における結婚生活への義務				
信頼できる者となること				

2 結婚生活の喜び

教義の概要

「結婚生活の幸福と、親となることによって得られる幸福は、ほかのいかなる幸福よりも数千倍も大きなものです。」(ジェームズ・E・ファウスト『聖徒の道』1978年4月号, 13)

「結婚生活は人の心で推し測ることのできない大きな喜びとなり得ます。すべての夫婦、すべての人がその喜びを手にすることができます。」(スペンサー・W・キンボール「結婚によって一つとなる」『リアホナ』2002年10月号, 38。“Marriage and Divorce,” 1976 *Devotional Speeches of the Year* [1977年], 146も参照)

「これらの聖なる場所で行われる結婚の誓いと、この世と永遠にわたって交わす神聖な聖約は、家庭を破壊し、幸福を打ち壊すような人生の多くの誘惑から守るものとなります。……

このようにして結婚生活を始める、若く、ふさわしい末日聖徒の男女は、永遠の聖約の下に築かれる永遠の協力関係が基礎となって、この世と次の世において平安、幸福、徳、愛、そのほか命にかかわる永遠不変のあらゆる真理が築き上げられることを知るでしょう。」(ヒーバー・J・グラント, “Beginning Life Together,” *Improvement Era*, 1936年4月号, 198-199)

原則

もし夫婦が結婚を幸福へと導く福音の原則に従うならば、結婚生活は「人の心で推し測ることのできない大きな喜び」をもたらす。

生徒用資料の読書課題


「結婚生活における幸福」の精選された教え (132-134)

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

教える内容


今日、幸福でいきいきとした永続的な夫婦関係や家族関係は実現可能なものである。

教え方の提案

 **聖句を使った活動。**生徒に、結婚生活における幸福が実現可能なものであって、追い求めるべき大切なものであることを示している聖句を挙げさせる。以下の参照聖句や質問が話し合いに役立つであろう。

- i 伝道4：9-12。独身よりも結婚している方がよいのはなぜでしょうか。
- i 伝道9：9。主はわたしたちに結婚生活においてどのようなことを求めておられるでしょうか。
- i 教義と聖約49：15-17。地が創造されたのはなぜですか。
- i 2ニーファイ2：25。わたしたちが創造された目的の一つは何ですか。(喜びを得ること。)

永遠にわたって存続する結婚や家族を得ようと努力することは、人が現世で追い求める最も大いなる事柄の一つである。そのことを生徒に理解させる。

 **生徒用資料。**世の中には、結婚や家族は時代遅れのものであって、もはや幸福をもたらしてはくれないと教える人々がいる。生徒に生徒用資料にある「幸福と喜びをもたらす結婚」(132-133)を読ませ、結婚や家族における幸福について神の預言者が教えていることを要約させる。以下のような質問について話し合う。


- i キンボール大管長によれば、結婚がわたしたちの下すあらゆる決断の中で恐らく最も重要なものであるのはなぜでしょうか。
- i なぜ結婚に対する確信を（絶えず）抱き続けなければならないのか、ボイド・K・パッカー長老はどのような理由を挙げていますか。
- i ブルース・R・マッコンキー長老によれば、主にあって一つに結ばれることが大切なのはなぜですか。
- i ジェームズ・E・ファウスト長老の言葉から考えて、非常に多くの人々が永遠の結婚よりもこの世の事柄を追い求めることによって幸福を見いだそうとするのはなぜだと思いますか。

まとめとして以下のことを伝える。結婚生活に幸福を見いだすことは今日もお可能である。この幸福は永遠に続く満ちみちる喜びとなる可能性を秘めている。

教える内容

サタンは神の偉大な幸福の計画を阻止したいと望んでいる。

教え方の提案

 **生徒用資料。**もしわたしたちが永遠の結婚を目標としているのであれば、それに反対して働く力についても理解することが大切である。1900年、合衆国における離婚は12件の結婚に対して1件であった。しかし2000年には、この比率は推定で2件の結婚に対して1件となっている。離婚に関しては世界中の多くの国々で同様の傾向が見られる(生徒用資料, 32, 39, 330参照)。

生徒用資料にある「幸福を失わせようとするサタン」(133)を生徒に開かせる。ルシフェルの唯一の目的に関するボイド・K・パッカー長老の言葉を読み、以下のような質問について話し合う。

- i パッカー長老によれば、サタンが結婚生活や家族を滅ぼすことにそれほど力を尽すのはなぜでしょうか。
- i もしサタンが成功を取めると、どのような結果となるでしょうか。

生徒用資料(133)にあるゴードン・B・ヒンクレー大管長の言葉を読む。以下のような質問について話し合う。


- i ヒンクレー大管長はどのような傾向についてわたしたちに警告しているでしょうか。
- i そのような問題を避けるために、どのようなことができるでしょうか。

以下のスペンサー・W・キンボール大管長の言葉を永遠の結婚にどのように当てはめることができるかを話し合う。「サタンは間違いなく一個の存在である。しかし、わたしたちと同じような肉体は持っていない。わたしたちを自分の側に引きずり込もうとしているサタンのよこしまな熱意は、天の御父がわたしたちを永遠の天国へ引き寄せようとされている熱意に劣らないのである。」(『救しの奇跡』25)

教える内容

幸福な結婚の祝福は、それが基づく律法に従うことによって得ることができる。

教え方の提案

 **話し合い。**以下の教えが永遠の結婚にどのように関連しているかを話し合う。

「創世の前に天において定められた不変の律法があり、すべての祝福はこれに基づいている。

すなわち、神から祝福を受けるときは、それが基づく律法に従うことによるのである。」(教義と聖約130：20-21)

「幸福こそ、わたしたちが存在する目的であり、わたしたちが意図するものである。わたしたちがそこに通じる道に従っていけば、最後に到達できるものである。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, ジョセフ・フィールディング・スミス選, 255)

祝福を求めるときには、それに関連する基本的な原則を学んで応用することが大切である。幸福な結婚生活という祝福については特にそうである。本コースは、聖文および生ける預言者の教えの中に幸福な結婚生活をもたらす正しい原則を見いだすことができるという前提の上に設けられている。



グループ活動。生徒用資料の「結婚生活における幸福」の項の「聖文の研究」にある聖句のリスト(133)を参照する。黒板に「家族——世界への宣言」から以下の言葉を書く。「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。」聖文と生ける預言者の教えは結婚生活と家族に関するイエス・キリストの教えを見いだす最良のよりどころであることを説明する。

生徒をグループに分け、生徒用資料にあるリストから聖句を割り当てる。各グループに、夫婦関係に応用できる原則の一つを見つけるように言う。また、その原則によって結婚生活で成功する可能性がどのように高まるかを説明するように言う。数分間グループで話し合わせた後、各グループに結果を発表させる。以下のような答えが考えられる。

- ； ヨブ6：25。もしキリストのような語り方をするならば、結婚生活において幸福を得る可能性が高くなる。
- ； 箴言15：1。忍耐と自制によって、結婚生活において幸福を得る可能性が高まる。
- ； マタイ12：34-37。キリストのようなコミュニケーションの取り方はキリストのような心からもたらされる。
- ； 1ニーファイ1：20。従順とイエス・キリストを信じる信仰によって、わたしたちは今日結婚を崩壊させている多くの試練を避けることができ、そこから救い出されることさえも可能である。
- ； 3ニーファイ18：19-21。家族はともに祈ることによってサタンの誘惑に抵抗する力を得る。
- ； アルマ41：10。結婚生活における悪事は決して幸福を生じることがない。義にかなった生活により結婚生活に幸福を見いだす可能性は大いに高まる。
- ； 教義と聖約42：22。わたしたちが自分の伴侶と福音の聖約に忠実であって、それらにすべてをささげるとき、幸福で永続する結婚生活を送る可能性は高まる。
- ； 教義と聖約42：23。姦淫と姦淫の思いは結婚生活を破壊する。
- ； 教義と聖約50：28。結婚生活における完成に先立って、あらゆる罪からの聖めがなければならない。

教師自身また生徒が挙げたその他の聖句について話し合う。これらは聖文にある結婚生活や家族に関する原則のほんの一部にすぎないことを生徒に伝える。毎日の聖文研究の中でそのような原則を見つけるよう生徒に勧める。



証人の律法。生徒用資料の「結婚生活における幸福」の項の最後にあるヘンリー・B・アイリング長老の言葉(134)を読む。以下の質問について話し合う。

- ； このような危険な時代にあってわたしたちはどこに安全を求めればよいでしょうか。

- i 証人の律法とは何でしょうか。またそれはどのようにして結婚生活を救う助けとなるでしょうか。

本コースでのテーマおよび読書課題は証人の律法に基づいて構成されている。本コースで採り上げられている内容は、結婚に関するテーマに対する複数の預言者の勧告である。幸福で永続する結婚生活を送るうえで必要なことに関するその預言者の教えを応用するときに、わたしたちは約束された祝福を受けるに値する者となる。



コースの概要。もしまだ行っていなければ、生徒に本書の冒頭にある「生徒用資料の読書課題」(viii-x)のコピーを配付する。今後の課および読書課題を紹介する。預言者の教えを研究することによってもたらされる、善へと導く力^{あかし}について証する。生徒への割り当てとして、クラスの前にそれぞれの読書課題を読み終えておくように言う。

結び

話し合いの活動(10参照)から、幸福についての預言者ジョセフ・スミスの言葉を読む。以下を説明する。正しい原則を学んで実践することによって、また夫婦間の決断において聖霊の導きを求めることによって、わたしたちはこの世で真の結婚生活における幸福を見いだすことができる。もしこれらの原則に従うならば、わたしたちはこの世と次の世の両方における結婚生活において幸福を得る可能性を大いに高めることができる。

3 結婚の神聖な聖約を守る

教義の概要

以下の聖句は、神権の儀式とそれらに関連する聖約の重要性を明らかにしている。「それゆえ、この神権の儀式によって神性の力が現れる。

また、神権の儀式と権能がなくては、肉体を持つ人間に神性の力は現れない。」（教義と聖約84：20-21）

聖約を交わして守ることは、永遠の祝福にふさわしくなるために不可欠である。

原則

神聖な儀式を通して交わす聖約に従うことによって、結婚生活において神性の力が増す。

生徒用資料の読書課題

「聖約と儀式」の精選された教え（236-238）

「離婚」の精選された教え（377-378）

「約束の聖なる御霊」（363）


「聖約による結婚」ブルース・C・ヘーフェン長老（245-248）


注——本課は2回以上に分けて教えてもよい。

教える内容

神聖な聖約と儀式によって人類に神の力が用意されている。この力によって永遠の関係が可能になる。

教え方の提案

 **話し合い。**以下の質問をする。夫婦が生涯を通じて結婚の聖約に対する決意を固く保つにはどのようなことができるでしょうか。

 **話し合い。**生徒に『聖句ガイド』にある「聖約」の定義（152）を読んで話し合うように言う。以下の質問が役立つであろう。

- ； あなたは「聖約」をどのように定義しますか。
- ； 神との聖約の条件を定めるのはだれですか。
- ； 聖約は福音の原則や儀式とどのような関係があるでしょうか。
- ； 聖約はわたしたちが福音に従って生活するのをどのように助けてくれるでしょうか。

以下のことを説明する。神と人との間の聖約では、両者が義務を引き受け、両者が利益を受ける。黒板に次の表を描き、太字の見出しだけを書き込む。それぞれの空欄に書くべきことを生徒に挙げさせる。

	義務	利益
神	約束された祝福をお与えになる。	個人または夫婦を再び御自分のもとに迎え入れられる。それは神の業であり栄光である（モーセ1：39参照）。
人	聖約の中で神によって定められた条件を守る。	約束された祝福を受ける。

教義と聖約84：20-21を分析し、話し合う。

わたしたちにどれほどの熱意や誠実さがあっても、儀式を受けてそれらに関連する聖約を守らなければ永遠の祝福を手にはすることはできない。

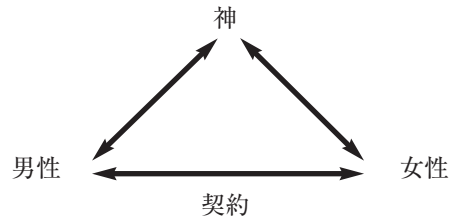
以下の言葉を紹介する。「教会では、『儀式』という言葉の人々の救いと導きと慰めのために主が与えてくださった儀式として使っている。……これらの儀式は霊的な経験を表象する外的な行為である。儀式を受ける者は、生活を変えるために必要な霊的な力を得る。」（『神権の義務と祝福B』26参照）

黒板に以下の図を描く。



市民結婚に関して図が表していることを生徒に説明させ、彼らの答えについて話し合う。（例えば、矢印は結婚する両者が互いに対して与える愛と支えを表しており、線は互いに対する義務を表している。）市民結婚を有効なものとするにはどのような権限が必要ですか。

2番目の図を以下のように描く。



先の場合と同様に、図が表していることを生徒に説明させ、彼らの答えについて話し合う。（下向きの矢印は神の権能、戒め、贖罪などを表す。上向きの矢印は夫婦の従順さや祈りを表している。）

- i 永遠の聖約が神によって承認されなければならないのはなぜでしょうか。
- i 神がわたしたちの交わす聖約の当事者の御一方であられることを確信するにはどうすればよいでしょうか。

以下のことを説明する。わたしたちが結婚の新しくかつ永遠の聖約を交わすとき、聖約を交わした夫婦の結びつきは市民結婚で契約を交わした場合よりもはるかに強いものとなる。神がわたしたちの聖約のパートナーとなられるため、神殿における儀式はわたしたちを天へと引き寄せてくれる。これらの儀式はわたしたちが自らの結婚生活に関して永遠の観点に立ち、互いと神に対してより献身できるように助けてくれる。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように教えている。「末日聖徒の究極的な優先順位には二つの要素があります。第1は、わたしたちと、永遠の父なる神とその御子イエス・キリストに対する関係を理解すること、そして、御二方から与えられた救いの儀式を受け、個人的に交わした聖約を守ることによって、御二方との関係を確実なものとするということです。第2は、自分の家族との関係を理解すること、そして、神殿の儀式を受け、その神聖な場所で交わす聖約を守ることによって、家族の関係を確かなものにするということです。今、申し上げた方法によって、これらの関係を確実なものとするなら、ほかのいかなる方法でも得られない、永遠の祝福が得られます。科学、成功、財産、優越感、名声、権力をどれだけ自分のものとしたとしても、この永遠の祝福は得られません。」（『リアホナ』2001年7月号、102）


夫婦はどうすればこれらの二つを生活の中で絶えず最優先することができるでしょうか。

生徒用資料にある「日の栄えの結婚」の表(244)を簡単に読む。

教える内容


神聖な聖約によって得られる力は、夫婦が天の両親のようになるのを可能にする。

教え方の提案

 **話し合い。** 教義と聖約130：20-21を読む。

- i 主の祝福にはどのような条件がつけられていますか。(それらが基づく律法に従うこと。)
- i 主がわたしたちの受ける儀式の一部として特定の祝福を約束してくださるとき、わたしたちはその祝福を受けるために何をしなければなりませんか。
- i 教義と聖約136：4を読む。(訳注——日本語で「定め」と翻訳されている“ordinances”は「儀式」とも訳される。)[「主のすべての定めに従って」歩むことは、わたしたちが永遠の命を受ける資格を得るうえでどのように助けとなるのでしょうか。(これらの定め〔儀式〕の一部として、わたしたちは王国を受け継ぐ者として天の両親のもとに行くために必要なすべての事柄を行うと聖約する。)


パトリシア・T・ホランド姉妹は次のように語っている。「聖約によってわたしたちは神に対する揺るがぬ献身を約束しますが、聖約はまたわたしたちに、神のわたしたちに対する献身は決して揺るがぬものであることを思い起こさせてくれます。わたしたちはつまずいて間違いを犯すかもしれませんが、神は決してつまずかれることはありません。神は決して間違いを犯されません。神は常にわたしたちに忠実でいてくださいます。それこそが、わたしたちが神と交わす聖約に内在するすばらしい点であり尊厳なのです。」(“Considering Covenants: Women, Men, Perspective, Promises” *To Rejoice as Women: Talks from the 1994 Women’s Conference*, スゼット・フレッチャー・グリーンとドーン・ホール・アンダーソン編 [1995年], 99-100。または生徒用資料, 237)

 **話し合い。** 十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は、神聖な聖約を理解して覚えることが神の約束された祝福へのふさわしさを保つうえでどのように役立つのかを説明している。

「わたしたちが主と交わした聖約を定期的に思い起こすようにすれば、優先順位を決めたり、生活にバランスを保たせたりすることは容易になってくるはずで。聖約に思いをはせることにより、わたしたちは、交わした聖約と聖なる儀式に伴う約束にふさわしくなるために、どんな点を反省し、生活をどう変えていったらよいか分かってきます。自分自身の救いを達成するには、しっかりした計画と、慎重ながら雄々しい努力が必要なのです。」(『聖徒の道』1987年7月号, 15。または生徒用資料, 238)

- i バラード長老が語っている神聖な救いの儀式にはどのようなものがあるのでしょうか。
- i それぞれの儀式の一部として、わたしたちは神とどのようなことを聖約するのでしょうか。
- i それぞれの儀式の中で、主はわたしたちにどのようなことを約束してくださるのでしょうか。

生徒が答えた後、彼らに自分たちの答えを「聖約に基づく主との関係」(生徒用資料, 238-244)の内容と比較させる。第1列には儀式を執行する権能を持つ者が示されている。第2列および第3列には、わたしたちが神と交わす約束と神がわたしたちに約束される事柄が説明されている。生徒とともに永遠の結婚へとつながる聖約を読み、自分是一つ一つを守ることにおいてどれくらい忠実であるかを生徒に心の中で吟味させる。

 **話し合い。** 伴侶となる可能性のある人が永遠の結婚の聖約をどのくらい守ると思われるかを最もよく示しているものは何でしょうか。

それは、彼らがバプテスマ、神権の誓詞と聖約、およびすでに受けていればエンダ


ウメントを含め、自分の交わした聖約を現在どのくらい尊んでいるかであることを生徒に理解させる。


「聖約に基づく主との関係」にある日の栄えの結婚についての最後の項（生徒用資料、244）を読む。神殿で結婚する際にわたしたちは何を行うと聖約するのか尋ねる。もしわたしたちが聖約を守るならば主はわたしたちに何を約束してくださるでしょうか。神聖な聖約を交わして守る者に用意されている多くの祝福を指摘する。

教える内容

聖約を守ることによって、わたしたちは結婚生活や家族について天に助けを求める力を得ることができる。

教え方の提案

 **生徒用資料。** 聖約を守ることは様々な形で生活に祝福をもたらす。生徒用資料の「聖約と儀式」にある精選された教え（236）を開く。245ページにある、家族をつなぐ結び固めの儀式の力に関するボイド・K・パッカー長老の言葉を読んで話し合う。


 **聖句を使った活動。** 以下の聖句を読み、忠実さがどのようにして家族を守る力をもたらすかという質問にそれらの聖句を関連づける。

- i モーサヤ26：15-20。アルマは神権の誓詞と聖約をどのようにして尊んだと思いませんか。
- i モーサヤ27：14。アルマはその忠実さによって、自分の家族にどのように祝福をもたらすことができたでしょうか。（彼は自分の息子である息子アルマについて、彼が「真理の知識に導かれる」ように「深い信仰をもって」祈ることができた。）
- i モーサヤ28：5-7。モーサヤ王は主との関係によって、自分の家族にどのように祝福をもたらしたでしょうか。（息子たちからレーマン人のもとへ危険な伝道に行ってもよいかと尋ねられたとき、彼は主に尋ねて主から答えを受けるためのふさわしさを備えていた。）主のモーサヤ王に対する約束が成就した話を読む（アルマ19：22-23参照）。これはすべての家族に対する規範というわけではないが、それでもふさわしい状態にある家族の別の一員のために示された一人の信仰の力を示している。
- i アルマ53：16-21；56：45-48, 56。ヒラマンの息子たちは、自分たちを守る力はどこから来ると考えていましたか。このような力は今日どのような形で得られるのかを話し合う。永遠の結婚に伴うものを含め、すべての聖約を守ることは、わたしたちが自分の家族に祝福をもたらす力をどのようにして高めてくれるでしょうか。

教える内容

生ける預言者は結婚の新しくかつ永遠の聖約に関する導きを与えてくれる。

教え方の提案

 **グループ活動。** 現代の預言者は、わたしたちが神殿で結婚するときに交わす聖約の本質を理解できるように助けてくれる。「聖約と儀式」の精選された教えを開く（生徒用資料、236）。生徒をグループに分けて以下の質問を割り当てる。数分間、その答えについて話し合わせ、結果をクラスで発表させる。（代わりに、クラス全体ですべての質問について話し合ってもよい。）

- i ジョセフ・フィールディング・スミス大管長（生徒用資料、236）。約束の聖なる御霊は永遠の結婚の聖約においてどのような役割を果たしますか（「約束の聖なる御霊」の精選された教え、生徒用資料、363も参照）。

スミス大管長は離婚を避けることについてどのようなことを教えていますか。大管長は、離婚によって結婚の聖約を破ることに対する主の罰は何であると言っていますか（ゴードン・B・ヒンクレーおよびジェームズ・E・ファウスト「離婚」の精選された教え、生徒用資料、377も参照）。

スミス大管長によれば、わたしたちは結婚するときにほかに二つの義務を引き受けますが、それは何ですか。それらの義務を果たすように努めるときに直面する可能性のある困難には、どのようなものがあるでしょうか。

i マリオン・G・ロムニー長老（生徒用資料，236-237）。ロムニー長老の考えによれば、わたしたちが自分の聖約を真剣に受け止めなければならないのはなぜですか。神聖な聖約と儀式に対して、わたしたちが時々不注意や無関心に陥るのは、どのような場合でしょうか。

i ロバート・D・ヘイルズ長老（生徒用資料，237）。主はわたしたちに、たとえ結婚生活について満足のいかない事柄があるとしても伴侶を愛し続けるように求めておられます。それはなぜでしょうか。聖約を尊びたいという望みは、このような状況の中でどのような助けとなるでしょうか。

i ジェフリー・R・ホランド長老およびパトリシア・T・ホランド姉妹（生徒用資料，237）。ホランド長老夫妻の教えている聖約の力とは何ですか。



話し合い。 契約による市民結婚と永遠の聖約による結婚の違いを説明する（ブルース・C・ヘーフェン「聖約による結婚」生徒用資料，245-248参照）。その違いを説明するために、黒板の中央に1本の縦線を引く。一方に「契約による結婚」と書き、もう一方に「聖約による結婚」と書く。ヘーフェン長老の話を用いながら、それぞれの結婚の特徴を書き出し、それらをクラス全体で比較する。

あらゆる夫婦は逆境に対処しなければならない。民法によって結婚している夫婦は、聖約による結婚に力を与える永遠の観点に立つ物の見方が欠如していることがある。

結び

聖約を守ることが教師自身の結婚生活や家族にどのように祝福をもたらしているかについて、証を述べることを検討する。

第7課のための課題

生徒に以下の家族歴史に関する課題を与える。この課題の期日は、第7課「先祖からの受け継ぎ」を教えるとき（通常は約2週間後）とする。

その1。 自分の先祖の生涯に起きた出来事について学び、その中であなた自身の結婚生活や家族生活に影響を及ぼすと考えられる事柄について調べます。この課題を行うまで知らなかったことを何か見つけてください。親族が書いた家族の歴史を読んだり、両親や祖父母、あるいはおじやおばに、家族の歴史の中から珍しい、または霊を鼓舞されるような出来事を話してくれるように頼んだりすることもできるでしょう。学んだ事柄を書き留めて、それをあなた自身の家族歴史に加えましょう。それがあなた自身の結婚生活や家族にどのような影響を与えると思うか述べてください。あなたの考えをクラスで発表できるように準備しておきましょう。

その2。 両親やそのほかの家族の人々、または家族全員を知っている友人と話します。彼らに、あなたとあなたの両親の間に癖や興味などにおいて何か類似点があると思うかどうか尋ねてください。またあなたの祖父母にもそれらの特徴があったかどうかを尋ねましょう。

その3。あなたの成長過程で見てきた家族のルール、習慣、および伝統のリストを作ります。次に、自分自身の家族の中で続けたいと思うルールや伝統のリストを作ります。その中で福音の原則に根ざしていると感じるものはどれですか。

これらの習慣や伝統には以下に関するものが考えられます。家庭での毎日の仕事、勉強、門限、就寝時間、食事、家族会議、家族の聖文研究、家庭の夕べ、家族の祈り、夫婦の祈り、父親の祝福と面接、誕生日、記念日、卒業、結婚記念日、休日の伝統、安息日の遵守、伝道、神殿結婚、レクリエーション活動、夫の役割と妻の役割、意志決定、財政（什分の一の支払い、クレジットカード、負債、予算管理など）、愛情表現、意思疎通の方法、問題解決、および物質的な事物の重要度。

4 結婚生活における霊性

教義の概要

「もし、夫婦が自分自身よりも主を愛し、また自分以上に配偶者を愛して、福音を基としてその計画に完全に合致した生活を営むならば、この大きな幸せを必ずや得るに違いありません。夫婦がそろって度々聖なる神殿に行き、家庭では家族とともにひざまずいて祈り、ともに教会の集会に出席し、自分のすべての思いと望みと愛を伴侶に向けるために、思いにおいても肉体においても完全に清い生活を送り、さらに王国を築くために力を合わせるならば、無上の幸福を味わうことでしょう。」（スペンサー・W・キンボール “Marriage and Divorce” 1976 Devotional Speeches of the Year [1977年], 151。または生徒用資料, 35)

原則

「もし、夫婦が自分自身よりも主を愛し、……王国を築くために力を合わせるならば、無上の幸福を味わうことでしょう。」

生徒用資料の読書課題


「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）

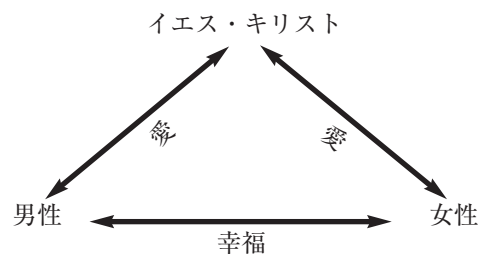
「家族——世界への宣言」の精選された教え（86-103）


教える内容

夫婦はよりキリストのような者となるにつれて、さらに互いに愛し合うことができるようになる。

教え方の提案

 **話し合い。** 黒板に本課の原則を書く。生徒にこの原則を説明した図を描かせる。生徒がひととおり描いた後、黒板に以下の図を描き、レッスンの最後まで残しておく。



 **生徒用資料。** 生徒に「神に対する愛は、わたしたち相互の愛にどのような影響を与えるだろうか」の項（生徒用資料, 4）を開かせる。それぞれの言葉を読み、以下のような質問をする。


- i オーソン・プラット長老。「不義な人は、妻に対してわずかな愛情しか注がない」のはなぜだと思いますか。キリストを中心とした家庭で福音の原則に従って生活することは、男性がその妻を愛するうえでどのような助けとなるのでしょうか。
- i ジョン・A・ウイツォー長老。男女間の真の愛は「神の愛を必ず含んでい〔る〕」のはなぜでしょうか。


- i ラッセル・M・ネルソン長老。ネルソン長老によれば、わたしたちが主に献身することにより、自分の伴侶に献身しようとする気持ちがどのように高められるのでしょうか。これが真実であるのはなぜでしょうか。もし伴侶の神聖な聖約に対する決意が弱ければ、結婚生活にどのような結果が生じるでしょうか。

教える内容

霊性を築くことは、個人と夫婦の両方が追い求めるべきものである。

教え方の提案


 **グループ活動。**生徒を3つのグループに分け、各グループにリチャード・G・スコット長老の「霊的な知識を得る」(生徒用資料, 381) から以下の項のいずれかを読ませる。「天からの光を謙遜に求める」「信仰を行使し、イエスの勧告に聞き従う」および「戒めに従う」。各グループに、割り当てられた読書課題から重要な概念を2つか3つ発表させ、それらについてクラスで話し合う。

 **話し合い。**生徒に以下の質問をする。個人として霊性を高めるためにどのようなことができるでしょうか。夫婦として霊性を高めるためにどのようなことができるでしょうか。御霊は結婚生活における日々の問題の解決をどのように助けてくれるでしょうか。

教える内容

「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません」(「家族——世界への宣言」)

教え方の提案

 **グループ活動。**生徒とともに「家族——世界への宣言」(生徒用資料, 85) を開き、第7段落から以下の原則を読む。「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。」堅固な土台の上に築くことの大切さについて聖文でどのように教えられているかを生徒に簡単に思い起こさせる(ルカ6:47-49; 1コリント3:10-13; エペソ2:20; または2ニーファイ28:28参照)。家族生活に幸福を見いだすためには、主イエス・キリストの教えを土台としなければならないことを説明する。

宣言の第7段落では、実り多い結婚生活の土台となる以下の9つの原則が挙げられている。信仰、祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、および健全な娯楽活動。生徒を小さなグループに分け、各グループに一つか二つの原則を割り当てる。各グループに割り当てられた原則がどのようにして結婚生活を強めるかを示した例を考えて、クラスで発表させる。時間が許せばその他の例について話し合う。

結び

当時十二使徒定員会会員であったジェームズ・E・ファウスト長老の次の言葉を読む。「結婚生活がもたらす偉大な幸福の中核を成すものは、夫婦愛をはぐくみ、神が授けてくださる神聖な祝福を享受することです。霊的な一致は結婚生活を不動のものとし、結婚生活の神聖さが徐々に失われ始めると、結婚は破滅へと向かうようになります。」(「結婚生活を豊かにするもの」『聖徒の道』1978年2月号, 11。または生徒用資料, 332) 黒板の図に戻り、以下のことを説明する。夫婦の両方がイエス・キリストを愛してその教えに従うことによって、結婚生活が「破滅へと向かう」のを避けることができる。黒板に描いた図を使って、夫婦が主に近づけば、それだけ二人は互いに近づくことを説明する。

霊性は結婚生活をより充実させるという原則を復習する。自分自身の長所と短所について考え、よりキリストのような者になる方法を見つけるように生徒に勧める。

5 結婚生活における意思疎通の基本原則

教義の概要

「周囲の人との意思疎通の状態は、その人の顔色に表れます。ですから、相手に何を伝えるかだけでなく、どのようにそれを伝えるかにも注意を払う必要があります。わたしたちの霊は互いに伝えようとする内容やそのときの態度によって、強められたり、弱められたりするのです。」(L・ライオネル・ケンドリック『聖徒の道』1989年2月号, 25)

原則

優れた意思疎通は結婚生活を向上させる。

生徒用資料の読書課題

「意思の疎通」の精選された教え (20-21)


教える内容

自分自身の長所と短所を理解することは、意思疎通の技術を向上させるうえで役立つ。


教える内容


教会指導者は、夫婦間の意思疎通は思いやり、思慮深さ、率直さ、忍耐、愛、尊敬、分け隔てしない心、および互いの選択の自由に対する尊敬の念によって改善すると教えている。

教え方の提案

 **生徒の予備テスト。**本課の最後にある配付資料2「意思疎通に関する質問」(23)をコピーし、既婚または婚約中の生徒に配付する。数分間、「わたしはどのくらい上手に意思疎通を図っているだろうか」にある質問に答えさせる。彼らの答えについてクラスでは話し合わないことを説明し、後で自分の婚約者または伴侶とともに話し合うように勧める。

教え方の提案

 **話し合い。**生徒とともに教義と聖約76:94を読む。以下のことを説明する。日の栄えの王国を受け継ぐ者の特質の一つは「彼らが見られているように見、彼らが知られているように知る」ことである。これは、完全となった日の栄えの状態では、わたしたちは互いに対して偽善や欺き、誤解のない、清くて明白な意思疎通を図るようになることを示唆しているように思われる。日の栄えの栄光はわたしたちの目標であるから、わたしたちは今からこのような意思疎通の能力を身に付けて用いるように努力するべきである。

 **グループ活動。**生徒に生徒用資料の「意思の疎通」にある関連聖句(20)を開かせる。生徒をグループに分け、各グループに幾つかの聖句を割り当てる。グループごとに、それらの聖句が夫婦や家族における意思疎通にどのように当てはまるかを話し合わせる。結論をクラスで報告させる。

配付資料3。本課の最後にある配付資料3「情緒的虐待の自己評価」(24)のコピーを用意し、生徒に配付する。そこに挙げられている振る舞いについて感じることを話し合わせる。帰宅後に自己評価表に記入し、既婚者の場合はその後伴侶とそれらについて話し合うように勧める。

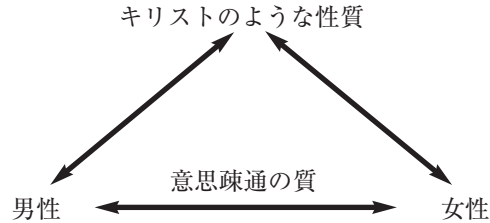
強い夫婦関係を得るには、互いの感情を傷つけるようなあらゆる種類の意思疎通を排除し、代わりに、はぐくみ、教化し、高め、励まし、伴侶に自分は大事にされ愛されていると感じてもらえるような方法で意思疎通を行わなければならないことを指摘する。

教える内容

夫婦はキリストのような者になればなるほど、互いに対する愛をもって意思疎通を図ることができるようになる。

教え方の提案

話し合い。 黒板に以下の図を描く。生徒にそれを説明させる。男性と女性がキリストに近づけば近づくほど（言い換えれば、キリストのような者になればなるほど）互いに対する愛をもって意思疎通を図れるようになることを説明する。



話し合い。 生徒に以下の言葉を読んで聞かせ、それぞれ夫婦間の意思疎通とどのような関係があるかを尋ねる。

- i 当時十二使徒定員会会員であったジョン・A・ウィットォー長老は次のように書いている。「女性に対する男性の真の愛は、すべての善の源である神の愛を必ず含んでいます。」(*Evidences and Reconciliations*, G・ホーマー・ダラム編 [全3巻] 第1巻 [1960年], 297。または生徒用資料, 4)
- i 十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老は次のように教えている。「キリストを中心としていない人の教えでは、他人に仕えるという観念はすぐに薄れていく。……通常、人は隣人を、単にその人がそこにいるからという理由で愛することはない。ある人々は神の存在を確信するようになって初めて隣人の存在に気づくのである。」(*Of One Heart: The Glory of the City of Enoch* [1975年], 15)

結び

ヤコブの手紙3章に書かれている次の二つの言葉に、永遠の関係を強める方法で意思疎通を行うことについてのチャレンジが要約されている。

「わたしたちは皆、多くのあやまちを犯すものである。もし、言葉の上であやまちのない人があれば、そういう人は、全身をも制御することのできる完全な人である。……

あなたがたのうちで、知恵があり物わりのよい人は、だれであるか。その人は、知恵にかなう柔和な行いをしていることを、よい生活によって示すがよい。」(ヤコブの手紙3:2, 13)

時間があれば、ヤコブの手紙3章をすべて読んで話し合う。

配付資料2 意思疎通に関する質問

わたしはどのくらい上手に意思疎通を図っているだろうか	ほとんどいつも	時々	ほとんどない
1. わたしは伴侶に対して夫婦関係を強めるような話し方をしている。			
2. わたしは夫婦関係を強めるような事柄を話題に選んでいる。			
3. わたしは伴侶の過ちよりも伴侶の長所を強調している。			
4. わたしは伴侶について肯定的な態度を執っている。			
5. わたしは伴侶と意思疎通を図るとき、批判や侮辱をしたり、自己防衛的であったり、自分の内に引きこもったり、伴侶を孤立させたり、頑固であったりすることのないようにしている。			
6. わたしは伴侶に対する自分の愛と尊敬の気持ちが伝わるような方法で伴侶と意思疎通を図っている。			
7. わたしは伴侶を夫婦関係において対等のパートナーとして見ている。			
8. わたしは結婚生活におけるあらゆる重要な決断を伴侶ともに行っている。			
9. わたしは伴侶に自分の理想どおりの人物になるよう強要しようとしてはならないことを理解している。			
10. わたしはキリストのような方法で意思疎通を図るよう熱心に努力している。			

配付資料3 情緒的虐待の自己評価

ジュディ・C・オルセン, "The Invisible Heartbreaker," Ensign, 1996年6月号, 24-25を基に作成

自分の伴侶やその他の人に対して以下のような形での情緒的虐待をどのくらいの頻度で行っているかに印を付けてください。

虐待的行為	まったくない (過去5年間 行っていない)	めったにない (年1度以下)	時々ある (月1度以下)	頻繁にある (毎週または 毎日)
名前の呼び方				
「ばか」「まぬけ」またはそれよりもひどい語句を用いる				
皮肉な言葉や誇張した言い方を用いる				
不快感を与えるニックネームを用いる				
特定の特徴を端的に表した侮辱的なニックネームを用いる				
自尊心を傷つける言葉				
相手の行いを価値のないものと見なす言葉				
見下すような声の調子				
相手をけなす屈辱的なユーモア				
あら探し				
脅迫的行為				
自分の言い分を通すために脅す				
腹立ち紛れの言葉を発する				
大声で叫ぶ				
床を踏みつけて大きな音を立てながら家中を歩き回る				
物を投げたり壊したりする				
相手の言葉を遮って激しい口調で話す				
怒った顔やその他の方法で敵意を表す				
相手を孤立させる行為 (伴侶の、他人や外界との交わりを制限する)				
情報や感情を伝えるのを控える				
嫌悪感や疎遠感を意図的に抱き続ける				
不適切なルールを設ける				
相手を操ろうとする行為				
同情を得るために傷ついたかのように振る舞う				
罪悪感を抱かせようとする				
問題を伴侶やその他の人のせいにする				
利己的な理由で伴侶の決断に故意に賛成しない				

6 結婚生活における義にかなった一致

教義の概要

「思いを一つにし、心を一つにして決意を固め、あらゆることに結束しなさい。」(2ニーファイ1：21)

「主はその民をシオンと呼ばれた。彼らが心を一つにし、思いを一つにし、義のうちに住んだからである。」(モーセ7：18)

「夫婦は目標、望み、行動において義にかなった形で一致し、一つとならなければなりません。」(エズラ・タフト・ベンソン「救い——家族で取り組む事業」『聖徒の道』1992年11月号、3。または生徒用資料、152)

「心と思いにおいて一つとなるのは、物理的に一つとなるよりもはるかに難しいことです。」(ジェームズ・E・ファウスト『聖徒の道』1993年7月号、39。または生徒用資料、27)

原則

伴侶との義にかなった一致を達成することによって、結婚生活において成功する可能性が高まる。

生徒用資料の読書課題

「一致」の精選された教え (27-29)


「利己心」の精選された教え (376)

教える内容

結婚生活における義にかなった一致は、目標と望みと行動において一つになることから成る。

教え方の提案

前課で話し合った愛と尊敬と優れた意思疎通の原則を生徒に思い起こさせる。結婚生活において一致を築いていくうえでこれらの原則が持つ重要性を指摘する。


 **話し合い。** 黒板に「教義の概要」にあるエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を書く。以下の質問をする。「義にかなった形で一致〔する〕とはどういう意味だと思いますか。この概念について、以下のような質問を用いながら話し合う。

- i 義にかなった一致は結婚生活において、問題が起こるのを防いだり、問題を解決したりするのをどのような形で助けてくれるのでしょうか。「どのような」種類の一致であっても関係を改善できると思いますか。それとも「義にかなった」一致でなければなりませんか。それはなぜですか。
- i ベンソン大管長によれば、わたしたちはどのような分野で一つとなるように努めなければなりませんか。
- i 結婚生活における義にかなった一致にはどのような例があるのでしょうか。
- i 永遠の結婚では個性を持ちながらも一致することが可能であるのはなぜでしょうか。


教える内容

結婚生活における義にかなった一致は力をもたらす。

教え方の提案

 **聖句を使った活動。** 結婚生活における一致の力を教えるために、以下のたとえを用いるとよい。生徒にツーバイフォー工法（訳注——北アメリカから導入された、木造住宅の工法の一つ。2×4インチ〔5×10センチ〕の断面の部材を標準的に用い、おもに壁面で支える工法）で用いる材木を見せる。以下のことを説明する。ツーバイフォー工法で用いる長さが8フィート（約2.5メートル）の材木は、垂直に置かれた場合に577ポンド（262キロ）の重量を支えることができる。それ以上の重さを受けると曲がってしまう。生徒にもう一つのツーバイフォーの材木を見せる。二つの材木を接触しないように並べて持ち、二つでどのくらいの重量を支えることができるかを生徒に尋ねる。（2倍、すなわち1,154ポンド〔524キロ〕の重量を支えることができる。）次に、二つを接合する。もしこれらが接合されて1本の木材として用いられた場合、どのくらいの重量を支えることができるかを生徒に尋ねる。（接合された場合には4,610ポンド〔2,095キロ〕、すなわち接合されていない場合に耐えられる重量の4倍近くを支えることができる。）注——このたとえは、棒や定規を用いて教えることもできる。縛りつけられた2本の定規を垂直に置いた場合、縛りつけられていない場合よりもはるかに大きな重さに耐えることができる。

生徒とともに伝道4：9を読む。この聖句とツーバイフォー工法のたとえが結婚生活とどのように関係しているかを話し合う。永遠の結婚によって一つとなっている男女は、どのようにして自分たちが独身のままで互いの才能を合わせたとき以上の力を発揮するでしょうか。「相乗効果」とはどういう意味ですか。（「二つ以上の要素が相互に影響または連携し合い、それら個々の力を合わせた以上の効果が生み出されること。」〔*The Concise Oxford Dictionary*, 第10版（1999年）, 1452〕）永遠の結婚と家族を強めるうえで、相乗効果がどのように働くかを話し合う。

 **話し合い。** 十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老による以下の言葉を読む。


「こうした異なった特質は、結婚を通じて一つになり、調和して、夫と妻、子供や孫たちにとって祝福となります。人生で最大の幸福と豊かな実りを得るには、夫と妻の両方が必要なのです。二人の働きは結びつき、補い合っています。各人は、主が男女の幸福のために定められた役割に最も合う、それぞれの特質を与えられています。主が意図されたとおりにこれらの特質を行使するなら、夫婦は、一つとなって考え、行動し、喜びを得ることでしょう。また、問題と一緒に直面し、一つになって克服することでしょう。愛と理解力をもって成長し、神殿の儀式を通して結び合わされた二人は永遠に一つとなるでしょう。これがその計画です。」（『聖徒の道』1997年1月号, 84。または生徒用資料, 28）

生まれつきの違いがどのようにして結婚生活に益となり得るか、また、違いによって一致した思い、行い、および喜びが妨げられるとは限らないのはなぜかを話し合う。

教える内容

結婚生活に距離と不一致を生じさせるくさびには様々なものがある。

教え方の提案

 **話し合い。** 当時十二使徒定員会会員であったスペンサー・W・キンボール長老による以下の物語を紹介する。くさびとは丸太を割って薪にするために用いる三角形の金属片であることを説明する。

「ある晩、わたしはその日にかかわった数々の問題について深く考えながら横になっていました。1週間を通じて、わたしのオフィスにやって来る人は後を絶ちませんでした。皆すばらしい人々です。悲しみや心の苦痛にうなだれた人もいれば、人生の罰によって悔い改めを学んでいる人もいました。夫婦間の問題に、道徳的な罪に、財政的な破綻に、そして霊性の欠如に挫折を味わっている人もいました。

彼らは基本的には善良な人々でした。しかし人生を歩んでいく中で、彼らは細くて

狭い道にとどまるのは難しいと感じて、わき道にそれて行ってしまいました。彼らは聖約を忘れ去り、良い決意を実行に移すのを引き延ばしてしまいました。

突然わたしの心の中に、サミュエル・T・ホイットマンの『忘れられたくさび』(“Forgotten Wedges”)という話が浮かびました。くさびの使い方はアリゾナにいた少年のころに覚えて知っていました。大きな家にあるたくさんの暖炉に薪を用意するのがわたしの仕事だったのです。ホイットマンの話を引用しましょう。

『その氷混じりの嵐は、概して大きな災害をもたらすことはなかった。電線が何本か切れて垂れ下がり、ハイウエーの事故件数が急増したのは事実である。出歩くのが嫌になり、また難しくなった。確かに不快な天気ではあったが、それでも深刻なものではなかった。普通であれば、あのクルミの大木は、広げた枝についた氷の重みに容易に耐えられるはずであった。この大木に打撃を与えたのは、幹の中心に食い込んだ鉄のくさびだった。

鉄のくさびの話は、白髪の老農夫がまだ少年で、親もとにいたころにさかのぼる。当時、製材所がこの盆地から移転して行ったばかりで、開拓者たちは辺りに散乱した道具や余った備品などを見つけることがまだあった。……

そんなある日、少年はきこりの使うくさびを見つけた。幅が広く、平らで重く、長さが1フィート(約30センチ)以上もあり、強くたたいて広げたものであった。くさびを見つけた南の牧場から家に向かう小道は薪小屋を通らない。すでに夕食の時間を過ぎていたので、少年はそのくさびを……父親が門のそばに植えた小さなクルミの木の枝の間に置いた。夕食のすぐ後か、次に通りかかったときにでも、そのくさびを小屋に持って行くつもりだった。

少年はほんとうにそうするつもりだった。しかし、実際にはしなかった。少年が大人になるころには、くさびは枝に挟まれて少し動かなくなっていた。少年が結婚して父親の農場を継ぐころには、枝の間ががっしりと固定されていた。脱穀を終えてその木の下で仲間と夕食を食べたときには、半分近くが幹に食い込んでいた。……そして、その冬、氷混じりの嵐がやって来たとき、くさびは完全に幹の中に埋まっていたのである。

冷え込みの厳しい、しかしながら静かなその冬の夜、雨のような霧が降った。その霧が落ちた所は凍りついていて。すると、3本の大枝のうちの1本が幹から裂け、すさまじい音を立てて地面に落ちた。それによって先端に残った部分もバランスを失い、裂けて地面に落ちた。嵐が去った後には、あの立派な木は、小枝一本残っていなかった。

次の日の朝早く外に出た農夫は、自らが失ったものを知って嘆いた。「こんな事態を防ぐためだったら、1,000ドルでもつぎ込んでいたものを。」彼は言った。「この盆地でいちばん立派な木だったのに。」

そのとき、裂けた幹の中に何かがあるのが目に留まった。「あのくさびだ。」農夫は自分をとがめるような声でつぶやいた。「南の牧場で見つけたくさびだ。」農夫は一目見て、木がなぜ倒れたのか理解した。くさびが幹の中まで食い込んでいたために、枝がその生長過程で本来の強度を得ることができなかったのである。』

忘れられたくさび! 隠れた弱さが目に見えないまま大きく育ち、冬の夜に破壊をもたらそうと待っています。わたしたちの人生における罪の存在と影響をこれ以上見事に象徴しているものがあるでしょうか。(Conference Report, 1966年4月, 70-71)

結婚生活における一致を脅かすくさびにはどのようなものがあるでしょうか。

生徒に生徒用資料にある「利己心」の精選された教文(376)を開かせる。スペンサー・W・キンボール大管長の項から第2段落の最初の文を読む。「すべての離婚は、夫婦の一方または双方が結婚の聖約に対して利己的になることに起因しています。」利己心は結婚生活においてくさびとなる。それは様々な形を取って表れる。


精選された教えにあるそれぞれの言葉を読み、結婚生活においてくさびとなり得る行いを黒板に書き出す。それぞれのくさびを完全に克服したり避けたりするにはどうすればよいかを話し合う。以下のようなリストができる。

- i デビッド・O・マッケイ大管長。憎しみ、貪欲、悪意、ねたみ。
- i スペンサー・W・キンボール大管長。自分本位の慰め、都合、自由、ぜいたく、または安楽のことを考える。絶え間ない意地悪、暴力。(富、名声、社会的地位、虚栄心、またはだれかを困らせるといった)間違っただ理由のために結婚する。
- i ゴードン・B・ヒンクレイ大管長。金銭問題、姦淫、欲望、貪欲につながる利己心。自制心、誠実さ、または聖約を破壊する利己心。
- i ニール・A・マックスウェル長老。心高ぶる利己心、聡明な謙虚さの欠如、不満を募らせること。

教える内容

わたしたちは結婚生活における一致を増すうえで役立つ優れた勧告に従わなければならない。

教え方の提案

 **グループ活動。** 本課の最後にある配付資料4「わたしたちが一つとなれるように」(30-33)を配付する。生徒を小さなグループに分け、特定の箇所を研究するように割り当てる。各グループに、割り当てられた箇所を皆で読ませる。以下のことを見つけさせる。(1) 結婚生活に一致を招く行い。(2) 結婚生活において一つになるための原則。各グループに結果をクラスで発表させる。生徒の意見には、以下の表に挙げられているようなものが考えられる。

一致をもたらす行い	一致の原則
<p>i 進んで伴侶の関心を自分自身の関心よりも優先させる。</p> <p>i 救い主が教えられた真理を信じる。</p> <p>i 権能を与えられた主の僕によって与えられる儀式と聖約を受け入れる。</p> <p>i 聖餐のときに交わす約束を守る (主の御名を受け、いつも主を覚え、主のすべての戒めを守る)。</p> <p>i 生活の中で主を第一とする。</p> <p>i 自分が望むものや、世がわたしたちに望むように教えているものではなく、主が望まれるものを望む。</p> <p>i だれの悪口も言わない。</p> <p>i できるかぎり互いの良い面を見、互いのことを褒める。</p> <p>i 神聖な事柄を軽視する人に (論争することなく) 立ち向かう。</p>	<p>i 結婚生活における義にかなった一致は昇栄に不可欠である。「一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」(教義と聖約38:27)</p> <p>i サタンはわたしたちを愛する人から引き離す不和の種をまく。</p> <p>i イエス・キリストの福音によってわたしたちの心は一つとなる。</p> <p>i 贖罪を通してわたしたちは聖められ一致した生活を送ることができるようになる。</p> <p>i 御霊のあるところには調和がある。</p> <p>i 俗世のものを第一に愛しているかぎり、平安や一致は得られない。</p> <p>i イエス・キリストの権能の前にひざをかがめるとき、わたしたちは家族として、教会として、および天の御父の子供たちとして一つとなることができる。</p> <p>i 御霊を保つためには清さを保ち、俗世のものを愛さないようにしなければならない。御霊がなければわたしたちは一つとなることができない。</p> <p>i 高慢は確実に不一致をもたらす。</p> <p>i 奉仕は高慢から身を守る手段である。</p> <p>i 夫婦は互いや周囲の人々に仕えるときに、自分たちの類似点や相違点を活用することによって一つとなることを学ぶ。</p>

結び

当時十二使徒定員会会員のジェームズ・E・ファウスト長老は次のように説明している。「結婚を豊かにするものは多くありますが、それらはすべてその外殻にすぎません。結婚生活がもたらす偉大な幸福の中核を成すものは、夫婦愛をはぐくみ、神が授けてくださる神聖な祝福を享受することです。霊的な一致は結婚生活を不動のものとしします。」(『聖徒の道』1978年2月号, 13。または生徒用資料, 332) 霊的に一つとなることに重点を置き、結婚生活に御霊を招く事柄を行うとき、わたしたちはより一致できるようになる。そうするときに、結婚生活にくさびを置くことになりかねない利己的な行いを自然に取り除くことができる。

生徒の課題

次のクラスが家族歴史の課題の期日であることを生徒に思い出させる (18参照)。

配付資料4 わたしたちが一つとなれるように



十二使徒定員会
ヘンリー・B・アイリング
『聖徒の道』1998年7月号、
70-72

「もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」

世の救い主イエス・キリストは、主の教会に属する人々にこう言われました。「一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」(教義と聖約38:27) 男女が創造されたとき、結婚によって一つとなることが、希望としてではなく、戒めとして与えられました。「それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。」(創世2:24) 天の御父はわたしたちが心一つにするように望んでおられます。この愛における一致は、単なる理想ではありません。必要不可欠なものなのです。

一つになれという要求は、この世だけのものではありません。終わりがありません。最初の結婚は、アダムとエバがエデンの園で死なない状態のときに、神によって行われました。神は創世の初めから、男女が夫婦として結び合い、義にかなった完全な一致の中で永遠の家族になりたいと望むようにされました。また、神の子供たちが、すべての人と平和に暮らしたいと願うようにされました。

しかし墮落によって、一致した生活が簡単ではないことが明らかになり、間もなく悲劇が起こりました。カインが弟のアベルを殺したのです。アダムとエバの子供たちは、サタンサタンの誘惑を受けるようになりました。サタンは憎しみをもって巧妙に目的を達しようとし、それは天の御父と救い主の目的とは正反対です。神は完全な一致と永遠の幸福を与えてくださいます。神とわたしたちの敵であるサタンは、創世の以前から救いの計画を知っていました。永遠の命だけが神聖で喜びにあふれた家族関係を永続させることも知っていました。サタンは家族を引き裂いて、惨めな状態にしようとし、人の心に不和の種をまいて、分裂を起こさせようとし、

だれでも一致と分裂の両方を経験しています。時々、家庭やほかの場所で、人のために自分のことを後回しにする愛と犠牲の精神を見たことがあると思います。まただれでも、仲たがいや孤独の悲しみや寂しさを知っています。どちらを選ぶべきか助言は要りません。分かっているからです。しかしわたしたちは、この世で一つとなれるように、そして来るべき世で永遠にその関係を持つにふさわしくなれるように、願い求める必要があります。また、何をすべきか知るために、この偉大な祝福がどのようにしてもたらされるか理解する必要があります。

救い主は一致を可能にしてください

世の救い主は、一つになることと、そのために自分を変える方法について話されました。この世を去る前に、使徒との最後の集まりで祈りをささげ、その中ではっきり教えられたのです。その神聖で美しい祈りは、ヨハネの福音書に記録されています。すべての人が永遠の命を得られるように、恐ろしい犠牲を払う時が近づいていました。主はまさに、御自身が聖任し、愛し、教会を導く鍵を託した使徒たちのもとを離れようとしておられました。そこで主が天の御父に、完全な息子が完全な父に、祈られたのです。その言葉から、家族が一つとなり、救い主とその僕しもべに従うすべての天の御父の子供たちが一つとなる方法が分かります。

「あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。

また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

わたしは彼らのためばかりではなく、彼らの言葉を聞いてわたしを信じている人々のためにも、お願いいたします。

父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためであります。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり、それによって、あなたがわたしをおつかわしになったことを、世が信じるようになるためであります。」(ヨハネ17:18-21)

このわずかな言葉の中で、主はイエス・キリストの福音がいかに人々の心一つにするか明らかにされました。主の教えられた真理を信じる人々は、権能を持つ僕から儀式と聖約を受けることができます。そして、儀式と聖約に対する従順を通して、自らの性質を変え

るのです。このように救い主の贖いによって、わたしたちは聖別されます。そうすれば、きっと一つとなって生活でき、この世では平和を得て、永遠の世では御父と御子とともに住めることでしょう。

当時の使徒や預言者たちの務めは、今日と同じように、アダムとエバの子孫をイエス・キリストを信じる信仰の一致に至らせることでした。彼らが教えたことも、わたしたちが教えることも、その究極の目的は、家族が一つになることです。それは夫、妻、子供、孫、先祖、そしてついには、自ら選択するアダムとエバのすべての家族に及びます。

御霊はほかの人々との一致をもたらす

覚えていると思いますが、救い主は、使徒たちが「真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします」と祈られました（ヨハネ17：19）。聖霊は聖別する御方です。聖霊を伴侶にできるのは、主が預言者ジョセフ・スミスを通してメルキゼデク神権を回復されたからです。神権の鍵は今地上にあります。その力によって、聖霊を常に伴侶とする聖約を結ぶことができるのです。

人々が御霊とともにいると、調和を期待することができます。御霊はわたしたちの心に真理の証を告げて、その証を分かち合う人々を一つにします。神の御霊は決して争いを起こしません（3ニーファイ11：29参照）。また、不和のもとになる差別感情をもたらしません（ジョセフ・F・スミス、Gospel Doctrine, 第5版〔1939年〕, 131参照）。むしろ平安と一体感へと導きます。心一つにするのです。一致した家族、一致した教会、平和な世界は、心一つにされることによるのです。

聖餐の祈りの中で交わした約束を守る

子供でも、聖霊を伴侶にするために何をすべきか理解できます。聖餐の祈りが教えています。聖餐会に出席して毎週聞く祈りです。この神聖なひとときに、わたしたちはバプテスマで交わした聖約を新たにします。そして、教会員に確認されたときの聖霊を受けるという約束を、主によって思い起こすのです。聖餐の祈りにこうあります。「進んで御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守ることを……証明して、いつも御子の御霊を受けられるように……。」（教義と聖約20：77）

わたしたちは聖約を守ることによって御霊を受けることができます。第1に、主の御名を受けると約束します。すなわち、自分を主のものに見なすのです。生活

の中で主を最優先します。自分の望みや、世の中で望むように教えられるのではなく、主が望まれることを求めるのです。この世の事柄を何より先に愛しているかぎり、平安はありません。物質的なものによって家族や国家に快適な生活をもたらそうとしても、結局は分裂に終わってしまいます（ハロルド・B・リー、Stand Ye in Holy Places〔1974年〕, 97参照）。しかし、主が望んでおられることを互いに行うならば、これは主の御名を受けた人の自然な行為ですが、やがてわたしたちは地上における天国のような霊的な状態に達することができるでしょう。

第2に、いつも主を覚えると約束します。わたしたちは主の御名で祈る度にこれを行います。特に、頻繁にしなければならないことですが、赦しを求めるときに、主を覚えます。このとき、悔い改めと赦しを可能にした主の犠牲を思い起こすのです。また嘆願をするとき、天の御父との仲保者である主を思います。そして、赦しや平安がもたらされたとき、主の忍耐と永遠の愛を心に刻むのです。こうしてわたしたちの心は愛で満たされます。

わたしたちはまた、家族で祈るときや聖文を読むときに、主を覚えるという約束を果たします。朝食のテーブルを囲んだ家族の祈りで、子供の一人がその日に試験や何か発表のある兄弟のために祝福を求めることができます。そして祈りがかなうと、祝福された子供は朝感じた愛と、その祈りの仲立ちをしてくださった主の優しさを忘れないでしょう。心が愛で結ばれるのです。

主を覚えるという聖約は、家族で聖文を読む度に守っています。聖文は主イエス・キリストを証します。それが聖文のメッセージであり、常に預言者たちのメッセージだからです。たとえ子供がその言葉を覚えていなくても、聖文の真の著者イエス・キリストのことは忘れないでしょう。

すべての戒めに従う

第3に、聖餐を取るとき、すべての戒めを守ると約束します。J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長は、総大会の説教で何度となく一致について語り、従うものを選ぶことについて、次のように警告しました。「主は無駄なものや不必要なものは何一つ与えておられません。主は聖文を、わたしたちが救いを得るためになすべきことで満たされました。」

クラーク副管長はさらにこう続けています。「聖餐を取るとき、わたしたちは主の戒めを守ると聖約します。これに例外はありません。区別も、差異もありません。」

(Conference Report, 1955年4月, 10-11) クラーク副管長はわたしたちがたった一つの罪でなく、すべての罪を悔い改めるように、戒めすべてを守ることを聖約すると教えています。難しそうに聞こえますが、簡潔です。ただ救い主の権能に服し、主が命じられることにすべて従うと約束します。家族として、教会として、天の御父の子供として、わたしたちを一つにするイエス・キリストの権能に従うのです。

主は預言者を通して、謙遜な僕に権能を授けられます。この信仰により、ホームティーチャーや訪問教師の召しが主の務めになるのです。主の指示により、主に代わって行きます。普通の男性と10代の後輩同僚が家庭を訪れ、天の力により、家族が一致して、かたくなや偽り、陰口、悪口がないように助けを与えます。主がこれらの僕を召されるといふ信仰があれば、責められたときも彼らの欠点を無視できるでしょう。人間としての弱点よりも、善意がはっきりと見えてくるでしょう。怒る気持ちよりも、その人々を召してくださった主への感謝の気持ちがわき上がってくるのです。

慈愛が一致には不可欠である

わたしたちが守らないと、一致が崩れる戒めもあります。何を話すか、また相手の言葉にどう対処するかについての戒めです。人の悪口を言ってはなりません。互いの良い点を見て、できるだけ良いことを話すのです(デビッド・O・マッケイ, Conference Report, 1967年10月, 4-11参照)。

同時に、神聖なものを侮辱する人には、反対する態度を執らなければなりません。そのような攻撃の結果として、御霊が汚され、争いや混乱が起こるからです。スペンサー・W・キンボール大管長は、争わずに立場を守る方法を教えています。病院の担架で運ばれていたとき、いらだった付き添い人が主の名をみだりに口にすることを聞いて、こう言ったのです。「やめてください。それはわたしの主のお名前です。」一瞬静まり返った後、その人が小さな声で「すみません」と言いました(*The Teachings of Spencer W. Kimball*, エドワード・L・キンボール編 [1982年], 198)。靈感と愛にあふれた叱責により、一致をもたらすことができます。しかし、聖霊に導かれたときに行わないと、争いを招くことになるでしょう。

一つとなるためには、自分の気持ちについて守らなければならない戒めがあります。たとえ傷つけられても、相手を赦し、決して悪意を抱かないことです。救い主は十字架の上で模範を示されました。「父よ、彼らをおゆるしくください。彼らは何をしているのか、わか

らずにいるのです。」(ルカ23:34) わたしたちには、傷つけてくる人の気持ちが分かりません。また自分の怒りや心の痛みの源がすべて分かるわけでもありません。使徒パウロは、自分自身を含め、世の不完全な人々をどのように愛するか教えています。「愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。」(1コリント13:4-5) それからパウロは、自分のことを忘れて人の過ちを責めることに対して重大な警告を与えています。「わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、顔と顔を合わせて、見るであろう。わたしの知るところは、今は一部分にすぎない。しかしその時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう。」(1コリント13:12)

清さを保ち高慢に気をつける

一致の賜物はイエス・キリストの福音の律法と儀式に従うことによってもたらされます。聖餐の祈りは、そのことを毎週思い起こさせてくれます。主の御名を受け、いつも主を覚え、すべての戒めに従うという聖約を守るとき、主の御霊を伴侶として受けるのです。それによって心は和らぎ、わたしたちは一つとなります。しかし、この約束には二つの警告があります。

まず、聖霊がとどまられるのは、わたしたちが清い状態で、この世のものに執着していないときだけです。汚れた選択は、聖霊を追い出します。御霊は、この世のことより主を選ぶ人にしか宿らないのです。「清くあれ」(3ニーファイ20:41; 教義と聖約38:42), 「心を尽くし、勢力と思いと力を尽くして、主なる神を愛」しなさい(教義と聖約59:5), これらは提案ではなく、戒めです。御霊を伴侶とするうえで欠かせません。御霊なしに一つになることはできないのです。

もう一つの警告は、高慢です。御霊によって和らげられた家族や人々が一つになると、大きな力がもたらされます。やがてその力が世の中で認められるようになります。そして褒められ羨望の的になると、わたしたちは高慢になるかもしれません。高慢は御霊を妨げます。不一致の源である高慢を防ぐ方法があります。それは、神が与えてくださる恵みを、主の愛のしるしとしてだけでなく、周囲の人々とさらに大いなる奉仕によって交わる機会としてとらえることです。夫婦が一致するには、似ている点から互いを理解し、異なる点から互いを補い合って、伴侶や周囲の人々に奉仕していくことです。同じようにして、わたしたちは、教会の教義を受け入れなくても天の御父の子供たちを祝

福したいと願う人々と一致できます。

わたしたちは「平和をつくり出す人」(マタイ5:9)になって、祝福された神の子と呼ばれるにふさわしくなれるのです。

父なる神が生きておられ、御子イエス・キリストが教会の頭で、すべての教会員に「平和の旗」を掲げるように求めておられることを、イエス・キリストの聖なる御名により証します。アーメン。

7 先祖からの受け継ぎ

教義の概要

わたしたちが生まれてきたり育ったりする家族は、「先祖の……言い伝え」を学ぶ場所である（エノス1：14。箴言22：6参照）。「言い伝え」とは世代から世代へと受け継がれる知識、風習、習慣、および信条である。「先祖」とは母親と父親の両方の家系における、男性および女性の代々の人を指す。

ある子供たちは、義にかなった両親から良い家族の伝統を教わるという幸運に恵まれる。ニーファイは自分の記録を次のように始めている。「わたしニーファイは善い両親から生まれたので……。」（1ニーファイ1：1）エノスも自分の書を同様な形で始めている。「わたしエノスは、父が正しい人であったことを知っている。父はわたしを父の言葉で、また主の薫陶と訓戒によって教えてくれたからである。神の御名がほめたたえられるように。」（エノス1：1）

そのような幸運に恵まれない子供たちもいる。教義と聖約93：39-40には、好ましくない伝統がどのようにして子供たちを不義へと導くかが説明されている。「そして、あの邪悪な者が来て、人の子らから、不従順によって、また先祖の言い伝えによって、光と真理を取り去る。

しかし、わたしはあなたがたに、あなたがたの子供たちを光と真理の中で育てるようにと命じた。」

原則

両親には、光と真理に基を置いた伝統を築き上げ、それら子供たちに伝える責任がある。

生徒用資料の読書課題


「先祖からの受け継ぎ」の精選された教え（249-250）

「先祖からの受け継ぎ」マリオン・D・ハンクス長老（250-253）

教える内容

子供たちは両親をよく見ることと家族歴史を研究することにより、結婚について多くを学ぶことができる。

教え方の提案


 **家族歴史の課題。**生徒用資料（249、250）でマリオン・D・ハンクス長老が与えている「伝統」の定義について話し合う。生徒に今日のクラスのために終えておくように伝えてあった家族歴史に関する課題（本書の18参照）を見るように言う。「その1」から、先祖の生涯に起こった出来事で自分自身の結婚生活に影響を及ぼすと考えられるものについて、見つけた事柄を生徒に紹介させる。（代表的な出来事として、教会に加わる、別の国や町に引っ越す、貧困から抜け出す、教育を受ける、伝道に出る、神殿で結婚した最初の人物となる、などが考えられる。）これらの出来事について知ることが自分たちの結婚生活にどのような影響を及ぼすかを話し合う。

次に、課題の「その2」から自分自身と自分の両親または祖父母の類似点について学んだことを数人の生徒に紹介させる。「家族の特徴」という概念について簡単に話し合い、結婚する両者は自分たち自身の家族を築き始めるに当たって互いに順応する必要性が出てくる可能性があることを指摘する。

教える内容

結婚したとき、両親から学んだ伝統は一致を助けてわたしたちを高めてくれる可能性もあれば、争いと不和の原因となる可能性もある。

教え方の提案

 **話し合い。**「悪しき伝統の具体例」（生徒用資料，249）にある聖句について話し合う。今日それに似たことが起きているのをどのようなところで目にすることができるでしょうか。

配付資料5。本課の最後にある配付資料5「家族の伝統」（37-38）を配付する。それぞれの表の左側にある伝統のリストに各自で追加するように言う。次に、夫の家族と妻の家族の伝統を可能なかぎり多く書かせる。

生徒を2-3人のグループに分け（男女混合になるようにする）、家族の伝統のリストを比べさせる。夫と妻が結婚生活に携えて来る伝統は共存するかもしれないし、共存しないかもしれないことを説明する。各グループに以下のことを行わせる。


- i 夫と妻の伝統が共存する場合と、対立する恐れのある場合を挙げる。
- i それらの伝統を、夫婦が持っている救いの計画に関する知識に照らし合わせて検討する。
- i 夫婦が築き上げたり進展させたりするとよいであろう義にかなった伝統を提案する。

約10分後、幾つかのグループにこの活動から学んだことを発表させる。婚約および結婚している男女に、表の残りの箇所を一緒に埋めるように勧める。

教える内容

新婚夫婦は個人的な好みと福音の原則に基づいて自分たち自身の伝統を作り上げることができる。

教え方の提案

 **話し合い。**以下の質問をする。結婚生活について最も頻繁に引用されるのはどのような聖句だと思いますか。生徒に以下のことを調べさせる。創世2：24；マタイ19：5；マルコ10：7；エペソ5：31；モーセ3：24，およびアブラハム5：18。ともに創世2：24を読む。

- i あなたの父と母を離れるとはどういう意味でしょうか。（様々な答えがあるが、特に夫婦にとっては新しい伝統を築くという作業に取り組むことを意味している。）
- i 夫婦は違いや対立をどのようにして解決することができるでしょうか。
- i 「あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである」とはどういう意味でしょうか（出エジプト20：12。1ニーファイ17：55参照）。

この戒めは結婚するときに終わりとなるのでしょうか。

「義にかなった伝統を守る」（生徒用資料，249）にある聖句の幾つかを読んで話し合う。以下のような質問をする。

- i ニーファイやエノスは自分たちが両親から学んだ伝統についてどのようなことを言っていますか。それはなぜでしょうか。
- i 義にかなった伝統を確実に子供たちに教える方法にはどのようなものがあるでしょうか。

結び

以下の要点を復習する。

- i わたしたちの育った家族は、わたしたちが先祖からの伝統を学んだ場所である（箴言22：6参照）。
- i 伝統の中には、救いの計画に基づいたものがある。わたしたちには、それらを識別し、忠実に守る責任がある。
- i 伝統の中には、救いの計画に反するものもある。わたしたちはそれらを識別し、子孫に伝えないようにする責任がある（モーサヤ25：12；アルマ3：11；アルマ37：9参照）。
- i 伝統の中には、正しくも間違ってもいないが、それでもなお対立の原因となり得るものもある。夫婦は協力してこれらのうちのどれを伝えるかを決定すべきである。
- i 聖文および預言者の教えを理解してそれらに従うことは、何を忠実に守ることが重要であり何がそうでないかを知るうえで助けとなる（1ニーファイ3：19；5：21；2ニーファイ25：26；教義と聖約68：25参照）。

注——各クラスの前に読書課題を読み終えておくように生徒に言う。

その他の家族の伝統	夫の家族の伝統	妻の家族の伝統	希望する家族の伝統
家族で一緒に食事をする			
誕生日を祝う			
家族で休暇を過ごす			
子供たちの活動を支援する			

8 結婚生活における親密な関係

教義の概要

注——このテーマに関して中央幹部によって与えられている事柄以上の詳細を加えないようにする。

「〔彼らは〕一体となるのである。」(創世2:24)

スペンサー・W・キンボール大管長は次のように教えている。「結婚生活における愛はいろいろな姿を取り、性生活は一つの重要な愛の姿である。結婚生活の伴侶は他人のためにはいるのではなく、お互いのためにはいるのである。パウロは姦淫に陥る状態と、それを避ける方法とを知っていた。

「……男子はそれぞれ自分の妻を持ち、婦人もそれぞれ自分の夫を持つがよい。

夫は妻にその分を果し、妻も同様に夫にその分を果すべきである。

妻は自分のからだを自由にはできない。それができるのは夫である。夫も同様に自分のからだを自由にはできない。それができるのは妻である。

互に拒んではいけない。ただし、合意の上で祈りに専心するために、しばらく相別れ、それからまた一緒になることは、さしつかえない。そうでないと、自制力のないのに乗じて、サタンがあなたがたを誘惑するかも知れない。」(1コリント7:2-5) (『救しの奇跡』73)

男性と女性の結びつきは結婚生活にあって聖別されており、愛、一致、および夫婦の潜在的な神性の表現となる。ジョセフ・F・スミス大管長は次のように述べている。「律法に基づいた性の交わりは神が定められたものです。それは人類を永続させる唯一の方法であるばかりか、人間のより高度な能力と高貴な特質を発達させる手段でもあります。これは愛に基づく男女の交わりによってのみ得られるものです。」(“Unchastity the Dominant Evil of the Age” *Improvement Era*, 1917年6月号, 739. または生徒用資料, 135)

原則

結婚生活における親密な関係を正しく理解することによって、幸福な結婚生活を築く機会が増す。

生徒用資料の読書課題

「結婚生活における親密な関係」の精選された教え (135-137)

「命の源」ボイド・K・パッカー長老 (137-143)

「個人の清さ」の「完全な一致の究極的な象徴」および「神との関係の象徴」ジェフリー・R・ホランド長老 (325-326)


「産児制限」の精選された教え (175-177)

「質疑応答」ホーマー・エルズワース博士 (177-179)

教える内容

夫婦間の肉体的に親密な関係は、神によって定められている祝福である。

教え方の提案

 **話し合い。**以下のことを説明する。今日の世の中には性的な関係について多くのゆがんだ考えが存在し、もし信じて実践するならば、それらはわたしたちの幸福を減ぼす力を持つ。わたしたちは自分たちの生殖の力を、救いの計画の観点から理解することが重要である。

『教会指導手引き』から以下の言葉を読んで話し合う。「結婚した男女は、結婚のきずなにおける性的な関係は、子供を産むためだけでなく、愛を表現し、夫婦の間の精神のおよび霊的なきずなを強めるために神が承認しておられることを理解すべきである。」(『教会指導者手引き 第一部——ステーク会長会および監督会』161)

アブラハム4：27-28を読む。28節で神は増えて地に満ちる能力を祝福と呼んでおられることを指摘する。


- ： 神が与えられた自然な愛情はわたしたちにとってどのような点で祝福なのでしょうか。
- ： 夫婦間の性的な関係は、どのような点で完全な一致の究極的な象徴なのでしょうか。
- ： 夫婦間の生殖の力は、どのような点でわたしたちの神との関係の象徴なのでしょうか。
- ： 増えて地に満ちるようという戒めは、今日どのように当てはまるのでしょうか。
- ： 生殖に対する願望が継続的で強い衝動として備わっているのはなぜでしょうか。

生殖は神から来るものであって神聖であり、結婚関係にある男女間でのみ適切であることを強調する。これらの原則が真実であることと、従順がもたらす祝福を証する。(教師はわき道にそれて自分自身と伴侶との関係について詳しく語ってはならない。)

教える内容

結婚関係においてさえも、肉体的に親密な関係を誤用する可能性がある。


教え方の提案

 **話し合い。**ともに「肉体的な親密さに関する過ち」(「結婚生活における親密な関係」生徒用資料、136)にある中央幹部の言葉を読む。

教える内容

「結婚生活における愛は性を超越する。」(スペンサー・W・キンボール, The Teachings of Spencer W. Kimball, エドワード・L・キンボール編 [1982年], 248)。

教え方の提案

 **話し合い。**以下のことを説明する。時々夫婦は結婚生活の肉体的な側面を重視しすぎることがある。肉体的に親密な関係は夫婦の愛の重要な要素であるが、純粋な愛を得るにはそれ以上のものが求められる。

スペンサー・W・キンボール大管長は次のように教えている。「愛は、花のように、育てなければなりません。やがて二人の間には大いなる愛と相互依存が生まれるでしょう。愛は神聖なものだからです。それはすべてを包み込む、深くて広い感情です。世の中で間違っって愛と呼ばれる、肉体的な魅力による交わりとは違います。結婚がそのようなものだけにに基づいているとすれば、お互いすぐにうんざりしてしまい、別居や離婚に至るでしょう。新たな肉体的な魅力を感じて別のひとと結婚しても、それもまた、新鮮さが失われるまでしか続かないのです。主が語られる愛には、肉体的な魅力


だけでなく、霊的な魅力も含まれます。それは互いの信仰であり、信頼であり、理解です。完全なパートナーシップです。思いと標準を共有する夫婦の交わりです。利己心を捨てて伴侶のために払う犠牲です。思いと行いの清さであり、神と神の計画に対する信仰です。神性と創造の業、そして霊の子供たちの両親としての役割に目を向けながら、肉における両親としての役割を果たすことです。それは広大で、すべてを包括し、限りがありません。このような愛は決して衰えることも、弱まることもありません。病気のときも悲しみのときも、富むときも貧しいときも、成功したときも落胆したときも、すべての時を越えて永遠に続くのです。」(Faith Precedes the Miracle [1972年], 130-131。または生徒用資料, 136)

生徒にボイド・K・パッカー長老の話「命の源」にある「成熟した愛」の項を読ませ(生徒用資料, 138)、成熟した純粋な愛を得るうえで助けとなる特質や経験を見つけさせる。生徒が見つけた事柄を黒板に書き出す。純粋な愛を得るには時間と努力が求められることを要約する。結婚生活における肉体的に親密な関係は、主にあって一つとなる過程の一部である。

教える内容

夫婦は産児制限の問題に対処しなければならぬ。

教え方の提案

 **グループ活動。** 生徒用資料の「産児制限」の項(175-179)を参照させる。生徒にこの項をレッスン以外のところで読むように勧める。これらの問題は個人的で神聖なものであることを説明する。夫婦は産児制限について、御霊の導きを求めた後に一致して決断を下すべきである。生徒にもし質問があれば両親および神権指導者の助言を求めるように勧める。

結び

初めから主は次のように宣言しておられる。「人がひとりであるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう。」(創世2:18)使徒パウロはこう語っている。「主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない。」(1コリント11:11)

肉体的に親密な関係を救いの計画の観点で理解し、主に従順であるとき、わたしたちは純潔の律法に対する無関心の結果として世の中を悩ましている問題の多くを避けることができる。愛と貞節によって結び合わされている夫婦は、肉体的な関係において喜びを経験し、増えて地を満たすことにより主がその目的を果たされるのを手伝うことができる。

9 男性と女性の本質的な相違点

教義の概要

使徒パウロは教会員の異なる賜物^{たまもの}について次のように教えている。「なぜなら、一つのからだにたくさんの肢体があるが、それらの肢体がみな同じ働きをしてはいないように、

わたしたちも数は多いが、キリストにあって一つのからだであり、また各自は互に^{たがひ}肢体だからである。

このように、わたしたちは与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っている……。」(ローマ12:4-6)

十二使徒定員会のヘンリー・B・アイリング長老は、この概念を夫婦関係に当てはめている。「夫婦が一致するには、似ている点から互いを理解し、異なる点から互いを補い合^{はんりあ}って、伴侶や周囲の人々に奉仕していくことです。」(『聖徒の道』1998年7月号, 72)

原則

男性と女性の相違点を正しく理解してそれらを生かすことによって、結婚生活における思いやり、理解、および幸福が増す。

生徒用資料の読書課題

「男性と女性の本質的な相違点」の精選された教え (258-260)

「この世から永遠にわたって」ボイド・K・パッカー長老 (261-264)

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

「男性と女性の平等」の精選された教え (256-257)

レッスンを豊かにする資料


ゴードン・B・ヒンクレー大管長, *Cornerstones of a Happy Home* (パンフレット, 1984年。または生徒用資料, 52)

リチャード・G・スコット長老「偉大な幸福の計画を実践する喜び」(『聖徒の道』1997年1月号, 84。または生徒用資料, 196)

教える内容

男性と女性の相違点を理解することは、夫婦が一致するうえで助けとなる。


教え方の提案

 **グループ活動。**本課の最後にある配付資料6「『男性と女性の本質的な相違点』に関する質問」(44)を配付する。生徒を小さなグループに分け、各グループに「男性と女性の本質的な相違点」にある精選された教え(生徒用資料, 258-260)から幾つかの言葉を割り当てる。各グループに、割り当てられた読書課題にある教えに基づいて、質問への答えを見つけるように言う。結果をクラスで報告させる。

教える内容

「人に幸福を与える偉大な幸福の計画を実現するために不可欠な男女の特権と務めの違い」が存在する（ダリン・H・オックス『聖徒の道』1994年1月号，83。または生徒用資料，231）。

教え方の提案


 **話し合い。**生徒にボイド・K・パッカー長老の話「この世から永遠にわたって」（生徒用資料，261-264）を開かせ、以下の質問について話し合う。

- i ロマンズ、愛、結婚生活、および親としての務めを腐敗させるためにルシフェルが用いる戦略にはどのようなものがあるでしょうか。
- i 主は御自分が男性と女性を等しく尊重していることをどのような形で示しておられるでしょうか。
- i 増えて地を満たすという責任は、^{今日}あなたにとってどのような意味があるでしょうか。
- i 経済的に困難な状況にあるとき、母親は子供たちに「注意深く十分〔な〕世話」（263）をするという責任をどのように果たすことができるでしょうか。
- i 男性と女性の役割の違いにはどのような永遠の目的があるでしょうか。
- i 宝と鍵^{かぎ}のたとえの中で、男性と女性が平等であることを象徴しているものは何でしょうか。
- i 男性と女性がそれぞれ自分の鍵を使って倉を開けるとき、どのような祝福が得られるでしょうか。
- i 好き勝手に振る舞うために鍵を変えようとする人々は、今日のどのような考え方を象徴しているでしょうか。

教える内容

男性と女性には家族の中で異なっているが等しく重要な役割がある。

教え方の提案

 **話し合い。**生徒に「家族——世界への宣言」を読ませ、家族における男性と女性の相補的な役割に関連している文を見つけさせる。生徒が見つけた文を声に出して読ませ、それらについてクラスで話し合う。

結び

男性と女性の互いに補い合う特質に関する、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の言葉を読む。

「主の計画では、完全な者となるには二人、つまり男性と女性が必要です。確かに夫と妻はそっくりな状態に造られているわけではありませんが、互いに補い合う能力と特質を神によって授けられた、驚嘆すべき組み合わせです。

こうした異なった特質は、結婚を通じて一つになり、調和して、夫と妻、子供や孫たちにとって祝福となります。人生で最大の幸福と豊かな実りを得るには、夫と妻の両方が必要なのです。二人の働きは結びつき、補い合っています。各人は、主が男女の幸福のために定められた役割に最も合う、それぞれの特質を与えられています。主が意図されたとおりにこれらの特質を行使するなら、夫婦は、一つとなって考え、行動し、喜びを得ることでしょう。また、問題と一緒に直面し、一つになって克服するでしょう。愛と理解力をもって成長し、神殿の儀式を通して結び合わされた二人は永遠に一つとなるでしょう。これがその計画です。」（生徒用資料，260）

配付資料6 「男性と女性の本質的な相違点」に関する質問

以下の質問は、生徒用資料（257, 258-260）にある言葉に関するものです。

- ； 母親の直感は、母親が家庭の中で子育てに関する詳細を理解してそれらに対処するうえでどのような助けとなるでしょうか。（ハロルド・B・リー大管長）
- ； 自分たちの可能性をすべて成就することにおいて男性と女性が互いに依存し合っているのはなぜでしょうか。（スペンサー・W・キンボール大管長）
- ； 女性はどのような点で男性よりも優れた能力を持っているのでしょうか。女性が男性と同じようでありたいと望むとき、彼女の自らが創造された目的を果たす力はどのようにして妨げられてしまうのでしょうか。（ハワード・W・ハンター大管長）
- ； 神の息子や娘として前世で行った決意を理解することは、福音をよりよく理解して実践するうえでどのような助けとなるでしょうか。（ジェームズ・E・ファウスト副管長）
- ； 両親は男性と女性の性差を弱めるような影響力を助長しないようにすることが重要です。それはなぜでしょうか。（ボイド・K・パッカー会長代理）
- ； 男性と女性の重要な相違点にはどのようなものがあるのでしょうか。（トーマス・S・モンソン長老）
- ； 男性と女性の相補的な相違点はどのような点で主の幸福の計画にとっての鍵かぎとなっているのでしょうか。（ボイド・K・パッカー長老）
- ； 神権を持つ者は妻や家族にいるその他の女性をどのように扱うべきでしょうか。（ジェームズ・E・ファウスト長老）
- ； 男性と女性の扱いに関する法律や習慣で「永遠の原則を無視した旧弊」によって変えられてしまっているものにはどのようなものがあるのでしょうか。（ダリン・H・オックス長老）
- ； 結婚生活は男性と女性の特質をどのようにして一つにするのでしょうか。（リチャード・G・スコット長老）
- ； 女性として、男性として、母親として、および神権者としての責任が定められたのはいつでしょうか。（ニール・A・マックスウェル長老）
- ； わたしたちの神聖な性質を理解することは、男女が互いに尊敬し合ううえでどのような助けとなるのでしょうか。（メリル・J・バイトマン長老）

10 男性に託された神聖な役割と責任

教義の概要

「天の御父は御自分の息子、娘たちに、主の計画の中で果たすべき個々の責任に見合った独特の特質を授けられました。御父の計画に従うには、あなたが息子、娘、夫、妻として御父に期待されている事柄を行う必要があります。」(リチャード・G・スコット『聖徒の道』1997年1月号, 84。または生徒用資料, 196)

原則

家族に関する自らの神聖な責任を果たす夫は、幸福な結婚生活に貢献する。

生徒用資料の読書課題

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

「わたしたちの神聖な責任」ゴードン・B・ヒンクレー第一副管長 (123-127)

「イスラエルの父親へ」エズラ・タフト・ベンソン大管長 (271-274)

「義にかなう夫、父親」ハワード・W・ハンター大管長 (274-277)


レッスンを豊かにする資料

「いつか結婚する女性にふさわしく生活する」ゴードン・B・ヒンクレー大管長 (『聖徒の道』1998年7月号, 56。または生徒用資料, 277)

教える内容

家族に関する宣言には、父親の3つの主要な責任が明らかにされている。


教え方の提案

 **話し合い。**ともに「家族——世界への宣言」の第7段落を読む(生徒用資料, 85-86)。生徒に読書課題から父親の3つの主要な義務を見つけさせる。黒板に「管理し、提供し、守る」と書く。生徒にそれぞれの義務をできるかぎり明確に定義させる。以下の質問をする。宣言の第7段落によれば、母親がこれらの義務を遂行することもできるでしょうか。通常は父親の責任である事柄を母親が引き受ける必要が出てくる可能性のある状況について簡単に話し合う。

教える内容

神権者は、夫および父親として自らの責任を果たすように求められている。

教え方の提案

 **グループ活動。**生徒を3つのグループに分け、各グループに生徒用資料の読書課題にある以下の話の一つを割り当てる。各グループに割り当てられた話を読み、そこに書かれている夫および父親の責任のリストを作成させる。また各グループに、担当した話に関する以下の質問について話し合わせる。生徒が活動を終わったら、リストを発表させ、話し合いの結果を報告させる。

- i 「わたしたちの神聖な責任」(123-127) ヒンクレー副管長は夫および父親の行動のために家族が味わう悲しみについて述べています。男性はどうすれば決して自分がこれらの悲しみの原因となることがないようにすることができますか。

- i 「イスラエルの父親へ」(271-274) 父親および将来父親になる人々は、どうすればベンソン大管長が挙げている責任を果たす備えができるでしょうか。
- i 「義にかなう夫、父親」(274-277) ハンター大管長が挙げている責任を果たさないように夫や父親に働きかける圧力や風潮にはどのようなものがあるでしょうか。これらの障害に打ち勝つにはどうすればよいでしょうか。

結び

救いの計画は、夫が結婚生活や家族関係の中で自分に求められていることを理解できるように助けてくれる。「家族——世界への宣言」には、夫と父親は愛と義をもって自分の家族を管理し、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っていることが説明されている。神の預言者は夫および父親の責任を絶えず明確にしている。

11 女性に託された神聖な役割と責任

教義の概要

「この世にあって得られる誉れは、神の娘として認められることに比べたら、物の数ではありません。まことの姉妹、妻、母親としての務めをはじめ、生活に潤いをもたらす数々の責任を体験する神の娘となることほど素晴らしいものがほかにあり得るでしょうか。」(スペンサー・W・キンボール「義なる女性の役割」『聖徒の道』1980年3月号, 141。または生徒用資料, 185)

原則

女性は救いの計画に従って人生を歩むときに、結婚生活においてより大きな幸福を達成することができる。


生徒用資料の読書課題

- 「女性に託された神聖な役割と責任」の精選された教え (182-184)
- 「シオンの母親の皆さん」エズラ・タフト・ベンソン大管長 (187-192)
- 「教会の女性」ゴードン・B・ヒンクレイ大管長 (192-196)
- 「偉大な幸福の計画を实践する喜び」リチャード・G・スコット長老 (196-199)
- 「わたしたちは神の女性です」シェリー・L・デュー姉妹 (199-202)

教える内容

女性は教会を確立していく中で不可欠な責任を担っている。

教え方の提案

 **話し合い。**以下の質問をする。女性は教会の発展にどのような形で貢献しているでしょうか。スペンサー・W・キンボール大管長の以下の言葉を読む。

「この末日に当教会において驚くべき発展が見られますが、その多くは世の立派な(優れた霊性を備えている)女性たちが、大勢この教会に入って来るおかげであると言えるでしょう。このことは、教会の女性が義にかなったけじめのある生活をし、世の女性たちとは違った別の喜びを味わうようになるときに現実となって現れることでしょう。」(「義なる女性の役割」『聖徒の道』1980年3月号, 140。または生徒用資料, 186-187)

- i キンボール大管長は、教会の女性は教会の発展を助けるためにどのようなことを行わなければならないと言っていますか。
- i 教会の女性が世の中の女性とは「違った別の」存在になるとはどういう意味だと思いますか。

以下のことを説明する。この世の永遠の救いは、教会がその可能性の実現に向けてどれだけ発展するかにかかっている。そして教会の発展は、そのほとんどが教会の女性が神の娘としての責任をどれだけ果たすかにかかっている。

教える内容

自らの神聖な責任を成し遂げるために、教会の女性は「世を離れてキリストに近づ」かなければならない。

教え方の提案



グループ活動。黒板を均等に4つに分ける。それぞれの上部に以下の見出しを書く。「神の女性が避けるべき行為」および「神の女性の責任と特権」。

生徒を4つのグループに分け、各グループに生徒用資料の読書課題からそれぞれ異なる話を割り当てる。15分間与えて話を読み、見出しに関連する教えを見つけさせる。各グループから一人の生徒に、見つけた事柄について発表させ、同グループの別の生徒にそれらを黒板に要約して書かせる。

クラスの女性とともに、生徒用資料の202ページにある、当時中央扶助協会の副会長であったシェリー・L・デュー姉妹による勧めを読む（「皆さん一人一人が世を離れてキリストに近づくためにできることを少なくとも一つ見つけてくださるようお願いいたします。そして、来月は別のことを見つけてください。その後も、ずっとこれを続けてください。）。全人類の永遠の救いの中で神の娘たちが担っている神聖な責任について証する。クラスの男性に、生活の中で女性を敬い尊ぶように勧める。

結び

女性の神聖な役割には、神の娘、姉妹、妻、および母親であることが含まれる。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように教えている。

「天の御父は御自分の息子、娘たちに、主の計画の中で果たすべき個々の責任に見合った独特の特質を授けられました。御父の計画に従うには、あなたが息子、娘、夫、妻として御父に期待されている事柄を行う必要があります。……

……各人は、主が男女の幸福のために定められた役割に最も合う、それぞれの特質を与えられています。」（『聖徒の道』1997年1月号、85。または生徒用資料、196）

12 人生の求めに優先順位を付ける

教義の概要

スパンサー・W・キンボール大管長は「最も重要な事柄を実行し、できていないことをそのまましておかないことの大切さ」について語っている（『聖徒の道』1976年8月号、360参照）。

人生における重要な優先事項のバランスを保つように努めるとき、結婚生活と家族関係を含め、すべての面において成功する機会が増す。十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は次のように説明している。「恐らく皆さんも、自分の心の中を探り、勇敢に人生の優先順位を評価してみるなら、わたしのよう、優先順位をもっとバランスの取れたものにしていかなければならないことに気づかれるでしょう。」（『聖徒の道』1987年7月号、14。生徒用資料、364）

デビッド・O・マッケイ大管長は次のように教えている。「いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできない。」（Conference Report, 1964年4月、5）

原則

結婚生活と家庭の幸福は、最も重要な事柄に集中するときに、より達成しやすいものとなる。

生徒用資料の読書課題

「優先順位とバランス」の精選された教え（364-365）

「人生の求めにバランスよく応じる」M・ラッセル・バラード長老（369-371）


「『無くてならぬものは……一つだけである』——キリストを信じる確固とした信仰を持つ女性になる」パトリア・T・ホランド姉妹（202-209）

「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会（85-86）

教える内容

わたしたちの優先順位は永遠の価値を反映したものであるべきである。

教え方の提案

 **話し合い。** M・ラッセル・バラード長老の次の言葉を読む。「人生で最大のチャレンジの一つは、優先順位を付けることです。もしわたしたちが賢明に優先順位を付けなかったなら、非常に重要な事柄があまり重要でない事柄に追いやられてしまうでしょう。」（“Be Strong in the Lord, and in the Power of His Might” [ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド, 2002年3月3日], 6）


黒板に「一時的」および「永遠」と書く。生徒にこの世的または一時的なもの、わたしたちにとって永遠になり得るものを挙げさせる。（「一時的」には金銭、自動車、家具、休暇、名声、衣服、政治権力、およびスポーツなどが含まれる。「永遠」には結婚、家族、神権、奉仕、知識、復活体^{あかし}、証が含まれる。）

永遠になり得るものを挙げさせながら、生徒に結婚、復活体、および神権の力の永遠性に気づかせる。

教える内容

正しい優先順位を確立するには永遠の観点に立つ物の見方が求められる。

教え方の提案

 **話し合い。**「優先順位とバランス」の精選された教えを読む（生徒用資料，364-365）。読みながら，以下のような質問について話し合う。

- i ニール・A・マックスウェル長老。「自分の真の優先順位を自覚〔する〕」ことが大切なのはなぜでしょうか。主はわたしたちのためにどのように模範を示されたでしょうか。
- i スペンサー・W・キンボール大管長。生活におけるバランスの大切さは，どのような点でピアノの鍵盤に比べることができるでしょうか。
- i エズラ・タフト・ベンソン大管長。神を第一とすると，わたしたちの生活にはどのようなことが起こるでしょうか。
- i ダリン・H・オクス長老。優先順位によって人生で求めるものが決まる例として，どのようなことが挙げられるでしょうか。
- i エズラ・タフト・ベンソン大管長。わたしたちが最優先すべきものの一つは何ですか。
- i ジョン・A・ウィットナー長老。家族と教会のうち，どちらを優先すべきですか。それはなぜですか。
- i ニール・A・マックスウェル長老。それぞれの親や祖父母は何をすべきですか。それはなぜですか。
- i 1999年2月27日付けの大管長会の手紙。この大管長会からの手紙の中心にあるメッセージは何ですか。


十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老による以下の勧告を紹介する。


「皆さんはどのように優先順位を決めているのでしょうか。こう自問してみてください。『自分がほんとうに何よりも欲しいものは何だろうか。』そして自分の答えを創造主によって明らかにされた高い標準と比べてみてください。主は皆さんにこう言われました。『この世のものを求めないで，まず，神の王国を築き，神の義を打ち立てることを求めなさい。そうすれば，……すべて添えて与えられるであろう。』（ジョセフ・スミス訳マタイ6：38。マタイ6：33も参照）家庭を最優先するとき，皆さんは神の王国を築いていることになります。夫である者にとって最大の神権の務めは妻を愛し，世話することであり，妻子に祝福をもたらすことです。妻である者にとって最大の召しは，夫を愛し，子供たちを養うことです。皆さんが主に仕えるとき，自分の『務めはとこしえに教会に対するものである。これは〔自分〕の家族のゆえである』ということを中心に留めてください（教義と聖約23：3）。」（*Identity, Priority, and Blessings* [ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド，2000年9月10日] 5; *Ensign*, 2001年8月号，11-12）

教える内容

人生の求めのために永遠の優先順位を崩してはならない。

教え方の提案

 **話し合い。**M・ラッセル・バラード長老による「人生の求めにバランスよく応じる」の最初二つの見出しの範囲を要約する（生徒用資料，369-371）。聖約について思い起こすことでどのようにして人生におけるバランスを保つことができるかを話し合う。バラード長老の話で述べられている人生の求めにバランスよく応じるための原則を一つ一つ簡単に振り返る。

 **生徒用資料を使った話し合い。**「家族——世界への宣言」（生徒用資料，85-86）で述べられている優先順位を見つける。話し合いの際に以下のリストが役立つであろう。

両親には「互いに愛と関心を示し合う」責任がある。

- i 両親には「子供たちに対しても」愛と関心を示す責任がある。

- i 両親は「愛と義をもって子供たちを育て」なければならない。
- i 両親は「物質的にも霊的にも必要なものを与え」なければならない。
- i 両親は子どもたちに「互いに愛し合い仕え合」うように教えなければならない。
- i 両親は子どもたちに「神の戒めを守」るように教えなければならない。
- i 両親は子どもたちに「どこにいても法律を守る市民となる」ように教えなければならない。

生徒に再びリストを読ませ、各原則の冒頭で「わたしたちはどのようにして……」と尋ねさせる（例えば、「わたしたちはどのようにして互いに対して愛と関心を示し合おうでしょうか。）。答えを与え、それらについて話し合う。



話し合い。パトリシア・T・ホランド姉妹の話「『無くてならぬものは……一つだけである』——キリストを信じる確固とした信仰を持つ女性になる」（生徒用資料、202－209）を要約する。人生の求めにバランスよく応じようとする努力の中でホランド姉妹が経験した苦闘について考える。彼女がどのようにして生活の中で平安を見いだすようになったか、また、彼女がバランスを見いだした具体的な方法を紹介する。またはこの話を一人の生徒に割り当ててクラスで発表させる。

結び

生徒の理解を深める活動。以下の質問をする。聖文の中で、神が御自分の優先順位を簡潔に要約しておられる聖句がありますか。生徒が答えた後、モーセ1：39および「優先順位とバランス」の精選された教えにあるマックスウェル長老の話の第3段落（生徒用資料、364）を声に出して読む。救い主の模範なまがらに倣うことによって、わたしたちは自分の人生あかしの使命を理解し、それに従って優先順位を決めることができる。そのことを生徒に証する。

13 金銭と結婚生活

教義の概要

「あなたがたは、自分の子供たちが飢えていたり、着る物がなかったりするのをほうっておかないであろう。」(モーサヤ4：14)

「両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え……るといふ神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。」(「家族——世界への宣言」生徒用資料, 85)

「富を求める前に神の王国を求めなさい。

キリストに望みを抱いてから富を求めるならば、富は得られるであろう。しかし、富を求める目的は、裸でいる者に着せ、飢えている者に食物を与え、束縛されている者を自由にし、病人や苦しんでいる者を救うなど、善を行うことである。」(モルモン書ヤコブ2：18-19。教義と聖約19：34も参照)

「この世の事柄と霊の事柄は混ざり合って存在しているということを常に心に留めなければなりません。分離してはいないのです。現世にいるかぎり、だれも、どちらか一方の働きにかかわらず生きていくことはできません。」(ジョセフ・F・スミス, Conference Report, 1900年10月, 46。または生徒用資料, 146。教義と聖約29：34参照)

原則

金銭に関する正しい原則を応用することによって、幸福な結婚生活を手にする可能性が高まる。

生徒用資料の読書課題

「家計」の精選された教え (76)


「家庭における財政管理の指針」マービン・J・アシュトン長老 (76-81)

「貪欲、利己心、甘やかし」ジョー・J・クリステンセン長老 (81-84)

教える内容

金銭に対する態度は救いに影響を及ぼす。

教え方の提案


 **話し合い。**「家計」の精選された教えにあるダリン・H・オークス長老の言葉 (生徒用資料, 76) を読む。

- i オークス長老によれば、富の惑わしはどのようにして福音という実をだめにする恐れがあるでしょうか。
- i 富を主の業にとって利益になるものとするにはどうすればよいでしょうか。

教える内容

中央幹部は健全な金銭管理の原則を教えている。

教え方の提案

 **話し合い。** 当時十二使徒定員会会員であったマービン・J・アシュトン長老による「家庭における財政管理の指針」(生徒用資料, 76)を読む。アシュトン長老は、個人と家族の財政を管理するうえで役立つ12の提案をしている。以下の各項目に対して個人または家族が直面すると思われるチャレンジについて話し合い、解決策を提案するように生徒に言う。

1. 正直に什分の一を納める。
2. 金銭に管理される前に、金銭を管理することを学ぶ。
3. 金銭的な事柄で自己訓練と自制を学ぶ。
4. 予算を組む。
5. 早いうちから家族に、働いて賃金を得ることの大切さを教える。
6. 金銭に関する決断は所持金の範囲内で行うよう、子供たちに教える。
7. 家族の一人一人が家族全体の福利に力を貸すように教える。
8. 継続して教育を受ける。
9. 自分の家を持つよう努める。
10. 適切な保険をかける。
11. 外的な力が家庭の財政や投資に及ぼす影響を理解する。
12. 適切な食糧貯蔵および緊急時に備えるプログラムを行う。

生徒に以下のゴードン・B・ヒンクレイ大管長の言葉から原則を見つけさせる。


「借金がなく、しかもいざというときのために少しずつ蓄えたお金があって使うことができるというのは何とすばらしいことでしょうか。

ファウスト副管長はこのことを自分からはおっしゃらないと思いますので、後でしかられるかもしれませんが、わたしから話します。彼はかつて4パーセントの金利で家のローンを支払っていました。多くの人は、せっかく金利が低いのだから、一度に全額返済するのは愚かなことだと言ったものです。でも彼と奥さんは、お金ができたところで一括返済してしまいました。以来彼は、借金とは無縁の生活です。いつもにこにこして口笛を吹きながら働いているのは、そのためです。


兄弟の皆さんに強く申し上げたいのは、家計の状態をよく調べて支出を抑えることであり、購買欲を抑えて、借り入れをできるだけ避けるということです。負債はできるだけ早く返済して束縛から逃れてください。

わたしたちが信じているこの福音には実務面が含まれています。神の祝福を受けて皆さんの家が秩序の家となりますように。借金を返済し、少しでも貯金をすれば、嵐が襲っても奥さんやお子さんを守る家があり、心には平安が訪れます。」(「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『リアホナ』1999年1月号, 62。生徒用資料, 355)

今読んだ言葉の中で気づいた原則を発表するよう生徒に勧める。

 **話し合い。** 以下のような質問をする。


- i マタイ6章の中で、財政に関するあらゆる原則の中で最も基本的な原則を教える際に用いることのできる節はどれでしょうか。(マタイ6:33。「まず神の王国……を求めなさい。」)
- i ローンにはどのような危険性があるでしょうか。
- i アシュトン長老の負債追放カレンダーは unnecessary 負債を削減したり取り除いたりするうえでどのように役立つでしょうか。(生徒用資料, 78参照)

 **話し合い。**ジョー・J・クリステンセン長老の話「貪欲，利己心，甘やかし」（生徒用資料81-84）を参照する。繁栄と物質主義は貧困と同じように個人や結婚生活を脅かす恐れがあることを説明する。クリステンセン長老は物質主義の悪影響を減少させるための提案を4つ挙げている。生徒をグループに分けて4つの提案を割り振り，それらがわたしたちの結婚生活にどのようにして当てはまるかを話し合わせる。5分間話し合った後，結果をクラスで発表させる。

教える内容

聖文には金銭管理に当てはまる原則が教えられている。

教え方の提案

 **聖句を使った活動。**以下のことを説明する。金銭は家族生活において祝福となる場合もあれば，霊的な進歩の妨げとなる場合もある。金銭が祝福となるか妨げとなるかは，わたしたちの態度と行動にかかっている。聖文はわたしたちが金銭の価値を永遠の観点に立つ物の見方で判断できるように助けてくれる。

教義と聖約38：39およびヤコブの手紙2：18-19を読んで話し合う。家族に祝福をもたらすには富をどのように用いればよいでしょうか。

グループ活動。全員で以下の聖句の幾つかを読み，そこから財政に関してどのような原則を導き出すことができるかを生徒に尋ねる。マタイ6：19-21；25：14-18；1コリント2：12；エペソ5：20；ガラテヤ6：7；1テモテ6：7-10；2ニーファイ9：51。

結び

永遠の観点に立つ物の見方をするならば，金銭は永遠の結婚にとって祝福となる。この世的な観点をもって用いるならば，金銭は結婚生活を破壊しかねない。聖文および預言者は，わたしたちが金銭を自分と自分の家族に祝福をもたらす方法で用いることができるようになるための原則を教えてくれている。

14 物質的な財産を管理する

教義の概要

ヒーバー・J・グラント大管長は次のように教えている。「人の心と家族に平和と安らぎをもたらすものが一つあるとすれば、それは収入の範囲内で生活することです。過酷で、落胆させ、勇気を失わせることが一つあるとすれば、それは返し切れないほどの負債や果たし得ないほどの義務を背負うことです。」(Relief Society Magazine, 1932年5月号, 302)

66年後、ゴードン・B・ヒンクレ大管長は大会で神権者に次のように語った。「さて、兄弟の皆さん、はっきりさせておきたいことですが、わたしはこれから数年先に何年間にも及ぶ飢饉が起ると預言しているわけではありません。皆さんに申し上げたいのは、家を整える時期が来ているということです。……

兄弟の皆さんに強く申し上げたいのは、家計の状態をよく調べて支出を抑えることであり、購買欲を抑えて、借り入れをできるだけ避けるということです。負債はできるだけ早く返済して束縛から逃れてください。」(「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『聖徒の道』1999年1月号, 61-62。生徒用資料, 354-355)

原則

もし夫婦が経済的に困難な時期に対して今備えるならば、幸福な結婚生活を手にする可能性が高まる。

生徒用資料の読書課題

「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」ゴードン・B・ヒンクレ大管長 (353-355)


「負債」の精選された教え (352-353)


「物質的な備え」の精選された教え (356-358)

教える内容

負債の性質を理解する。「家を整える時期が来ている [ます。]」

教え方の提案

 **話し合い。**上の「教義の概要」にあるヒーバー・J・グラント大管長とゴードン・B・ヒンクレ大管長の言葉を読んで比較する。これらの言葉の中で教えられている中心的な原則を生徒に見つけさせる。

 **グループ活動。**生徒にヒンクレ大管長の説教「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」(生徒用資料, 353-355)を開かせる。神の預言者たちがこの世的な事柄について心配するのはなぜでしょうか。

生徒を小さなグループに分け、各グループにヒンクレ大管長の話の一部を割り当てる。生徒に次の文を完成させるための教えを見つけさせる。「未来に備えるために、わたしたちは……すべきである。」

数分後、各グループに結果を発表させる。以下のような事柄が含まれるであろう。

- i 利息について理解し、その支払いに振り回されることを避ける。
- i 支払い可能な金額の家を購入する。
- i 非常時に備える。

- i 収入の範囲内で生活する。
- i 自立する。
- i 支出を控えめにする。
- i 負債を避けるため、購入に関して自制心を培う。
- i できるかぎり速やかに負債を返済する。
- i たとえ小額であっても貯蓄をする。

これらの教えを自分たちの生活にどのように応用できるかを生徒に話し合わせる。

353ページにあるジェームズ・E・ファウスト長老の言葉を読み、以下の質問をする。

- i 欲しい物と必要な物を区別することに関する例としてどのようなものが挙げられるでしょうか。
- i ファウスト長老は自立の大切な一部として何を挙げているでしょうか。(個人的な負債がないこと。)

J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長(当時)の以下の言葉を読む。


「金利は決して眠ることも、病気になることも、死ぬこともありません。入院することもあります。日曜日にも休日にも働き続けます。決して休暇を取ることもなく、訪問や旅行に出かけることも、娯楽に興じることもありません。休職もせず、解雇もされず、絶え間なく働き続けます。金利には不作も干ばつもありません。また金利は税金を払うこともなく、食物も買わず、衣服も着ず、家も家庭も持たず、そのために修理も買い換えも、屋根のふき換えも、配管工事も、ペンキ塗りも、あるいはしっくい塗りもありません。また見守り面倒を見るべき妻も、子供も、父親も、母親も、親族もありません。金利は生活費を使わないのです。金利には結婚も、誕生も、死もなく、愛情も、同情もありません。金利は花崗岩の崖のように厳しくて無情です。一度負債に陥ると、金利は昼も夜も絶えず皆さんについて回ります。皆さんはそれを遠ざけることも、逃れることもできず、退けることもできません。金利は懇願にも、要求にも、命令にも応じません。そして皆さんが行く手を遮ったり、逆らったり、要求に応じなかったりするときには、いつでも皆さんを踏みつぶすのです。」(Conference Report, 1938年4月, 103)

「利息は……」という文を完成させるためにどうすればよいか生徒に尋ねる。

教える内容

「備えていれば恐れることはない。」
(教義と聖約38:30)

教え方の提案

 **話し合い。** 備えたことによって、より自信をもって行うことのできた経験を生徒に話させる(勉強、音楽、スポーツなど)。

- i 教義と聖約38:30によれば、備えは恐れとどのような関係にありますか。
- i 良い結果を得るうえで備えが重要なのはなぜでしょうか。

次のことを説明する。物質的な備えには単に負債から抜け出す以上のことが含まれる。「物質的な備え」の精選された教え(生徒用資料, 356-358)から次の言葉を紹介

する。それぞれを心に留めることは生活から恐れを取り除くうえでどのような助けとなるかを生徒に尋ねる。

i「『賢明な生活』……には……，賢明な財政計画……が含まれます。」(スペンサー・W・キンボール，356)

i「わたしたちは聖徒に，健康の律法に従って生活するよう教えています。」(スペンサー・W・キンボール，356)

i「理想を言えば，自分の興味や適性，またそれまで受けてきた訓練に合った職業を探す必要があります。」(ハワード・W・ハンター，356)

i「家計を改善するために何ができるでしょうか。わたしはここで3つの大切な鍵について話したいと思います。その鍵とは，姿勢，計画，自制です。」(M・ラッセル・バラード，357)

i「自立するうえでまず大切なのは，熱心に働くことです。両親は子供たちに，立派な功績を上げ，成功を収めるうえで，労働こそ欠かすことのできないものであると教える必要があります。」(ジョセフ・B・ワースリン，358)

i「わたしたちは世界各地の末日聖徒に申し上げます。家庭を強め，さらに美しい場所とするために心を新たにして，食糧生産，保存，貯蔵，食糧品以外の物の生産と貯蔵を進めてください。」(スペンサー・W・キンボール，358)

i「皆さんに，真剣にお尋ねしたいと思います。家族のために1年分の食糧や衣類，可能な場所にあっては燃料も貯蔵しているでしょうか。」(エズラ・タフト・ベンソン，358)

結び

備えについてわたしたちはどのような態度でいるべきかを生徒に尋ねる。あなたは備えるためにどのような目標を設定することができるでしょうか。わたしたちは収入の範囲^{あかし}内で生活し，物質的に備えるようにという勧告に従えるようになると証する。

16 愛を抱き続ける

教義の概要

「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。」（「家族——世界への宣言」『聖徒の道』1998年10月号，24。または生徒用資料，85）パウロは次のように教えている。「夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように，妻を愛しなさい。」（エペソ5：25）

十二使徒定員会のデビッド・B・ヘイト長老は，95歳のときに次のように語っている。「結婚後70年を経て，皆さんに申し上げたいと思います。結婚生活はますます良くなっています。年を重ねるごとにより良いものとなっています。それはますます貴いものとなり，愛情のこもったものとなり，わたしたちのために用意されている永遠の祝福のうちの幾つかを現実のものにしました。皆さんに申し上げます。もしルビーが傍らに立っていれば，わたしと口をそろえて言うことでしょう。人生はすばらしく，意義深いものです。しかし純粋に生きなければなりません。福音の原則に従って生きなければなりません。人生の旅路を歩む過程で，決定的な違いをもたらしてくれるのは，わたしたちの生活に根ざした福音だからです。」（『リアホナ』2001年1月号，23）

原則

正しい原則に従うことにより，夫婦は結婚生活において愛をはぐくむ。

生徒用資料の読書課題

「長い歳月にわたる結婚生活」の精選された教え（330）

「家族——世界への宣言」の第7段落。大管長会と十二使徒定員会（85）

「家族——世界への宣言」の精選された教え（86-91）

「結婚生活を豊かにするもの」ジェームズ・E・ファウスト長老（330-332）

「結婚60周年を迎えたヒンクレ夫妻」（332-333）


「『どのように愛するのですか』」ジェフリー・R・ホランド長老（5-9）

「愛と理解による一致」マーリン・K・ジェンセン長老（9-13）

教える内容

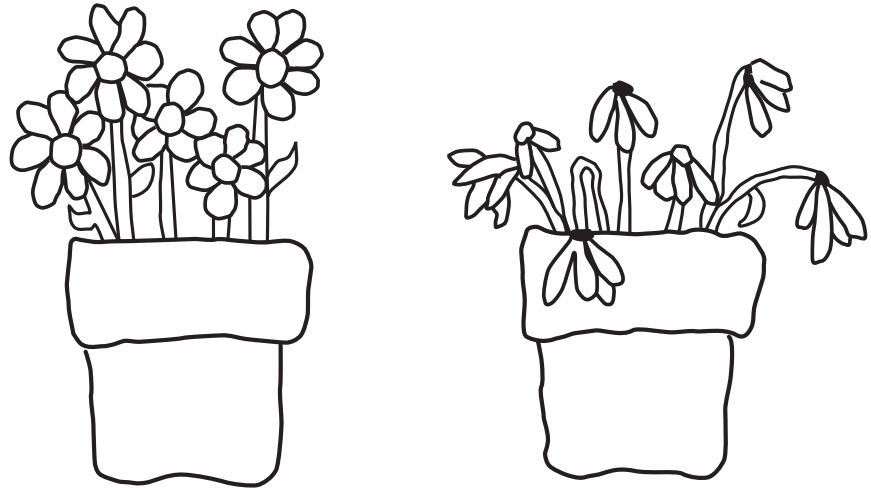
長い期間にわたって愛を維持するには，夫婦双方に長期的な視野と養いが求められる。

教え方の提案

 **話し合い。**生徒に新婚夫婦が互いに対して感じる愛を説明させる。当時十二使徒定員会会員であったボイド・K・パッカー長老の次の言葉を読む。「愛し合う若者同士が互いに抱く，甘くかぐわしい感情こそ最も崇高な愛の表れであると考えている人は，長い結婚生活における献身や慰めをまだ経験したことのない人です。結婚した二人は，誘惑や誤解，別居，金銭問題，家族の危機，病気などを乗り越えながら愛を強めていきます。そのようにして育てた成熟した愛により，新婚者には想像もできないような，無上の喜びを味わうのです。」（*The Things of the Soul* [1996年]，106-107。または生徒用資料，138）

このような愛を手にすることは可能ではあるが、それには真の努力が求められることを説明する。前ページの「教義の概要」にあるデビッド・B・ヘイト長老の言葉を読む。ともに「すばらしく、意義深い」人生を送れるように助けてくれる「純粋な生き方」とはどのような生き方でしょうか。

いきいきして美しい鉢植えと、しおれている、または枯れている鉢植えを見せる。またはそのような2種類の植物を黒板に描く。




これら二つの植物に異なる状態をもたらした原因として考えられるのは何かを尋ねる。次に、生徒に自分たちの答えを結婚生活に当てはめさせる。話し合いの際に以下の質問が役立つであろう。

- i 結婚生活において愛をはぐくむとはどういう意味でしょうか。
- i 結婚生活にそのような継続的な心配りが必要なのはなぜでしょうか。
- i 結婚生活に養いを与えることに関して、夫婦の両方が積極的に参加する必要があるのはなぜでしょうか。
- i 「働く」という語は永続する関係を築くために必要な努力を表現するのに適切な言葉でしょうか。それはなぜですか。
- i 楽しむことはどのような形で養いを与えることの一部となるでしょうか。
- i 夫婦が互いへの愛を強めるために用いることのできる親切で思慮深い行いにはどのようなものがあるでしょうか。

最後にスペンサー・W・キンボール大管長の次の言葉を読む。

「繊細な花は栄養と水がなければ、枯れて死んでしまうでしょう。愛もそれと同じで、愛を構成するものによって常に栄養を与えなければ、永遠に続くことは期待できないのです。つまり尊敬や称賛の気持ちを態度で示すこと、感謝の気持ちを表すこと、そして無私の思いやりがなければならないのです。


……一人が相手の関心事、慰め、幸福を常に求めるならば、結婚前に芽生え、結婚とともに結び合った愛はますます深くなるでしょう。……確かに、愛にどうしても欠かせない食物は、思いやり、親切、思慮深さ、関心、愛情表現、感謝の抱擁、称賛、自尊心、親しい交わり、信用、信仰、協力、平等、そして信頼です。」(“Marriage and Divorce,” 1976 Devotional Speeches of the Year [1977年], 150。または生徒用資料, 35)

 **話し合い。**マーリン・K・ジェンセン長老の「愛と理解による一致」(生徒用資料, 10-11)を開き,「愛する能力をはぐくむ」の項をともに読む。ジェンセン長老の以下の言葉を読み,それぞれについて,なぜそうなのかを尋ねる。

i「確かに,どれだけ愛されるかは,どれだけ愛せるかに懸かっているようです。」(生徒用資料, 10)

i「自分や神に対して平安な気持ちを抱いていない人は,ほとんど愛を与えることができません。」(11)

まとめとして同項の前にあるジェンセン長老の言葉を用いる。「ふさわしい永遠の伴侶になりたいと思うならば,まず確固とした主の弟子になることに全力を注がなくてはなりません。」(10)

 **話し合い。**黒板に「結婚生活を強める特質」と書く。その下に,生徒用資料から以下の読書課題を書く。

i「『どのように愛するのですか』」ジェフリー・R・ホランド長老(5-9)

i「結婚60周年を迎えたヒンクレ夫妻」(332-333)

i「結婚生活を豊かにするもの」ジェームズ・E・ファウスト長老(330-332)

生徒を3つのグループに分ける。各グループに生徒用資料からの読書課題の一つを読ませ,結婚生活を強める特質に下線を引かせる。各グループの代表に,見つけた事柄を黒板に書かせる。クラス全体でその他の特質を挙げ,それらを黒板のリストに加える。

i これらの特質のうち,容易に,また即座に結婚生活に応用できるのはどれでしょうか。どのようにそれを応用できるでしょうか。

i 伸ばすのに時間がかかる特質はどれでしょうか。それはなぜでしょうか。

i これらの特質のうち,あなたがすばらしいと思っている夫婦に見られるものはどれですか。

ファウスト長老の「結婚生活を豊かなものにする」にある6つの質問(生徒用資料, 331)を生徒に読ませ,各質問について心の中で自分自身を1から10の点数で評価させる。自分の最も弱い分野を改善する方法をよく考えて,1週間取り組むことのできる具体的な目標を立てるように勧める。

結び

ヒンクレ大管長の次の言葉を紹介する。「わたしは52年間伴侶とともに歩んできました。妻の貢献はわたしに比べて主の前に劣るでしょうか。そうではないことを心からうれしく思います。妻はわたしの傍らにあって,静かに歩みを共にし,わたしが様々な責任を果たすのを支え,子供たちを育てその幸せのために尽くし,教会の多くの責任を果たし,どこへ行っても,人々を力強く慰めてきました。わたしは年を取るにつれ,半世紀以上も前に主の宮の聖壇とともにひざまずいたこの小柄な女性にいよいよ感謝の念を深め,愛を深めてきました。

わたしはどの結婚も幸福な結婚であってほしいと,心の底から願っています。結婚生活が,永遠に続くものであるようにと願っています。そしてその願いは,努力する気持ちがあかぎり,必ず実現することを確信しています。」「(あなたの内なる神の賜を伸ばさない)『聖徒の道』1990年1月号,98参照。または生徒用資料,256)

17 はんりよ 伴侶を敬う

教義の概要

「兄弟の皆さん、愛と敬意と優しさをもって妻に接してください。姉妹たちも、愛と敬意と優しさをもって夫に接してください。」(ゴードン・B・ヒンクレー, *Teachings of Gordon B. Hinckley* [1997年], 209)

「福音の計画の下では、夫婦関係とは親しく交わる友の関係であり、両者の間は対等です。わたしたちは互いに対する敬意と感謝と愛をもって、並んで歩きます。主の計画においては、夫婦の間にいかなる優劣も存在し得ません。」(ヒンクレー, *Teachings*, 322)

原則

結婚生活の中で主イエス・キリストの教えを応用することは、虐待がもたらす結果を避ける最善の方法である。

生徒用資料の読書課題

「虐待」の精選された教え (114-116)

「忌まわしい虐待の傷を癒す」リチャード・G・スコット長老 (116-119)

レッスンを豊かにする資料


ゴードン・B・ヒンクレー大管長「神権を行使する個人のふさわしさ」『リアホナ』2002年7月号, 58 (または本書69)

ジュディ・C・オルセン「心を傷つける目立たない力」(“The Invisible Heartbreaker”) *Ensign*, 1996年6月号, 22-29 (または本書, 70)

教える内容

夫婦は互いにとって祝福となるべきである。

教え方の提案

 **話し合い。**ローンを申し込んでいて、財産のリストを作成する必要があると生徒に想像させる。リストにはどのようなものが含まれるでしょうか。男女が結婚生活で得ることのできる、金銭とは無関係な「財産」にはどのようなものがあるでしょうか。ゴードン・B・ヒンクレー第一副管長(当時)の次の言葉を読む。


「家庭で夫は妻を何にも勝る祝福と考え、そのように妻と接するべきであると、わたしは考えています。同様に妻は、夫を自分の心のよりどころ、励み、慰め、そして守り手と考え、そのように夫に接するべきです。また子供たちは父母に対して尊敬と感謝の気持ちを抱き、親は子供を祝福と考え、子供たちの養育が真剣に取り組むべき、尊くすばらしい責任であることを理解する必要があります。そのような家庭を築くには、努力と体力、赦しと忍耐、愛と根気、犠牲が必要ですが、それらに勝る大きな報いが、そこにはあるのです。」(“This I Believe” *Brigham Young University 1991-92 Devotional and Fireside Speeches* [1992年], 80)

ヒンクレー副管長が挙げている要素について話し合う。

教える内容

いかなる結婚生活にも、協調的に解決する必要のある心乱されるちょっとしたことがある。

教え方の提案

 **話し合い。**ゴードン・B・ヒンクレー大管長の次の言葉を読む。「もし夫婦がもっばら互いの内に見いだされる徳を重要視して欠点に目を向けないようにするならば、わたしたちの民の家庭において失意や涙や離婚は減り、幸福ははるかに増すでしょう。」(Teachings of Gordon B. Hinckley, 322)

以下のことを説明する。結婚生活において、意見の不一致やいらだちはよくあることである。これらの中には、生い立ちや好み、あるいは期待している事柄の違いから来るものがある。調整を行うのは、結婚生活では普通のことである。違いを克服するに当たって、時に神権指導者の勧告が助けとなる。


黒板に以下の言葉を書く。「努力」「体力」「赦し」「忍耐」「愛」「根気」「犠牲」。これらの特質が実りある家族関係に必要な理由を生徒に挙げさせる。


以下のことを説明する。実りある結婚生活を送るには、両者の歩み寄りが求められる。二人は、福音の標準との調和を保ちながら互いの一致に向けて努力するのである。夫と妻は互いにとっての祝福でなければならない。

教える内容

虐待には様々な種類がある。

教え方の提案

 **グループ活動。**生徒に「虐待」の精選された教え（生徒用資料，114-116）を開かせ、虐待の種類を見つけさせる。

 **話し合い。**虐待の種類について話し合う。適切であれば、話し合いの中で以下のような考えを補う。

「精神的虐待には、不義によって、相手を制御し、支配し、強制しようとするのが相当します。

情緒的虐待には、相手を傷つけるような呼びかけや悪口、脅し、相手を孤立させること、威嚇、裏工作などが含まれます。


肉体的虐待には、強制的に何かをさせること、生活必需品を与えないこと、また、押ししたり、首を絞めたり、引っかいたり、つねったり、監禁したり、たたいたりするなどの肉体的な暴力行為が含まれます。

性的虐待には、精神的および肉体的なものがあり、性的嫌がらせ、性的な交わりの際に苦痛を加えること、力ずくでまたは威圧によって伴侶に性的な行為を強要することが含まれます。」(Responding to Abuse: Helps for Ecclesiastical Leaders [1995年], 4)

教える内容

夫または妻のいづれかによる虐待行為は、福音の標準に調和するものではなく、避けなければならない。

教え方の提案

 **話し合い。**生徒に再び「虐待」の精選された教え（生徒用資料，114-116）を開かせ、虐待の原因を見つけさせる。以下が含まれる。

i 「怒りを抑えることのできない人は、……自分の衝動や感情に翻弄され、やがては……理性ある行動さえ完全に取れなくなってしまう。」(エズラ・タフト・ベンソン，生徒用資料，114)

i 「高慢はもう一つ、争いという形でも現れます。論争、けんか、不義な支配……伴侶への虐待、暴動、騒乱、これらはすべて高慢の範疇に加えられるべきものです。」(エズラ・タフト・ベンソン，生徒用資料，114-115)

i 「サディスティック（加虐的）な欲望を満足させるために、子供を食べ物にしたり、配偶者を虐待することは最も深刻な罪です。」(ゴードン・B・ヒンクレー，生徒用資料，115)

以下の質問を用いてさらに話し合う。

- i 高慢はどのようにして虐待につながるでしょうか。
- i 利己心はどのようにして虐待行為につながるでしょうか。
- i 先祖からの正しくない受け継ぎ（アルマ23：3参照）は、どのように虐待の原因となり得るのでしょうか。

以下の事柄について話し合う。

「子供への虐待行為と伴侶への虐待行為はいずれも、一見何でもないようなことから始まります。相手の能力や力量をけなしたり、四六時中批判的であったり、侮辱的な態度を執ったり、非難したり、話し合いを拒んだり、ごまかしたり、相手に罪悪感を抱かせたり、約束をしては破ることを何度も繰り返したり、怖がらせたり、肉体的な危害を加えると脅したり、理由もなく非難したり、器物を破壊したりすることなどを例として挙げることができます。

相手を攻撃していながら、それに気づいていない人もいます。ある人々は自分の行為がどれほど大きな影響を与えるかを理解していません。しかし、虐待が行われていることに気づいたら、家族全員、特に父親と母親は率先して自分たちが家族の一人一人とどのような関係にあるかを調べてみなければなりません。何かの行為がだれかを傷つけていることに気づくだけで、行動を改めるようになる場合もあります。」（『伴侶への虐待——防止策と対応策』〔パンフレット〕3）

生徒に「虐待」の精選された教えに戻り、虐待を避ける方法を見つけさせる。以下が含まれる。

- i 「心を尽くして妻を愛する人は、妻の品位をおとしめたり、批判したり、あら探しをしたり、言葉や不機嫌な態度、あるいは行いで虐待したりはしません。」（エズラ・タフト・ベンソン、生徒用資料、114）
- i 「夫と妻が平等であることを認識〔す〕るとき、そこには当然、わたしたちに責任が託された人々を忍耐強い愛をもって養い、助け、愛するという大きな意味での責任が伴ってきます。」（ゴードン・B・ヒンクレー、生徒用資料、114）
- i 「妻子をないがしろにしたり、自虐的になったりするのを抑えるには、自己訓練が必要です。」（ゴードン・B・ヒンクレー、生徒用資料、115）

また以下の言葉を紹介する。（オーバーヘッドプロジェクターを使用したり、それぞれを読んで重要な語句を黒板に書いたりしてもよい。）

- i 「主の御霊を受けていれば、人は決してだれかを傷つけたりはしない。」（ジョージ・アルバート・スミス。ハワード・W・ハンター『聖徒の道』1995年1月号、58で引用。または生徒用資料、276）
- i 「神権者は忍耐強くなければなりません。忍耐は自制心の別の姿です。」（エズラ・タフト・ベンソン『聖徒の道』1987年1月号、53。または生徒用資料、115）
- i 「妻子をないがしろにしたり、自虐的になったりするのを抑えるには、自己訓練が必要です。神の御霊を求めて努力し、それを育て強めていかなければなりません。」（ゴードン・B・ヒンクレー『聖徒の道』1991年7月号、75。または生徒用資料、40、115、）
- i 「そのような行いを断ち切ることは可能なのです。わたしたちが神に従うなら、神は癒してくれます。」（ニール・A・マックスウェル “Not My Will, But Thine” [1988年], 63。または生徒用資料、115）


虐待を行う人に対する、ゴードン・B・ヒンクレー大管長による以下の叱責しっせきを読む。「不幸にも、暴力的な男性と結婚してしまった人も少なからずいると思います。そのような男性の中には、日中は人々の前でこやかな顔をしていながら、夜になって家に帰ると、自制心を忘れ、ささいなことに腹を立て、怒りを爆発させる人がいます。

このような悪と野蛮な振る舞いをしている男性は、神の神権者にふさわしくありません。そのようなことをしている男性は、主の宮に入る特権にふさわしくありません。わたしは、自分の妻や子供たちから愛される資格のない男性がいることを残念に思います。自分の父親を恐れる子供、また自分の夫を恐れる女性があります。わたしの声を聞いている人の中に、このような男性がいますとすれば、わたしは主の僕しもべとして、その人を叱責し、悔い改めるよう求めます。自分自身を抑え、感情をコントロールしてください。あなたを怒らせている原因の多くは、ささいなことのはずです。それに比べて、あなたが自分の怒りと引き換えに払う代価は実に恐ろしいものなのです。主に赦しを請うてください。妻に赦しを請い、子供に謝る必要があります。」(『聖徒の道』1997年1月号, 77。または生徒用資料, 193)

教える内容

虐待の犠牲者は、
贖罪しよくさいの力によって癒いよ
されることができる。

教え方の提案

 **話し合い。**子供や青少年の時期に虐待を受けた経験を持って結婚する人がいることを説明する。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、虐待の犠牲者に向けて靈感に満ちた勧告を与えている。またスコット長老の勧告は、以前虐待を受けた人の伴侶が、自分の伴侶が続けて立ち直っていくのをどのように助ければよいかを理解するのに役立つ。生徒にスコット長老の「忌まわしい虐待の傷を癒す」(生徒用資料, 116-119)を調べさせる。以下の質問の幾つかについて話し合う。

- i 虐待によって残る恐れのある典型的な傷にはどのようなものがあるでしょうか。
- i 他人による虐待は克服することができるでしょうか。どのようにすればよいでしょうか。
- i 虐待からの癒しについて、スコット長老はどのような原則を挙げていますか。
- i 癒しの過程において、犠牲者はどの程度の責任を負っていますか。説明してください。
- i 虐待者はそのような重大な罪に対して赦しを受けることができるでしょうか。説明してください。
- i 犠牲者が虐待者を赦すとき、犠牲者にとって癒しの過程はどのような形でより充実したものとなるでしょうか。
- i 助けを求めることについてスコット長老はどのような注意を与えていますか。

結び

生徒に教義と聖約121:41-43をともに声に出して読ませる。以下のことについて証あかしを述べる。説得、寛容、温厚、柔和、偽りのない愛、優しさ、および純粋な知識によって、夫婦関係はより充実したものとなる。それらの欠如は虐待行為につながる恐れがある。あらゆる形の虐待はむなししい関係をもたらす。夫婦がキリストのような行いをし、互いに愛と優しさをもって接するとき、幸福な結婚生活を手にする可能性ははるかに高くなる。主イエス・キリストの教えを応用することは、虐待がもたらす結果を避ける最善の方法である。

レッスンを豊かにする資料

神権を行使する個人のふさわしさ



ゴードン・B・ヒンクレー

『リアホナ』2002年7月号, 58-61から引用。

あなたが選ぶ妻はあなたと平等の存在です。パウロは言いました。「主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない。」(1コリント11:11)

結婚関係には上下関係は存在しません。女性が男性の前を歩くわけでも、男性が女性の前を歩くわけでもありません。二人は神の息子娘として並んで、永遠の旅路を歩んで行きます。

妻はあなたの召し使いでも、所持品でもありません。そのような存在では一切ありません。

妻に対する虐待は何と悲しく、恐ろしい現象でしょうか。妻を虐待し、辱め、侮辱し、妻に対して不義の支配を行う教会の男性はだれであっても神権を持つにふさわしくありません。そのような男性はたとえ聖任を受けていても、天は退き去り、主の御霊は深く悲しみ、そして、その人の神権の権能は終わりとなるのです。

虐待を行っている人は皆神殿推薦状を持つにふさわしくありません。

残念なことに、この醜い現象をあまりにも多く目にしています。言葉のうえでも、物理的にも妻に暴力を

振るっている人がいます。父親が、子供たちの母親を辱めるとは何と悲しいことでしょうか。

夫を虐待する女性が多少なりともいることは確かです。けれども、今晚わたしはそれらの女性に話すつもりはありません。この教会の男性、すなわち、全能者から聖なる神権を授かっている男性たちにお話しします。

兄弟の皆さん、わたしの声の届く範囲の中にこの罪を犯している人がいれば、悔い改めるようお願いいたします。ひざまずいて、主に赦しを求めてください。あなたの舌と強い手を制する力を主に祈り求めてください。妻と子供たちに赦しを求めてください。マッケイ大管長はしばしばこのように語りました。「いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできない。」(J・E・マッカロックの引用, *Home: The Savior of Civilization* [1924年], 42; Conference Report, 1935年4月, 116) また、リー大管長は「わたしたちが行う主の御業の中で最も大切なのは、家庭という囲いの中で行う仕事である」と語りました(ハロルド・B・リー, *Doing the Right Things for the Right Reasons*, Brigham Young University Speeches of the Year [1961年4月19日], 5)。

わたしたちが神の裁きの座に立つとき、この世でどれほどの富を蓄えたかとか、どれほどの名声を手に入れたかということについてはほとんど言われないとわたしは確信しています。しかし、家庭内の関係については念入りに尋ねられるでしょう。伴侶や子供たちに愛と尊敬と感謝の気持ちで人生を歩き通した人々だけが、永遠の判士から次の言葉をかけられるとわたしは信じています。「良い忠実な僕よ、よくやった。……主人と一緒に喜んでくれ。」(マタイ25:21)

心を傷つける目立たない力

ジュディ・C・オルセン, *Ensign*, 1996年6月号, 22-29

夫婦その1。自動車のつぶれたフェンダーのことを妻に尋ねられて、デビッドは言いました。「いいかい、君の問題はどうでもいいことで大騒ぎするのが好きなことだ。」

夫婦その2。「どうしてデートを土曜日に計画したの。」キャロラインは尋ねました。「ばかなことをしたわね。わたしたちのデートの夕べが金曜日だってことは知っているでしょ。」

これらの夫婦にはどのような共通点があるでしょうか。それぞれの状況で、夫婦の一人がある形での虐待を行っている点です。怒鳴ったり、身体的な暴力を振るったりはしていませんが、これらのきつい言葉は、「情緒的虐待」として知られる、クモの巣のように蔓延している数々の行いの典型です。そのような行いはわたしたちの社会の中でいくらか容認されているために、あらゆる形の虐待の中で恐らく最も一般的でありながら最も認識されていません。この表面的には目立たないたぐいの虐待行為に関して、男女はほぼ等しくとがめられるべきであり、そのような虐待が家族に与える影響は、ほかの、より公然と認識されているたぐいの虐待と等しく深刻なものであることがあります。継続的な情緒的虐待の影響に甘んじることによって、多くの心が張り裂け、人生が深刻な打撃を受けています。そしてもし正されることなく放置されるなら、それは家庭や結婚生活におけるほかの種類虐待行為への土台となる恐れがあります。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、第二副管長を務めていた1984年1月29日にテンプルスクウェアから放送されたファイヤサイドで夫婦に向けて語りました。彼の勧告は、その様子を報道した記事によれば、「結婚生活の可能性を最大限に実現するために、夫婦はキリストの福音の価値観に基づいた協力関係を結ばなければなりません」というものでした。またヒンクレー大管長は、結婚生活を実りあるものとするために、夫婦関係の隅石として「既婚者はそれぞれ自分の伴侶に対して敬意を払うようにならなければなりません」と続けています (*Ensign*, 1984年4月号, 75)。

敬意を払うこと、とりわけ結婚生活において敬意をもって接することは、幸福に不可欠であり、「主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない」とされる (1コリント11:11)、日の栄えの協力関係という末日聖徒の考え方にとってきわめて重要なものです。しかしこの世の伝統は、全人類に対して敬意と愛をもって接することに関して一般に協力的ではありません。それでも救い主の教えは、温厚、柔和、偽りのない愛、および優しさという、より高い標準へとわた

したちを招いています (教義と聖約121:41-42参照)。これらの特質はわたしたちのこの世での関係の土台となるべきものであり、それらは主が示された模範に倣ったものでなければなりません。

一方、情緒的虐待は夫婦がキリストのより高い標準に従って生活するのを妨げます。情緒的虐待は、「不義によって……、人の子らを制御し、支配し、強制しようとしたりする」誤った伝統や不適切な行いを (教義と聖約121:37)、狡猾で、表面上は社会的に受け入れられているように思われるような方法で永続させようとします。この世がそのような伝統を持ち続ける中で、末日聖徒はますます「悪人から去り、離れ」るように (アルマ5:57)、というチャレンジに直面します。実際、絶えず自分の心をキリストに似たものに形作ろうとし続ける末日聖徒は、自分の家庭に見いだされる光、喜び、平安と、不親切で辛辣で薄情な人々の暗い家庭環境との間の差がますます広がっていくのを見るでしょう。

これらの狡猾で目立たない力がどのようにして家庭や結婚生活に影響を及ぼすかについて末日聖徒の理解を深めるために、以下に (1) 情緒的虐待と見なされる行いを説明し、(2) 夫婦が自分自身の生活における問題の深刻さを判断するための基準を提供し、(3) 夫婦または個人が直ちに実行し始めることができ、より健全で幸福な夫婦関係へとつながる、キリストを中心とした解決法を提案しましょう。

情緒的虐待を定義する

1995年に教会が出版したパンフレット『虐待に対応する——教会指導者のために』(*Responding to Abuse: Helps for Ecclesiastical Leaders* [英文]) では、伴侶の情緒的虐待には以下のような種類の問題行動が含まれるとされています。

名前の呼び方。名前の呼び方には、「ばか」や「まぬけ」のような語句、愛情を示す言葉の皮肉的な、または誇張した使用、よい気分を与えないニックネーム、特定の特徴を端的に表した侮辱的なニックネームがあります。ハワード・W・ハンター大管長は、こう勧告しています。「[夫]は愛と親切な心で妻に語りかけ、最高の敬意を払うべきです。……結婚とは麗しい花のようです。愛を伝えながら、たゆまず養い育てていかなければなりません。」(『聖徒の道』1995年1月号, 58) 妻もまた夫に対して同様でなければなりません。テレビのホームコメディのおもな題材となっている皮肉な言葉も、言葉による虐待と見なされ、末日聖徒の結婚生活にはふさわしくありません。

自尊心を傷つける言葉。ハンター大管長はまた次のように語っています。「妻を肉体的、精神的に虐待し、虐げる男性は悲しむべき罪を犯しているものであり、真心からの真剣な悔い改めを必要とします。」(同上, 58)

男女が伴侶に対して行う自尊心を傷つける行いには以下のようなものがあります。

i矮小化。客のために夕食を準備することであろうと、自動車を修理することであろうと、作業に対して払われた相当な努力を意図的に見過ごすことは、必要とされた無私の奉仕の行いを成し遂げるために要した時間、努力、才能を矮小化する行為です。このような形で伴侶の自尊心を傷つける行いは、表面的には思慮深いように思われる声の調子においてさえも行われることがあります。例えば、夫がかなりの時間をかけて所得税の申告書を作成した後、妻がこう言いました。「税金ってほんとうはたいていの人が言うほど複雑なものじゃないのに、以外に時間がかかったわね。」

i屈辱的なユーモア。頭の回転が速い人は、自分の伴侶に恥をかかせ屈辱を与えるような様々なことを思いつき、その後、受けた屈辱に対する責任をそらす目的で、ユーモアのセンスがないと非難することがあります。「ジャックはダイエット中なの」と彼の妻が言いました。「今週3度目のね。」

iあら探し。批判は人の価値観を徐々に破壊していきます。批判は、一部の人が主張しているような、相手により善い人となれるように助けようという純粋な心遣いから行われるものではありません。「いいかい、もし野菜をもう少し細かく切れるようになれば、きっとそここのサラダが作れると思うよ。」

脅迫的行為。夫や妻は自分の望みどおりにするために伴侶を威圧しようとして脅すことがあります。「あの絵を寝室に掛けたりしたら、もうそこには入らないからな。」荒々しい言葉で怒りを発散させたり、大声で叫んだり、床を踏みつけて大きな音を立てながら家中を歩き回ったり、物を投げたり壊したりすることは虐待的です。相手に厳しい言葉をかけることから、怒った顔やその他の反抗的な態度を示すことに至るまで、やや静かに不満や悪感情、あるいは非難を示唆する行為もまた同様に脅迫的であり、虐待の一つです。

相手を孤立させる行為。夫や妻の中には伴侶が自分や外界と交わるのを制限しようとする人がいます。これは以下のような巧妙な形で現れます。

i控える。伴侶に必要な情報を伝えなかったり、ともに問題を解決するのを拒んだり、愛情を示すのを控えたり、進んで伴侶とともに時間を過ごしたり会話したりしようとしません。

i親密さを避ける。夫婦の中には、悪感情を抱き続けたり、疎遠な態度を執り続けたりすることによって伴侶を遠ざけようとする人がいます。そして、ともに過ごす時間によって互いの中に親密さがはぐくまれ始めると、再び距離を作るために傷つくようなことを言った

り行ったりします。

ある家族は子供をピクニックに連れて行きました。とても気持ちの良い日で、だれもが楽しい時間を過ごしました。やがて帰る時間になり、家族を乗せた車は家までのわずかな道のりを走り始めました。「アイスクリームを買って行きましょうよ」と母親が提案しました。突然父親が、自分は「だれかさん」のように無駄にできる時間はない、と大声で怒鳴り始めました。もう外出だけで十分に犠牲を払っており、自分にはまだやらなければならない大切なことがある、といらだちながら言いました。衝撃を受けた家族は、家に着くまでずっとおびえながら黙って座っていました。妻は共有した楽しい気持ちが消え去って冷たい孤独感に変わっていくのを感じました。彼女は以前にも同じことがあったことを思い出しました。

またペットを失ったときに慰めを与えることであろうと、昇給を祝うことであろうと、もし夫や妻が痛みや喜びの感情を分かち合うことを拒むならば、親密さは妨げられてしまいます。

不適切なルールを設ける。伴侶を孤立させ支配する行為として、相手に対してよく暗黙のルールが設けられることがあります。電話に制限時間を設ける、特定の人物が家に来るのを認めない、伴侶が金銭を所持したり一人で出かけたりするのを制限または禁止するなど、それらのルールは巧妙なものであることがあります。電話や訪問者、あるいは教会の召しを一切認めないといった露骨なルールもあります。そのような人は、それらのルールは十分に筋の通ったものであると言ってそれらを正当化しようとしませんが、犠牲となる伴侶はますます冷たく孤独な世界に陥ってしまいます。

相手を操ろうとする行為。相手を操るために用いられる方法には、同情を得ようとした振る舞い、相手に罪悪感を抱かせる行為、または問題を他人のせいにするが含まれます。

ある女性は次のように書いています。「[わたしの夫は]自分の期待したものにならず、また子供たちがじっと座って耳を傾けないからと言って家庭の夕べに参加しません。」この夫は自分自身の熱意が欠けていることを巧妙に子供たちのせいにしてしています。

相手を操るもう一つの方法は、まったく利己的な理由のために伴侶の決断に異議を唱えたり反論したりすることです。そのようにして相手の感情を害する人は自分自身の考えを実行しようとはしますが、それはそれらの考えがより良いものであるからではなく、それによって自分は続けて主導権を握っている、あるいは自分は伴侶よりも賢いと感じられるからです。そのような相手を支配する行為はしばしば配慮として表現され

ます。例えば、家を出る度に夫の衣服を批判的に評価する妻が、夫に今回は別のネクタイまたはシャツにするように言い、彼が着替えている間いらいらしながら待つのです。——穏当な基準によれば彼の選択は適切であるにもかかわらずです。

問題の深刻さを判断する

もしここまで読んだ内容について不安を感じるならば、自分の伴侶にこの記事を読んでもらい、自分たちの結婚生活にこれらの種類の行いに関して問題があると思うかを尋ねてみるとよいでしょう。問題の深刻さは、あなたの伴侶が感じた痛みや不幸、およびあなた自身の不安感の程度によって決まります。もし結婚生活における情緒的な交わりが両者にとって満足のいくものであるならば、またもし両者が愛と喜びを感じているならば、心配する必要はほとんどないでしょう。時々生じる許される範囲での誤りは、深刻な情緒的虐待とは見なされないからです。しかし、もし一人が問題があると考えられる場合は、たとえ相手が同意しなくても、確かに問題があります。虐待を行う人々は物事の現状に満足していて、鈍感で、必要な改善を行う意欲のない場合がよくあります。

以下は、虐待の犠牲者が自分に起きている事柄に対処しようとするときに経験するであろう段階を示したものです。この内容は夫婦が問題の程度を判断するのに役立つでしょう。

つながりのない出来事がパターン化し始めると、完全に解決されないまま積み重ねられた痛みから緊張が増していきます。恐れ、警戒心、緊張感、あるいは不安感が存在することがあります。そのうちに、痛みを受けている伴侶は実際に不当な扱いを受けることに慣れてしまい、不適切な行為が行われていることに気がつかなくなることがあります。そのような人は、自分は「過敏」である、あるいは何らかの点でそれらを受けて当然であると思込むことがあります。それでもなお、痛みを和らげ、より良い関係を確立しようとして、相手を喜ばせてその見返りに褒め言葉や優しさを「獲得」するために、もっと優しくなり、相手を褒め、奉仕の行いをしようとさらに努力します。そのような意思表示は虐待する配偶者からは当然のことと思われるか、無視されたりすることが多く、痛みを受けている伴侶は、たとえどれほどの努力を払おうと、はたして自分はいつか愛される資格を得られるのだろうか、あるいは愛してもらえるほど「十分に善い」者になれるのだろうかと思うようになります。

次に、夫または妻は深まっていく二人の溝について伴侶の助けや理解を得ようと試みますが、無視されるか、考えすぎだと言われるかのいずれかになります。そのような拒絶は虐待を受けている配偶者の内に混乱

を生じ、孤独感、欲求不満、落胆を感じ、自己不信に陥ることさえあります。

この時点で一部の人々は友人や神権指導者に助けを求めます。しかし、情緒的虐待は通常ひそかに発生するため、目撃者もおらず、問題が深刻であることを信じてくれる人を見つけるのが難しい場合が多くあります。事実、虐待する配偶者は人々に好かれていたり、魅力的な人物だと思われていたりすることがあります。ある女性は次のように言っています。「よくワードの人から、あんなすてきな男性と夫婦だなんて何と幸運な人だと言われます。これには当惑してしまいます。わたしにとって彼と一緒にいることは大変な苦痛なのです。」

このように痛みについての同情的な目撃者がいないことから、しばしば一人で対処しようと努力することになります。その結果、ほかの原因に起因する様々な行動が取られます。

やり返す。伴侶と同じ虐待的な方法を用いてやり返す人々がいます。そのような家庭では激しく口論したり非難し返したりするといった光景が頻繁に見られます。

黙って苦しむ。自分の感情を抑えることでこたえる人々もいます。家庭に平和を保つために、あらゆる感情をなくして我慢する以外の選択肢が見えないのです。そのような人は感情を抱かなくなってしまっていることがあるので、笑うことあるいは泣くことができない場合が多くあります。

感情をわきへそらす。うつ状態や健康障害に陥る人々もいます。自分の声を聞いてもらおうとしたり公正な扱いを受けようとしたりするのをあきらめ、さらに神殿結婚の聖約を尊ぼうという決意があることから、状況は絶望的だが、崩壊した結婚生活に耐えなければならないという考えを抱くことがあります。痛みはうつ状態やその他の様々な問題となり、根本的な原因が正しく診断されないため、時には長年にわたって続くこともあります。深刻な場合には自殺を考えることすらあります。

一度情緒的虐待の^{ひとつ}パターンが確立されると、そのような人を傷つける行いは時に身体的虐待へと発展する危険があります。その移行はしばしば次のような、表面上はふざけていたり偶然であったりするように見える、伴侶の個人的空間を侵害する行為で始まります。あまりに接近して立つ、つま先を踏む、やや乱暴に押す、たたく、または「ふざけて」平手で打つこと。および伴侶がやめるように頼んでもからかうのをやめないこと。そしてこのような行為も我慢した場合には、続いてさらに深刻な身体的虐待が起こることがあります。これらのふざけて行われているように思われる個人的空間の侵害を頻繁に受けている男女は、伴侶に対

して断固とした態度を執り、今すぐ助けを求める必要があります。そのような扱いを我慢しないことで、伴侶がそれ以上身体的虐待に向かって進むことのないように止めることのできる場合が多くあります。伴侶が変わるように祈りながら、または伴侶がもう行わないと約束するときに彼または彼女が本気であると思えば、伴侶が変わることを願いながら待つことで事態が好転する保証はまったくありません。……それはまた繰り返されます。夫婦の両方が助けを必要としているかもしれないのです。

キリストを中心とした解決法

主イエス・キリストはわたしたちに互いに平和で幸福に生活する方法を示してくださっています。主は次のように招いておられます。「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。……わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。」(マタイ11:28-29) 主は模範を示してくださっており、わたしたちが結婚生活の中でそれに従うとき、より平和な関係への扉が開かれるでしょう。

効果のある変化が最も急速に起きるのは二人が協力して問題の解決に当たるときですが、夫または妻は、結婚生活の進路を正しい方向に向ける変化を起こし始めるのを待つ必要はありません。夫婦が協力して問題の解決に当たるか、あるいはどちらかが一人で行うかにかかわらず、直ちに実践することのできる段階があります。

夫婦で変化を求める

以下の段階は夫婦が変化の過程を歩み始める助けとなります。

1. 話し合いを持つ。 じゃまの入らないところで問題について話し合う時間を設定します。祈りで始め、語る内容に関してそれぞれが導きを受け、解決法を見いだせるように主に助けを求めます。素直な思いと心を持って祈ります。

2. 問題を評価する。 話し合いの最初に、まずこの記事を読むとよいでしょう。夫婦は初め相手を傷つける行いがいつ、どのように起こるのかをなかなか正確に特定できないことがあります。しかし、一度そのような話し合いを行えば、意識が高まり、有害な行いのパターンがより明らかになってきます。

3. 何か違うことを行うように決意する。 問題が特定されたら、夫婦は協力して互いに古い習慣や行いのパターンを新しいものと変えるように助け合うことができます。その方法の一つとして、生じつつある問題について相手に警告するサイン(言葉によるものやそれ以外の方法によるもの)を決めておくことができます。これには傷つけられる側には勇気が、虐待を行う側には忍耐が求められます。それぞれが真理と理解の御霊を求めて、ともにおよび個別に祈る必要があるでしょう。

4. 頻繁に見直す。 最初、夫婦は頻繁に時間を取って経過について話し合い、否定的な行いに対処する方法をさらに良いものにしていく必要があるでしょう。多くの夫婦にとって、それは問題の深刻さと解決の喜びの両方が明らかになっていく過程です。最終的には、心を福音の原則にゆだねることによって、夫婦に真のきずなと愛がもたらされることでしょう。

18 結婚生活における貞節

教義の概要

「あなたは……^{かんいん}姦淫をしてはならない。……これに類することをしてはならない。」(教義と聖約59：6)

「愛と信頼、平安のためには、結婚の聖約を固く守ることがぜひとも必要です。神ははっきりと^{かんつう}姦通を禁じておられます。

互いに愛し合っている夫婦であれば、互いへの愛と誠実さは必ず報いられることに気づくはず。そして、この愛が、子供の情緒的な成長をはぐくんでいくのです。家庭生活は、幸福と喜びに満ちたものでなければなりません。子供が過去を振り返るとき、心温まる思い出や交わりが思い浮かんでくるようであればなりません。」(エズラ・タフト・ベンソン「救い——家族で取り組む事業」『聖徒の道』1992年11月号, 4。または生徒用資料, 152)

「この教会の高い道徳的標準は、あらゆる国のすべての会員に当てはまります。正直と高潔という徳はどの地でも教えられ、期待されています。結婚前の純潔と結婚後の伴侶に対する完全な貞潔は、全教会員に求められています。こうした高い道徳的標準を破る者は、世界中どこでも会員としての資格を問われることとなります。」(ジェームズ・E・ファウスト『聖徒の道』1995年7月号, 67)

原則

結婚生活における厳格な貞節は、わたしたちが伴侶および主とともに交わした聖約を尊ぶうえで不可欠である。

生徒用資料の読書課題

「結婚生活における貞節」の精選された教え (148-151)

「ポルノグラフィ」の精選された教え (359-362)


「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

注——本課は2回以上に分けて教えてもよい。

教える内容

結婚の聖約を尊ぶために講じることのできる予防策がある。

教え方の提案

 **話し合い。** 生徒に生徒用資料にある「貞節の教義」の項 (148-149) を開かせる。順番にゴードン・B・ヒンクレー大管長の言葉を読ませる。それぞれの段落が終わった時点で自由に意見を述べるように言う。

生徒にエズラ・タフト・ベンソン長老の言葉から以下の質問に答えさせる。

- i 結婚の儀式において聖約を交わすのはだれですか。(夫婦と神。)
- i 結婚生活において貞節はどれくらい重要なものでしょうか。(「ぜひとも必要」)

生徒にロバート・D・ヘイルズ長老の言葉の要点は何であるかを尋ねる。



事例研究。以下の事例の一つまたは複数を読んで話し合う。不貞またはそれにつながりそうな行いを生徒に見つけさせる。それぞれの事例に続いて、話し合いに役立つ質問が挙げられている。

- i 結婚して最初の1年間、ナタリーとマークは温かく愛情に満ちた関係であった。彼らは幸福であった。2年目の初めに最初の子が誕生し、彼らはともに親であることを楽しんでいて。そして3年目である今、彼らは抱き締めたりキスをしたり、互いに対して肉体的に愛情を表現することはほとんどない。それ以外では彼らの結婚生活は安定しており、彼らは仲が良く、親しく協力して子育てを行っている。

しかしナタリーは、隣人のジェラードと親交を持つようになっていく。一度だけ軽くキスしたことを除いて、これまで彼らには何の肉体的に親密な関係もない。生活の中で抱えている試練のために、ナタリーとジェラードはマークが仕事から帰ってくる前の1、2時間、ともにジェラードのアパートのソファに腰かけて話をすることに楽しみを見いだしている。ナタリーはジェラードと一緒にいるのがほんとうに楽しく、自分の感情は完全に制することができると感じている。ジェラードの好意を受けていることで、彼女自身の結婚生活ははるかに幸福なものとなっている。彼女はジェラードと純潔の律法について話し、それぞれ主をととも愛しているのに律法を破るようなことは行えないと言っている。彼女は自分たち二人が純潔の律法を破る心配はしていない。

1. この関係の良くない点は何でしょうか。
 2. ナタリーとジェラードの間には何らかの不貞が存在しているのでしょうか。どのようにですか。
 3. もしナタリーとジェラードの関係が肉体的な面でこれ以上進むことがなければ、二人の関係は害のないものなのでしょうか。
- i 宏は学問の世界が好きで、いつか大学で教えたいと希望している。彼はそのような環境で行われる内容の濃い意見のやり取りが好きなのだ。学部課程を終了して以来、彼は仕事や財政的な義務のために大学院の学位を目指すことができずにいる。彼は交際期間には楽しみを大いに共有していた妻の好子が、今はもう世界の諸問題について読んだり話したりするのが好まないことになってしまった。宏は、自分の読んだ本やそれについての意見を職場の友人に紹介したり、週に1度の読書クラブに参加したりすることで、これまで自らの必要を満たすことができている。仕事で知り合った若い女性の美香は、宏から話を聞いて同じクラブに入った。クラブで美香もたらす洞察は宏にとって特に楽しいものになっている。
1. この話の中で、宏と美香の間には不貞が存在しているのでしょうか。
 2. どのような危険が潜んでいるのでしょうか。
 3. 宏は妻とより良い関係を築くためにどのようなことができるのでしょうか。


- i 結婚後、デーブは妻のジョアンがほとんどの時間を家で過ごすのを好むことを知って驚いた。デーブは絶えずスポーツや野外活動を愛してきた。しかしジョアンが好きなのは家事をしたりデーブや赤ん坊の世話をしたりすることである。デーブは地域のスポーツチームに所属しており、ジョアンは彼がそのために晩に外出する頻度に不満を覚えることがある。週末には、彼は月に何度か釣りに行く。彼はジョアンに釣りざおと防水ズボンを買うために自分のお金を何か月もため、彼女に釣りの仕方を教えようとしたことさえあった。彼女は興味を示そうと努めたが、心から楽しめたことはなかった。職場にはスポーツをしたりスポーツについて話したりするのが大好きな若い女性トリシャがいるが、デーブはジョアンがもっと彼女のような女性であったらいいのと思っている。トリシャは彼が行くスポーツ行事の多くに参加している。

1. この結婚生活にはどのような危険信号が見られるでしょうか。
2. 問題の解決策としてどのようなものが考えられるでしょうか。


教える内容

不貞は苦痛に満ちた結果をもたらす。

教え方の提案

 **話し合い。** これらの事例研究にはどのような不貞の種が見られるかを生徒に尋ねる。不貞にはどのような代価が伴うのでしょうか。ダビデとバテシバの物語と、ダビデが自らの姦淫に対して支払った大きな代価について読む。読むときには以下の聖句を含めるようにする。

- ⌋ サムエル下11：2-3。ダビデはバテシバを見たときに誘惑から離れることを選ばず、彼女に対して情欲を抱いた。
- ⌋ サムエル下11：4。ダビデは王としての自らの地位を利用してバテシバを誘惑した。
- ⌋ サムエル下11：5。彼らの罪のためにバテシバは身ごもった。
- ⌋ サムエル下11：6-13。ダビデはバテシバの夫ウリヤをだまして自分たちの罪を隠そうとした。
- ⌋ サムエル下11：14-17。ダビデはウリヤを戦死させることで自分たちの罪の恥を押し隠そうとして陰謀を企てた。
- ⌋ サムエル下12：1-7。預言者ナタンはダビデに一つのたとえを語り、「あなたがその人です」と言うことによって、彼の罪を明らかにした。
- ⌋ サムエル下12：11-12。ナタンはダビデが将来受ける罰を預言し、そのすべてが成就した。
- ⌋ サムエル下12：15-18。ダビデとバテシバの子は死んだ。
- ⌋ 教義と聖約132：39。ダビデは「昇栄から落ちて、」彼の家族は取り去られた。


 **グループ活動。** 生徒に生徒用資料の「貞節の代価」(149-150)を開かせる。聖句および言葉を生徒に割り振り、不貞によって失うものを見つけるように言う。見つけた事柄をクラスで要約させる。


生徒にモルモン書ヤコブ2：7-9, 31-35を開かせ、これらの節から不貞によって失うものを見つけさせる。

教える内容

不貞を避けるためにはたゆまぬ努力が求められる。

教え方の提案

 **話し合い。** 生徒とともに予防という概念について話し合う。生徒に生徒用資料の「不貞な行為への予防策」の項(150-151)を開かせる。姦淫や「これに類すること」(教義と聖約59：6)を避けるためにわたしたちにできる事柄を黒板に要約させる。

 **事例研究。** 既婚者で二人の若い娘を持つ教会員のロベルトは、皆が眠っている夜更けにインターネットサーフィンを楽しんでいる。最近彼は偶然にポルノグラフィーを含んだサイトに出くわした。一目見たときには不快感を覚えたが、彼はそれに引きつけられてしまった。それから数夜、皆が眠った後に、彼はそのサイトに戻ったり同様の内容を含んでいるその他のサイトを見たりした。

ある晩、妻のアンナマリアが部屋に入って来て、彼がポルノグラフィーを見ているところを見た。彼女は大きな衝撃を受け、怒った。監督と約束を取ると言い張り、離婚すると言ってロベルトを脅した。ロベルトは自分のしていたことが間違いであることは分かっているが、アンナマリアは過剰反応していると感じている。

1. ロベルトはどの時点で誤りを犯したと思いますか。

2. ロベルトの行為が深刻であるのはなぜでしょうか。
3. ロベルトはどうすれば妻から再び信頼を得て、自分たちの結婚生活を強めることができるでしょうか。
4. あなたならどの時点でロベルトにカウンセリングを受けるように勧めますか。



話し合い。生徒に「ポルノグラフィー」の精選された教え（359-362）を開かせる。ポルノグラフィーはどのようにして結婚生活に危害をもたらすでしょうか。「精選された教え」の言葉を生徒に割り振り、ポルノグラフィーがどのようにして結婚生活を破壊するかを見つけさせる。見つけた事柄を要約させ、一人の生徒にそれらを黒板に書かせる。

結び

黒板に「た と あ お か し」と書く。これらの文字はわたしたちが決して不貞に迷い込むことのないようにする方法を表している。そのことを伝える。生徒に教義と聖約121：45を読ませ、これらの文字が表しているものを見つけさせる。（「絶〔た〕えず徳〔とく〕であなたの思〔おも〕いを飾〔かざ〕るようにしなさい。」）

i 「飾る」とはどういう意味でしょうか。（「美しくする」または「より魅力的にする」）

i 徳の高い思いはどのような益となるでしょうか。（教義と聖約121：46参照）

19 シオンにおいて子供を持つ両親がいて

教義の概要

「見よ、子供たちは神から賜わった嗣業^{しぎょう}であり、胎^たの実^みは報^{ほう}いの賜物^{たまもの}である。

壮年の時の子供は勇士の手にある矢のようだ。

矢の満ちた矢筒を持つ人はさいわいである。」(詩篇127:3-5)

「神は彼らを祝福して言われた、『生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ。』」(創世1:28)

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は次のように語っている。

『シオンにおいて、……子供を持つ両親^{ふたごの}がいて、8歳のときに、悔い改め、生ける神の子キリストを信じる信仰、およびバプテスマと按手^{あんて}による聖霊の賜物の教義を理解するように彼らを教えなければ、罪はその両親の頭^{あたま}にある。』〔教義と聖約68:25, 強調付加〕

この戒めでは、子供を教える責任がはっきりと両親にゆだねられています。家族に関する世界への宣言は、「家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前^{みまへ}に立って報告することにな〔る〕」と警告しています〔「家族——世界への宣言」『聖徒の道』1996年6月号, 10〕。わたしはそれが真実であると厳かに申し上げます。

これらの義務を果たすには、教会と家族の両方が必要です。それらは互いに協力し合い、強め合います。教会は家族を高めるためにあります。そして家族は教会の土台となる単位なのです。〔『リアホナ』2002年1月号, 81〕

原則

「神は……言われた、『生めよ、ふえよ、地に満ちよ……。』」(創世1:28) この戒めは、これまで取り消されたことはありません。〔M・ラッセル・バラード『聖徒の道』1995年7月号, 24〕

生徒用資料の読書課題

「人に幸福を与える偉大な計画」の「子供をもうけて育てる」ダリン・H・オークス長老 (232-233)


「家族——世界への宣言」大管長会と十二使徒定員会 (85-86)

「親としての責任——福音を基とする家庭を築く」の精選された教え (58-60)

教える内容

主の幸福の計画の下で、わたしたちには子供たちをこの世にもたらす責任がある。

教え方の提案

 **話し合い。** 生徒の中で兄弟のいる人がどのくらいいるかを尋ねる。以下の質問をする。兄弟や姉妹のおかげであなたの人生はどのように豊かになっているのでしょうか。

生徒用資料にあるダリン・H・オークス長老の言葉 (177) から最初の段落を紹介する。

- i 子供を持つようにという戒めはなぜそれほど重要なのでしょうか。
- i 子供たちをこの世にもたらすことに関して「神の計画を妨害する」ためにサタンが用いる方法や考えにはどのようなものがあるのでしょうか。

教師に子供がいる場合は、家族の写真またはそれぞれの子供の写真を見せ、一人一人について簡単に良いことを言う。

生徒にオックス長老の話「人に幸福を与える偉大な計画」にある「子供をもうけて育てる」の項（生徒用資料、232）を読ませる。以下の質問について話し合う。

- i どのような点で子供は「地上と天における最終的な宝」であると考えられるでしょうか。
- i スペンサー・W・キンボール大管長は、夫婦が子供を持つことを拒むおもな理由は何であると言っていますか。（身勝手、利己心。）
- i 夫婦が子供を持つことよりも優先したり価値を置いたりすることがあるものの例としてどのようなものがありますか。
- i オックス長老は、夫婦は「世話のできる人数まで〔子供を〕持つべきであると言っています。自分たちが世話のできる人数について考える際に、どのような事項を考慮できるでしょうか。
- i ゴードン・B・ヒンクレイ副管長（当時）によれば、家族の人数を決定するのはだれの責任ですか。（「当事者の男女と主」）
- i 家族の人数のために互いに裁き合わないようにすることが重要なのはなぜでしょうか。


生徒に「拒まれる祝福はない」の項（生徒用資料、233）を読ませる。


- i 現在自分から奪われているように思われる祝福を受けるために、わたしたちは何をすべきでしょうか。（聖約に忠実であり続ける。）
- i オックス長老によれば、これらの事柄はいつ「実現」するでしょうか。（福千年。）
- i このことを永遠の観点に立って見るのが容易でないことがありますか、なぜでしょうか。


教える内容

「あなたがたの子供たちを光と真理の中で育て〔なさい。〕」（教義と聖約 93：40）。

教え方の提案

 **話し合い。** 生徒に自分の子供またはやがて持つであろう子供のことを思い浮かべさせる。自分の子供に最も望むことは何かを尋ね、答えを黒板に書き出してリストを作る。以下の質問をする。子供が忠実で義にかなった人になれるように、わたしたちにはどのような助けができるでしょうか。答えを黒板に書き出して第2のリストを作る。

 **グループ活動。** 生徒をグループに分け、生徒用資料の「子供たちに福音を教える」および「子供たちに働くことを教える」（65-68）にある指導者の言葉を割り当てる。各グループに親の責任に関連する概念で印象に残ったものを二つか三つ挙げさせる。生徒が見つけたものを、黒板にある第2のリストと比較する。

 **話し合い。** ハロルド・B・リー大管長による次の言葉を読む。

「教会の若人は危険に囲まれています。兄弟の皆さん、家族のきずなを強くしてください。わたしたちがこれまで述べてきたように、わたしが何度となく繰り返しているように、またこの大会でも何人かが話したように、『兄弟の皆さんが父親としてできる最大の主の業は、皆さんの家庭の囲いの中にある』ことをしっかり心に留めてください。兄弟の皆さん、妻をないがしろにはなりません。子供たちをおろそかにしてはなりません。家庭の夕べの時間を取ってください。子供たちを周りに集めてください。子供たちを教え、導き、守ってください。家庭の中に一致と力がこれほど必要とされる時代はかつてありませんでした。」（『聖徒の道』1973年12月号、562参照）


- i 「主の業」という見出しの下にはどのような責任が来ると思いますか。
- i 「あなたの仕事は何ですか」と尋ねられるとき、一般に父親は何と答えるでしょうか。
- i もし父親がリー大管長の教えを心に留めるなら、その答えはどのように変わってくるでしょうか。

わたしたちは自分の子供たちが必ず忠実になるようにすることはできないが、忠実になるよう彼らを鼓舞するためにできることはある。より効果的に福音を子供たちに教えるにはどうすればよいでしょうか。生徒を3つのグループに分け、各グループに生徒用資料の以下の項から一つを割り当てる。「家庭の夕べ」(60-61)、「家族会議の持ち方」(61-62)、「良い結婚が子供たちを祝福する」(62-63)。各グループに担当の項を読ませ、より効果的に教えるためにできる具体的な方法を見つけさせる。結果をクラスで報告させる。

教える内容

両親は絶えず子供たちを愛し、親としての務めを果たすために最善を尽くさなければならない。

教え方の提案

 **話し合い。** 生徒に模範的な親だと思う人々を思い起こさせる。そのような親の特質を黒板に書き出す。


- i 子供のだれかが道をそれたとしたら、親は成功していると思なされるでしょうか。
- i 親を子供の行動によって裁くことにはどのような危険があるでしょうか。
- i 親が自分自身の成功や失敗を子供の振る舞いによって測ることがあるのはなぜでしょうか。

ジェームズ・E・ファウスト副管長は次のように警告している。「子供たちが反抗したり、親の教えと愛から迷い出たりしたという理由で、誠実で忠実な両親が裁かれるとしたら、これほど不公平で冷酷なことはありません。慰めと満足を得させてくれる子供や孫を持つ夫婦は幸いです。わたしたちが思いやらなければならないのは、不従順な子供のためにもがき苦しんでいる、義になつたふさわしい両親です。

友人の一人が、よくこう言いました。『子供の問題をまだ経験したことがなければ、ほんの少し待ちなさい。』自分の子供がある環境でどのような行動をするか、確信をもって言える人はいません。わたしの賢明な義理の母は、ほかの子供たちの間違った行いを見るとき、こう言ったものです。『わたしが話している最中にしていないからという理由で、自分の子供ならそれをしなかったとは決して言えないわ。』不従順で反抗的な子供のために両親が嘆き悲しんでいるとき、わたしたちは同情心を示さなければなりません。『最初に石を投げつける』ようなことをしてはなりません。〔ハロルド・B・リー, *Decisions for Successful Living* (1973年), 58〕(『リアホナ』2003年5月号, 67)

ともに生徒用資料の59ページにあるハワード・W・ハンター長老およびリチャード・G・スコット長老の言葉を読む。

- i 立派な親とはどのような人であるかについて、これらの読書課題はどのような洞察を与えてくれるでしょうか。
- i 子供が自分の義になつた親とは異なる道を選ぶことがあるのはなぜだと思いますか。

 **話し合い。** 命の木の示現の中で、リーハイはレーマンとレムエルが実を食べるのを拒むのを見た。リーハイが自分の反抗的な息子たちに語った言葉を声に出して読む(1ニーファイ8:36-38参照)。

- i 37節で、リーハイは息子たちにどのような方法で教えているでしょうか。
- i リーハイが語ったことやどのように語ったかに関して、あなたにとって最も印象的

なことは何ですか。

リーハイはその生涯の終わり近くに、再び自分の強情な息子たちに対して語っている。2ニーファイ1：21-23を読む。

- i 長年にわたって悔い改めないことが証明されているにもかかわらず、親が不従順な子供に手を差し伸べ続けるのはなぜでしょうか。
- i 親がいつまでも自分の子供のことをあきらめないのはなぜだと思いますか。
- i 親としてのリーハイの働きがどのくらい効果的なものであったか、あなたならどのようにして判断しますか。

当時七十人定員会の会員であったニール・A・マックスウェル長老の次の勧告を紹介し、親の責任にどのように当てはめられるかを見つけさせる。

「さてわたしは、王国にあって怠けている人ではなく、自分自身の、あるいはそれ以上の重荷を担って働いている人にお話ししたいと思います。偽りの安らぎにだまされている人ではなく、偽りの不安にさいなまれている人、つまり王国にあって心から献身しているにもかかわらず、いつになっても自分はふさわしくないという思いに襲われる人たちに話したいのです。……

この自分の無能力を嘆く心について最初に言わなければならないことは、そうした気持ちはだれにでもあるということです。教会では、あなたはまだどれだけ進まなければならないとか、どれだけ行わなければならないとかいうことは、正直なところ言えません。それを言うには、今わたしたちが用いている尺度とは比較にならないほど大きな尺度を造らなければならないからです。……

わたしたちの中で人の弱さは責めないのに、自分自身の弱さには厳しすぎる人がいます。しかし反面、たくさん良いしるしがあるのに決してそれを認めず、然るべき段階を踏んでこそ人は進歩するのだということにまったく関心を示さない人は、自分自身という最も冷酷な裁判官の前に身をさらす人です。幸いなことに主は、わたしたちが自分自身を愛する以上にわたしたちを愛してくださっています。……

わたしたちは、自分の至らなさを責める前に、〔子供も含めて〕ほかの人には選択の自由があることを心に留めなければなりません。わたしたちの側で練りに練った最上のもので、だれかほかの人が最もまずいことを行えば、結果は良くないものになってしまうからです。』（『聖徒の道』1977年2月号、46参照）

- i この勧告は、あなたが親としての自分自身の成功を判断する際にどのような助けとなるでしょうか。
- i この記事は、あなたが自分の両親を理解するうえでどのような助けとなるでしょうか。
- i ほかの親と交わる際にどのような助けとなるでしょうか。

生徒に本課で学んだおもな概念を3つか4つ要約させる。

結び

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を紹介する。

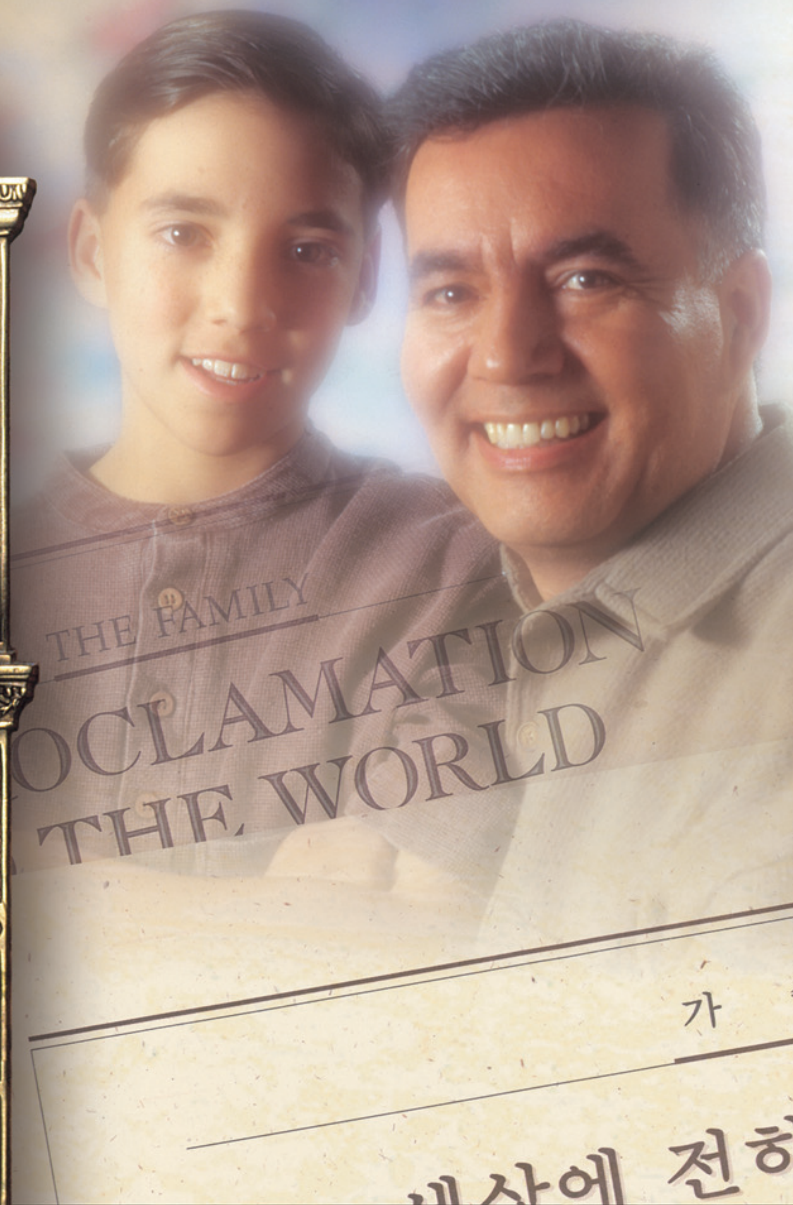
「互いに愛し合っている夫婦であれば、互いへの愛と誠実さはかならず報いられることに気づくはずで。そして、この愛が、子供の情緒的な成長をはぐくんでいくのです。家庭生活は、幸福と喜びに満ちたものでなければなりません。子供が過去を振り返るとき、心温まる思い出や交わりが思い浮かんでくるようであればなりません。』（『聖徒の道』

1992年11月号, 4または生徒用資料, 152)

黒板に以下の聖句を書く。

「見よ、子供たちは神から賜った嗣業……である。」(詩篇127:3)

以下のことを証する。愛のうちに子供をもうけて育てることは神聖な機会である。わたしたちは天の御父の霊あかしの子供たちの進歩を助けることにおいて天の御父のパートナーになるのである。



THE FAMILY
ACCLAMATION
THE WORLD

가

이사에 전하는



and
for the
ALL HUMAN BEING
in the image of
daughter of he
has a divine r
essential chara
mortal, and ete
IN THE PRESEN
daughters kn
Eternal Father
children coul
earthly experi
and ultimate
an heir of eter
enables fami
beyond the



末日聖徒
イエスキリスト
教会



35850 300